



3800g, 4600g, 4600r, 4800i  
*Commercial/Retail /Industrial Area Imager*



ユーザーズガイド

---

## 免責事項

Honeywell Imaging and Mobility は、本書に記載された仕様およびその他の情報を事前に断り無く変更することがあります。何か変更があったかどうかを確認するときは、かならず Honeywell Imaging and Mobility にお問い合わせください。本書の情報について Honeywell Imaging and Mobility では一切の保証をいたしません。

本書に技術的または編集上の誤りや記載漏れがあった場合、また本書の内容を備えたり実施したり、あるいは使用した結果発生した損害については、Honeywell Imaging and Mobility では一切の責任を負いません。

本書には、著作権で保護された情報が含まれ、著作権法の対象となります。本書のどの部分も、Honeywell Imaging and Mobility の文書による事前承諾を得ずに複製、変更、または他言語への翻訳はできません。

©2007 Honeywell Imaging and Mobility All rights reserved.

Web Address : [www.handheld.com](http://www.handheld.com)

Microsoft® Windows® は、米国およびその他の国での Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Macintosh® は、米国およびその他の国で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

本書に記載されたその他の製品名やマークは各社の商標または登録商標である可能性があり、それぞれ所有者が権利を所有しています。

## FCC 適合について

この装置は、FCC 規制のパート 15 に適合しています。動作は、次の 2 つの条件の対象となります。(1) 妨害を引き起こさない。(2) 好ましくない動作の原因となる干渉を含め、受けたあらゆる妨害に耐える。

## FCC クラス B 適合について - 4600g/4800i の装置に適用

この装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス B デジタル機器に対する制限に適合することがテストで確認されています。これらの制限は、居住地域に設置したときに妨害を適切に防止できるように設定されています。この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、また場合によって放射します。指示どおりに設置して使用しなければ、ラジオ受信を妨害することがあります。ただし、個々の設置例で妨害が起きないという保証はありません。この装置がラジオやテレビ受信への妨害の原因になった場合、使用者は以下の対策を 1 つまたはいくつか試して妨害を解消してください。妨害しているかどうかは、装置をオン/オフして確かめられます。

- 受信アンテナの方向または位置を変える。
  - 装置と受信機の間を離す。
  - 装置を受信機とは別の回路のコンセントに接続する。
  - 販売店または経験のあるラジオ・テレビ技術者にサポートを受ける。
-

---

注意：Honeywell Imaging and Mobility が明確に認めていない変更や改造をこの装置に施すと、装置を操作するための FCC 権限が失われることがあります。

注：FCC 規制および規則への適合を維持するため、この装置に接続するケーブルは、ケーブルシールド線がコネクタシェルに接地されたシールドケーブルにしてください。

## 4600g/4800i のカナダ向けのお知らせ

この装置は、カナダ通信省のラジオ電波障害規格で定められたラジオ雑音放射に対するクラス B の制限に適合しています。

## FCC クラス A 適合について - 4600r の装置に適用

この装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス A デジタル機器に対する制限に適合することがテストで確認されています。これらの制限は、商業環境で装置を操作するときに妨害を適切に防止できるように設定されています。この装置は、ラジオ周波数のエネルギーを発生、使用、また場合によって放射します。指示どおりに設置して使用しなければ、ラジオ受信を妨害することがあります。居住地域でこの装置を操作すると妨害を引き起こすことがあり、その場合使用者は自己負担で妨害を解消する必要があります。

注意：Honeywell Imaging and Mobility が明確に認めていない変更や改造をこの装置に施すと、装置を操作するための FCC 権限が失われることがあります。

注：FCC 規制および規則への適合を維持するため、この装置に接続するケーブルは、ケーブルシールド線がコネクタシェルに接地されたシールドケーブルにしてください。

## 4600r のカナダ向けのお知らせ

この装置は、カナダ通信省のラジオ電波障害規格で定められたラジオ雑音放射に対するクラス A の制限に適合しています。



製品に付いている CE マークは、89/336/EEC Electromagnetic Compatibility Directive と 73/23/EEC Low Voltage Directive に記載された条項に適合することがテスト済みであることを示しています。

以下の規制に適合しています。

EN55022:1998 (ITE 放射)

EN55024:1998 (ITE 耐性)、CISPR 22B:1997 を含む

EN61000-4-2:1995

EN61000-4-3:1995

詳細については、次のあて先にお問い合わせください。

Honeywell Imaging and Mobility  
Nijverheidsweg 9-13  
5627 BT Eindhoven  
The Netherlands

---

---

Honeywell Imaging and Mobility は、当社の製品を CE マークが無く Low Voltage Directive に適合しない機器（電源装置、パーソナルコンピュータなど）と使用された場合は、一切の責任を負いません。

## UL と cUL について

UL と cUL は、UL60950-1 と CSA C22.2 No.60950-1-03 に適合しています。

## LED の安全性について

この装置は EN60825-1:1993+A1+A2 LED 安全規格に従ってテストされ、クラス 1 LED 装置の限度内であることが確認されています。

## C-Tick について

AS/NZS 3548 に適合しています。C-Tick 番号：N10410

## メキシコ



## 特許

特許の一覧については、製品のパッケージングを参照してください。

## 防塵防水

4600g/4600r は IP41 の等級で、外部粒子と水滴に対して耐性があります。

4800i は IP54 の等級で、風による埃の侵入と水の飛まつに対して耐性があります。

## 欧州共同体のユーザ向け

注： Honeywell Imaging and Mobility は、2003 年 1 月 27 日の廃電気電子機器（WEEE）指令、2002/69/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL に適合しています。

---

---

## 廃電気電子機器について

この製品には、適切に処理しなければ、健康と環境に影響を及ぼすおそれのある有害物質が含まれる場合があります。

有害物質が環境に散布されないよう、また天然資源に対する圧力を軽減するため、製品の廃棄に適した回収システムを利用することをお勧めします。そのような回収システムでは、安全な方法で廃棄する製品のほとんどの材料を再使用またはリサイクルします。



■ 車輪付きごみ箱にバツ印がついた記号は、製品を都市ごみとともに廃棄してはならないことを示すものであり、製品の廃棄に適した分別回収システムの利用を促しています。

収集、再使用、およびリサイクルの各システムの詳細が必要な場合は、地方自治体の廃棄物管理局にお問い合わせください。

また、この製品の環境パフォーマンスの詳細については、購入先にお問い合わせください。

---



# 目次

## 第1章 Chapter 1 - はじめに

本マニュアルについて .....	1-1
イメージャの開梱 .....	1-1
イメージャのモデル .....	1-2
イメージャの識別 (4600g,4600r,4800i) .....	1-3
イメージャをキーボードウェッジで接続 .....	1-4
イメージャをUSBで接続 .....	1-5
イメージャをRS-232シリアルポートで接続 .....	1-6
イメージャをRS-232ウェッジに接続 .....	1-7
インタフェースのプログラム設定 - 簡易設定 .....	1-8
キーボードウェッジ接続 .....	1-8
ラップトップダイレクト接続 .....	1-8
USB接続 (Pos) .....	1-9
IBM SurePos .....	1-9
USB PC キーボードまたはマッキントッシュ® キーボード .....	1-10
USB HID .....	1-10
USB COM ポートエミュレーション .....	1-10
RS-232シリアルポート接続 .....	1-11
シリアルウェッジのデータ送信ポート (3800gでは非対応) .....	1-12
IBM 4683 ポート 5B、9B、および 17 接続 .....	1-13
ワンドエミュレーション接続 (3800gでは非対応) .....	1-14
読み取り方法 .....	1-15

## 第2章 Chapter 2 - ターミナルインタフェース

ターミナル ID .....	2-1
サポートターミナル .....	2-2
国別キーボード (101 キーボード用) .....	2-4
キーボードスタイル .....	2-6
キーボードの設定 .....	2-8
RS-232 ボーレート .....	2-9
RS-232 ワード長：データビット、ストップビット、 パリティ .....	2-10
RS-232 レシーバタイムアウト .....	2-11
RS-232 ハンドシェイク .....	2-11
ワンドエミュレーション接続 (3800gでは非対応) .....	2-12

ワンドエミュレーション (3800g では非対応).....	2-13
データブロックサイズ.....	2-13
ブロック間ディレイ.....	2-13
オーバーオールチェックサム.....	2-14
ワンドエミュレーション送信速度.....	2-14
ワンドエミュレーションの出力信号パターン.....	2-15
ワンドエミュレーションアイドル.....	2-15

## 第 3 章 Chapter 3 - 出力

グッドリードインジケータ.....	3-1
ブザー – グッドリード.....	3-1
ブザー音量 – グッドリード.....	3-1
ブザーピッチ – グッドリード.....	3-2
ブザー長 – グッドリード.....	3-2
LED – グッドリード.....	3-2
ブザー回数 – グッドリード.....	3-3
グッドリードディレイ.....	3-3
ユーザ指定のグッドリードディレイ.....	3-3
トリガーモード.....	3-4
マニュアル/シリアルトリガー.....	3-4
スキャンスタンドモード.....	3-5
スキャンスタンドシンボル.....	3-6
プレゼンテーションモード.....	3-6
デコード後のプレゼンテーション LED の動作.....	3-6
プレゼンテーション感度.....	3-7
Streaming Presentation™ モード.....	3-7
ハンズフリータイムアウト.....	3-7
リリードディレイ.....	3-8
ユーザ指定のリリードディレイ.....	3-8
投光 LED 出力レベル (3800g では非対応).....	3-9
照明ライト (3800g では非対応).....	3-9
イメージャタイムアウト.....	3-10
エイマーディレイ.....	3-10
ユーザ指定のエイマーディレイ.....	3-10
エイマーモード.....	3-11
センタリング.....	3-11
デコードサーチモード (3800g では非対応).....	3-15
優先シンボル (3800g では非対応).....	3-16
アウトプットシーケンスの概要.....	3-18
アウトプットシーケンスエディタ.....	3-21
アウトプットシーケンス条件.....	3-21
マルチプルシンボル.....	3-22
No Read.....	3-22



プリントウェイト.....	3-23
ビデオリバース.....	3-23
動作方向.....	3-24

## 第 4 章 Chapter 4 - データ編集

プレフィックス/サフィックスについて.....	4-1
プレフィックスまたはサフィックスの追加手順.....	4-2
1つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスの削除.....	4-3
キャリッジリターンサフィックスを全シンボルに追加する.....	4-3
プレフィックスの設定.....	4-4
サフィックスの設定.....	4-4
ファンクションコード送信.....	4-4
キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ.....	4-5
キャラクタ間ディレイ.....	4-5
ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ.....	4-6
ファンクション間ディレイ.....	4-6
メッセージ間ディレイ.....	4-7

## 第 5 章 Chapter 5 - データフォーマット

データフォーマットエディタについて.....	5-1
データフォーマットの追加.....	5-1
他のプログラム設定.....	5-2
データフォーマットエディタコマンド.....	5-3
データフォーマットエディタ.....	5-5
データフォーマッタ.....	5-5
代用データフォーマット.....	5-6

## 第 6 章 Chapter 6 - セカンダリインタフェース

セカンダリ RS- 232 接続.....	6-2
セカンダリコード 39 ワンドエミュレーション.....	6-2
ワンドエミュレーションマルチブロック (3800g では非対応).....	6-3
ブロック間ディレイ.....	6-3
オーバーオールチェックサム.....	6-4
ワンドエミュレーション送信速度.....	6-4
ワンドエミュレーションの出力信号パターン.....	6-5
ワンドエミュレーションアイドル.....	6-5
データブロックサイズ.....	6-6
セカンダリトリガーモード.....	6-7
Manual/Serial Trigger.....	6-7
ハンズフリータイムアウト.....	6-8

スキャンスタンドモード.....	6-9
スキャンスタンドシンボル.....	6-9
プレゼンテーションモード.....	6-9

## 第 7 章 Chapter 7 - シンボル

読み取り桁数について.....	7-2
コーダバースタート／ストップキャラクタ.....	7-3
コーダバーチェックキャラクタ.....	7-3
コーダバー連結機能.....	7-4
コーダバー読み取り桁数.....	7-5
Code 39 スタート／ストップキャラクタ.....	7-5
Code 39 チェックキャラクタ.....	7-6
Code 39 読み取り桁数.....	7-6
Code 39 アペンド機能.....	7-7
Code 32 Pharmaceutical (PARAF).....	7-7
Full ASCII.....	7-8
Code 39 コードページ.....	7-9
インターリーブド 2 of 5.....	7-9
インターリーブド 2 of 5.....	7-9
チェックデジット.....	7-10
インターリーブド 2 of 5 読み取り桁数.....	7-10
Code 93 読み取り桁数.....	7-11
Code 93 コードページ.....	7-11
Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数.....	7-12
Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数.....	7-13
マトリックス 2 of 5 読み取り桁数.....	7-13
必要チェックデジット数.....	7-14
Code 11 読み取り桁数.....	7-14
ISBT 128 連結機能.....	7-15
Code 128 読み取り桁数.....	7-16
Code 128 コードページ.....	7-16
Telepen 出力.....	7-17
Telepen 読み取り桁数.....	7-17
UPC-A チェックデジット.....	7-18
UPC-A システム番号.....	7-18
UPC-A 追加デジット.....	7-19
UPC-A 追加デジット要.....	7-19
UPC-A 追加デジットセパレータ.....	7-20
UPC-E0.....	7-21
UPC-E0 拡張.....	7-21
UPC-E0 追加デジット要.....	7-21
UPC-E0 追加デジットセパレータ.....	7-22
UPC-E0 チェックデジット.....	7-22

UPC-E0 システム番号 .....	7-22
UPC-E0 追加デジット .....	7-23
EAN/JAN-13 チェックデジット .....	7-24
EAN/JAN-13 追加デジット .....	7-24
EAN/JAN-13 追加デジット要 .....	7-25
EAN/JAN-13 追加デジットセパレータ .....	7-25
ISBN Translate .....	7-25
EAN/JAN-8 チェックデジット .....	7-26
EAN/JAN-8 追加デジット .....	7-27
EAN/JAN-8 追加デジット要 .....	7-27
EAN/JAN-8 追加デジットセパレータ .....	7-27
MSI チェックキャラクタ .....	7-28
MSI 読み取り桁数 .....	7-29
Plessey 読み取り桁数 .....	7-29
RSS Expanded 読み取り桁数 .....	7-31
PosiCode 読み取り桁数 .....	7-32
Codablock F 読み取り桁数 .....	7-33
Code 16K 読み取り桁数 .....	7-34
Code 49 読み取り桁数 .....	7-35
PDF417 読み取り桁数 .....	7-36
MicroPDF417 読み取り桁数 .....	7-36
UPC/EAN Version .....	7-37
EAN•UCC Composite コード読み取り桁数 .....	7-37
4-CB (4-State Customer Bar Code) .....	7-39
ID-tag (UPU 4-State) .....	7-39
Postnet .....	7-39
Planet Code .....	7-40
British Post .....	7-41
Canadian Post .....	7-41
Kix (Netherlands) Post .....	7-41
Australian Post .....	7-41
Japanese Post .....	7-42
China Post 読み取り桁数 .....	7-43
Korea Post 読み取り桁数 .....	7-44
QR Code 読み取り桁数 .....	7-45
Data Matrix 読み取り桁数 .....	7-45
MaxiCode 読み取り桁数 .....	7-46
Aztec Code 読み取り桁数 .....	7-47
Aztec Runes .....	7-47

---

## 第 8 章 Chapter 8 - イメージングコマンド

Image Snap-IMGSNP .....	8-1
IMGSNP モディファイ .....	8-1
画像送信 - IMGSHIP .....	8-3
IMGSHIP モディファイ .....	8-3
画像サイズの互換性 .....	8-7
インテリジェント署名取り込み - IMGBOX .....	8-8
IMGBOX モディファイ .....	8-9

## 第 9 章 Chapter 9 - OCR プログラミング (3800g では非対応)

OCR .....	9-2
OCR テンプレート .....	9-4
OCR テンプレートを 1 つ作成する .....	9-4
複数のフォーマットの統合 (「Or」ステートメントの作成) .....	9-7
OCR ユーザ定義の変数 .....	9-7
複数行 OCR の読み取り .....	9-8
OCR チェックキャラクタ .....	9-9
OCR モジュラス 10 チェックキャラクタ .....	9-9
OCR モジュラス 36 チェックキャラクタ .....	9-10
OCR ユーザ定義のチェックキャラクタ .....	9-10
ウエイト付加のオプション .....	9-11
OCR ISBN の用例 .....	9-13
OCR テンプレートコード .....	9-15

## 第 10 章 Chapter 10 - インタフェースキー

キーボードファンクションの関係 .....	10-1
サポートされているインタフェースキー .....	10-3

## 第 11 章 Chapter 11 - ユーティリティ

すべてのシンボルにテストコード ID プレフィックスを追加 .....	11-1
デコーダの改訂情報の表示 .....	11-1
エンジンの改訂情報の表示 .....	11-2
ドライバの改訂情報の読み取りの表示 .....	11-2
ソフトウェアの改訂情報の表示 .....	11-2
データフォーマットの表示 .....	11-3
標準の製品初期設定のリセット .....	11-3
テストメニュー .....	11-3

2D PQA (印刷品質アセスメント).....	11-4
2D PQA の報告.....	11-4
Visual Xpress について.....	11-5
Web からの Visual Xpress のインストール.....	11-6
Quick*View.....	11-6
Quick*View を Web からインストールする.....	11-7

## 第 12 章 Chapter 12 - シリアルプログラミングコマンド

規約.....	12-1
メニューコマンドシンタックス.....	12-1
質問コマンド.....	12-2
複数コマンドの連結機能.....	12-2
レスポンス.....	12-2
質問コマンドの例.....	12-3
トリガーコマンド.....	12-4
標準の製品初期設定のリセット.....	12-4
メニューコマンド.....	12-5

## 第 13 章 Chapter 13 - 製品仕様

3800g.....	13-1
4600g (LED エイマー搭載).....	13-2
4600r.....	13-3
4800i.....	13-4
標準ケーブルピン配列.....	13-5
キーボードウェッジ.....	13-5
ワンドエミュレーション.....	13-6
シリアル出力.....	13-7
USB.....	13-8

## 第 14 章 Chapter 14 - 保守

修理.....	14-1
保守.....	14-1
イメージャの窓の清掃.....	14-1
ケーブルとコネクタの点検.....	14-1
インタフェースケーブルの交換.....	14-2
トラブルシューティング.....	14-3

---

## 第 15 章 Chapter 15 - カスタマーサポート

テクニカルサポート .....	15-1
オンラインによるテクニカルサポート .....	15-1
詳細情報 .....	15-2
製品のサービスと修理 .....	15-2
オンラインによる製品のサービスと修理 .....	15-3
条件付保証 .....	15-3

## *Appendix A* - 付録 A

シンボルチャート .....	A-1
ASCII 換算チャート (コードページ 1252) .....	A-4
印刷バーコードのコードページマッピング .....	A-6

## 本マニュアルについて

本ユーザーズガイドでは、3800g シリーズと 4000 シリーズイメージャのインストールとプログラム設定の手順について説明します。また、製品の仕様、外形寸法、保証内容、およびカスタマーサポートに関する情報も含まれています。

Honeywell Imaging and Mobility のバーコードイメージャは、工場出荷時にアメリカ市場における一般的な端末および通信装置用にプログラム設定されています。日本市場においてご利用される場合は、設定変更が必要であり、本書に記載のバーコードを読み取ってプログラム設定してください。

アスタリスク (\*) が付いているオプションは、工場出荷時設定となっています。

## イメージャの開梱

梱包箱を開けた後は、以下の手順に従ってください。

- 出荷中の損傷がないか確認します。損傷があった場合は、すぐに配送した運送会社に連絡してください。
- 箱の中身に間違いがないか確認します。
- 修理時の返却もしくは保管用に、梱包箱はそのままお持ち頂けますようお願いいたします。

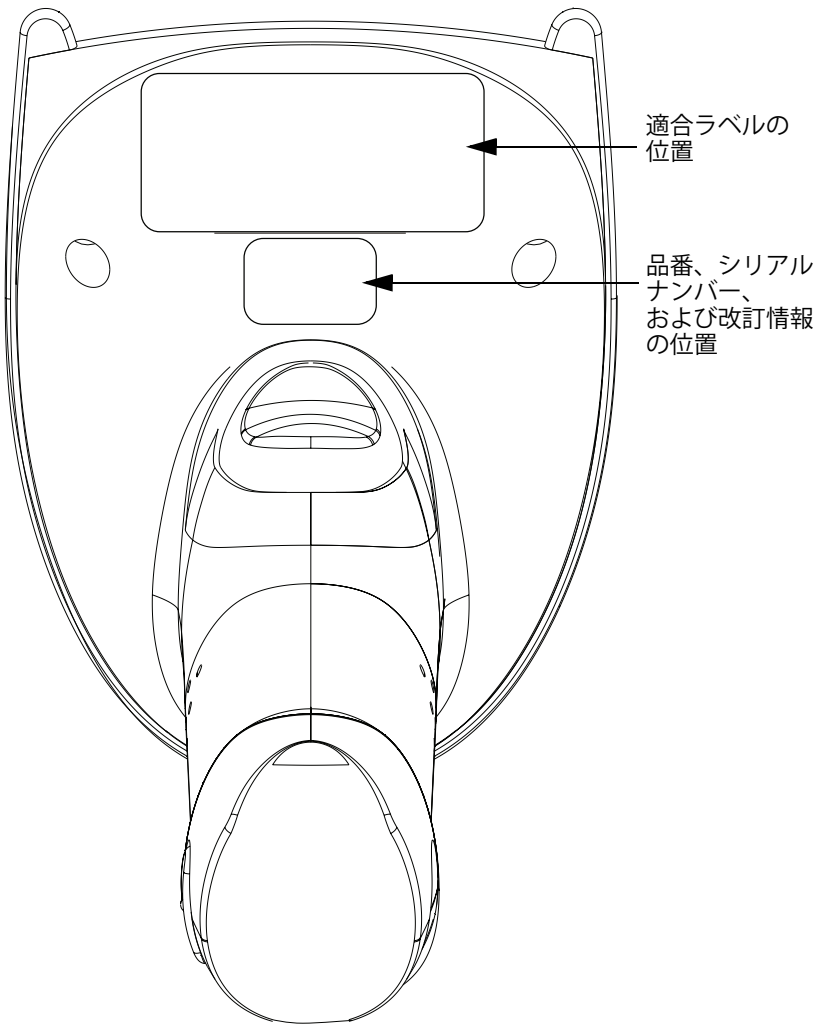
## イメージャのモデル

以下の表は、お使いのイメージャで使用できるインタフェースを示しています。セカンダリインタフェースに関するプログラム設定情報については、第6章を参照してください。

モデル	プライマリ	セカンダリ
4600gXX03XXE 4800iXX03XXE	True RS-232	True RS-232
4600gXX05XXE 4800iXX05XXE	キーボードウェッジ、TTL レベル 232、TTL レベル 232 シリアルウェッジ、IBM 4683、ワンドエミュレーション、USB キーボード、USB HID、USB リテール (IBM SurePOS)、USB COM ポートエミュレーション	ワンドエミュレーション、TTL レベル 232
4600rXX05XXE	キーボードウェッジ、TTL レベル 232、TTL レベル 232 シリアルウェッジ、IBM 4683、USB キーボード、USB HID、USB リテール (IBM SurePOS)、USB COM ポートエミュレーション	TTL レベル 232
3800g04E, 3800g14E	TTL level RS-232, USB, キーボードウェッジ	TTL level RS-232
3800g05E, 3800g15E	TTL level RS-232, IBM リテール, USB, リテール USB, キーボードウェッジ	TTL level RS-232
4206g	キーボードウェッジ、TTL レベル 232、TTL レベル 232 シリアルウェッジ、IBM 4683、USB キーボード、USB HID、USB リテール (IBM SurePOS)、USB COM ポートエミュレーション	TTL レベル 232



# イメージの識別 (4600g,4600r,4800i)

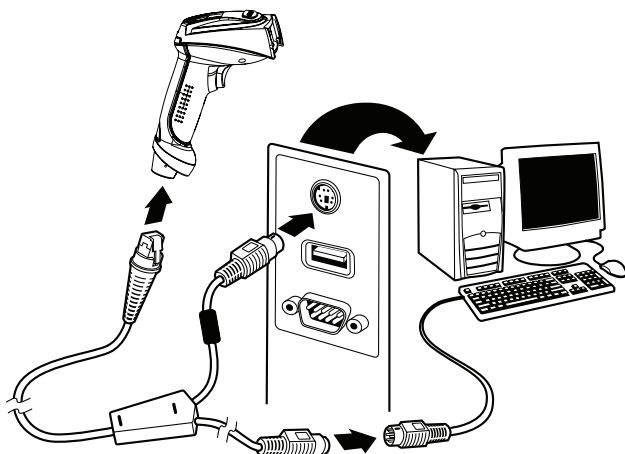


## イメージャをキーボードウェッジで接続

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

イメージャは、キーボードとコンピュータの間に「キーボードウェッジ」として接続できます。他にシリアルポートに接続するか、またはワンドエミュレーション・モードや非デコード出力モードでポータブルデータ端末に接続できます。以下は、キーボードウェッジ接続の一例です。

1. 端末／コンピュータの電源をオフにします。
2. 端末／コンピュータの裏側のキーボードケーブル接続をはずします。
3. 適切なインタフェースケーブルをイメージャおよび端末／コンピュータに接続します。



4. 端末／コンピュータの電源をオンにします。イメージャからピーツという音がします。
5. 1-8 ページの簡易設定のバーコードを使用して、キーボードウェッジ・インタフェース用にイメージャを設定します。
6. 本書記載のサンプルシンボルのページにあるバーコードを読み取り、イメージャの動作を確認してください。正読時に1度だけピーツという音がします。

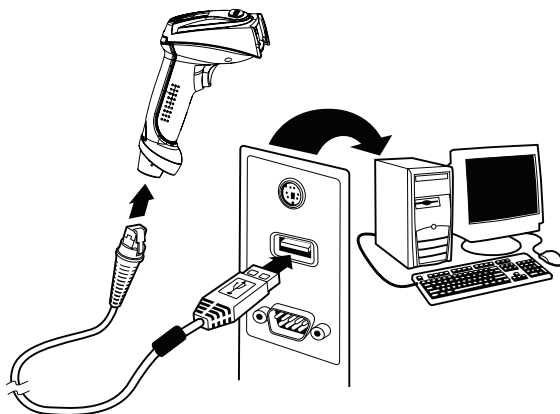
お使いのイメージャは、出荷時に USA キーボード付きの IBM PC AT でのキーボードウェッジ・インタフェース用に設定されています。3800g は、USB-KeyBoard 設定になっています。このインタフェースを使用している場合、設定変更は不要です。第3章 - 出力に進んでください。

## イメージャを USB で接続

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

イメージャは、コンピュータの USB ポートに接続できます。

1. まず適切なインタフェースケーブルをイメージャに接続し、次にコンピュータに接続します。



2. 1-8 ページの簡易設定のバーコードを使用して、USB インタフェース用にイメージャをプログラム設定します。
3. イメージャからピーツという音がします。
4. 本書記載のサンプルシンボルのページにあるバーコードを読み取り、イメージャの動作を確認してください。

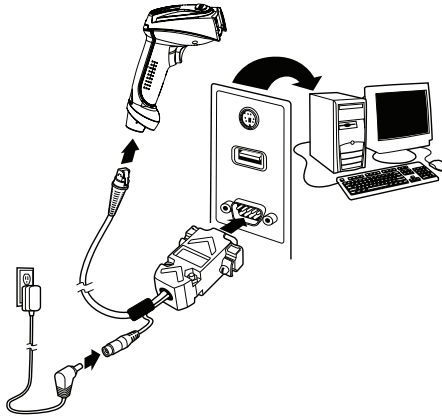
その他の USB のプログラム設定と技術情報については、Honeywell Imaging and Mobility の「USB Application Note (USB アプリケーションノート)」を参照してください。これは、[www.handheld.com](http://www.handheld.com) でご覧いただけます。

## イメージャを RS-232 シリアルポートで接続

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

1. 端末／コンピュータの電源をオフにします。
2. 適切なインタフェースケーブルをイメージャに接続します。

注： イメージャが正常に動作するように、お使いの端末／コンピュータに適したケーブルをご用意ください。



3. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。2本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
4. 電源プラグをケーブルに差し込みます。
5. イメージャの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。
6. 1-8 ページの簡易設定のバーコードを使用して、RS-232 シリアルポート・インタフェース用にイメージャをプログラム設定します。

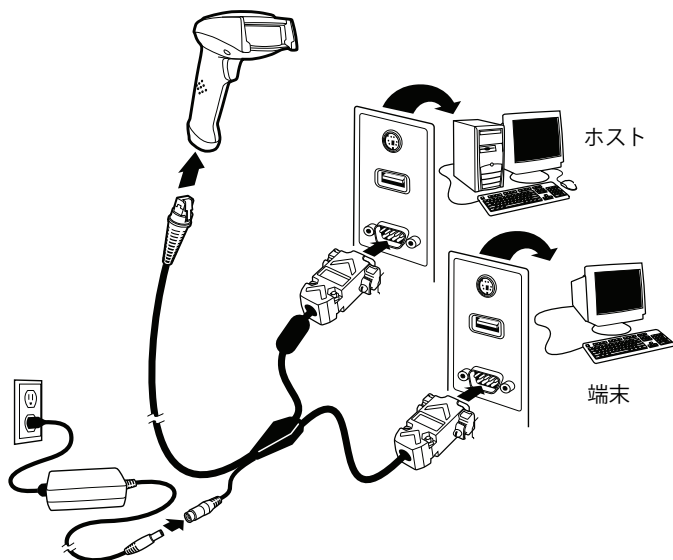
## イメージャを RS-232 ウェッジに接続

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

イメージャは、True および TTL 信号レベルを使用して RS-232 シリアルネットワークに接続します。イメージャを壊さないように、シリアルウェッジケーブルだけを使用してください。2-9 ページの [RS-232 ボーレート](#) を参照し、ボーレートと通信プロトコルを設定します。

1. コンピュータの電源をオフにします。
2. コンピュータから既存のシリアルケーブルをはずします。
3. 適切なインタフェースケーブルをイメージャに接続します。

注： イメージャが正常に動作するように、お使いの端末／コンピュータに適したケーブルをご用意ください。



4. シリアルコネクタをコンピュータのシリアルポートに差し込みます。2本のネジを締めてコネクタをポートに固定します。
5. 他方のシリアルコネクタをホスト接続に差し込み、2本のネジを締めます。
6. パワーアダプタケーブルをイメージャケーブルのプラグに差し込みます。
7. パワーアダプタを電源に差し込みます。
8. イメージャの接続が完了したら、コンピュータの電源を入れます。

- シリアルウェッジターミナル ID を設定するときは、シリアルターミナル ID 050 を使用し、2-1 ページの手順に従ってください。
- 1-12 ページのバーコードを使用して、データ送信用のポートをプログラム設定します。

## インタフェースのプログラム設定 - 簡易設定

簡易設定のバーコードで、一般的に使用されているインタフェース用にイメージャを簡易設定します。

注： バーコードの 1 つを読み取った後は、ホスト端末を再起動してインタフェースを有効にしてください。

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

## キーボードウェッジ接続

USA キーボード付きの IBM PC AT および互換キーボードウェッジ・インタフェース用にシステムをプログラム設定したい場合は、次のバーコードを読み取ります。キーボードウェッジが初期設定インタフェースです。(DOSV キーボード 106 TermID 作成予定)



IBM PC AT and Compatibles  
with CR suffix

## ラップトップダイレクト接続

ほとんどのラップトップは、**Laptop Direct Connect** のバーコードを読み取ることで、インテグラルキーボードと同時にイメージャが操作可能になります。次の Laptop Direct Connect バーコードでは、キャリッジリターン (CR) サフィックスもプログラム設定し、**キーボードの設定** (2-8 ページ) をオンにします。



Laptop Direct Connect  
with CR suffix

---

## USB 接続 (Pos)

### IBM SurePos

以下の「簡易設定」バーコードをどれか読み取り、イメージャを IBM SurePos (USB ハンドヘルドイメージャ) または IBM SurePos (USB テーブルトップイメージャ) 用にプログラム設定します。

注： これらのバーコードの 1 つを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタの電源を入れなおしてください。



IBM SurePos  
(USB Hand Held Imager)  
Interface



IBM SurePos  
(USB Tabletop Imager)  
Interface

上記の各バーコードでは、シンボルごとに以下のサフィックスもプログラム設定します。

<u>シンボル</u>	<u>サフィックス</u>
EAN-8	0C
EAN-13	16
UPC-A	0D
UPC-E	0A
Code 39	00 0A 0B
Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
Code 128	00 18 0B

---

## USB PC キーボードまたはマッキントッシュ® キーボード

以下のバーコードをどれか読み取り、イメージャを USB PC キーボードまたは USB マッキントッシュキーボード用に設定します。これらのバーコードを読み取ると、CR が追加され、ターミナル ID (USB PC キーボードは 124、USB マッキントッシュキーボードは 125、USB 日本語キーボードは 134) が選択されます。



USB Keyboard (PC)



USB Keyboard (Mac)



USB 日本語キーボード (PC)

## USB HID

イメージャを USB HID バーコードイメージャ用に設定するときは、次のバーコードを読み取ります。このバーコードを読み取ると、ターミナル ID が 131 に変わります。



USB HID Bar Code Imager

## USB COM ポートエミュレーション

USB 接続で通常の RS-232 COM ポートをエミュレーション設定するときは、次のバーコードを読み取ります。Microsoft® Windows® のコンピュータをお使いの場合は、Honeywell Imaging and Mobility のウェブサイト ([www.handheld.com](http://www.handheld.com)) からドライバをダウンロードする必要があります。ドライバは、空いている次の COM ポート番号を使用します。Apple® 社のマッキントッシュコンピュータは、イメージャを USB CDC クラスの装置として認識し、自動的にクラスドライバを使用します。下のバーコードを読み取ると、ターミナル ID が 130 に変わります。



USB COM Port Emulation

注： 他に設定（ボーレートなど）は不要です。



---

## CTS/RTS エミュレーション



## ACK/NAK モード



## RS-232 シリアルポート接続

イメージャとターミナルとの間の通信パラメータはすべて一致している必要があります。RS-232 プロトコルを用いてシリアルポートでデータを正常に送信するために RS-232 インタフェースのバーコードを読み取り、RS-232 インタフェース用にイメージャを設定します。このバーコードで以下の設定になります。

ボーレート 38,400

パリティなし

8 データビット

1 ストップビット

CR LF サフィックスを追加



---

## シリアルウェッジのデータ送信ポート（3800g では非対応）

次のバーコードを使用して、読み取ったデータを送信したいポートを設定します。ポート 1 は出力ケーブルの P1 に、ポート 2 は P2 に対応します。両方を選択すると、読み取ったデータを P1 と P2 に送信します。初期設定 = P1



\* P1



P2



Both P1 and P2

---

## IBM 4683 ポート 5B、9B、および 17 接続

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

以下の「簡易設定」バーコードのどれかを読み取り、イメージャを IBM 4683 ポート 5B、9B、または 17 用にプログラム設定します。

注： これらのバーコードの 1 つを読み取った後は、かならずキャッシュレジスタの電源を入れなおしてください。



IBM 4683 Port 5B Interface



IBM 4683 Port 9B  
HHBCR-1 Interface



IBM 4683 Port 17 Interface

前記の各バーコードでは、シンボルごとに以下のサフィックスもプログラム設定します。

<u>シンボル</u>	<u>サフィックス</u>
EAN-8	0C
EAN-13	16
UPC-A	0D
UPC-E	0A
Code 39	00 0A 0B
Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
Code 128	00 0A 0B



IBM 4683 Port 9B HHBCR-2 Interface

IBM 4683 Port 9B HHBCR-2 Interface のバーコードでは、シンボルごとに以下のサフィックスもプログラム設定します。

<u>シンボル</u>	<u>サフィックス</u>
EAN-8	0C
EAN-13	16
UPC-A	0D
UPC-E	0A
Code 39	00 0A 0B
Interleaved 2 of 5	00 0D 0B
Code 128	00 18 0B

## ワンドエミュレーション接続（3800g では非対応）

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「**イメージャのモデル**」を参照してください。

ワンドエミュレーション・モードでは、イメージャはバーコードをデコードしてからワンドイメージャと同じフォーマットでデータを送信します。Code 39 Format では、シンボルをすべてコード 39 に変換します。

Same Code Format では、UPC、EAN、コード 128、およびインターリーブド 2 of 5 のバーコードをそのまま送信しますが、他のシンボルはすべてコード 39 に変換します。2D シンボルは、コード 128 に変換されます。

次の **Wand Emulation Plug & Play (Code 39 Format)** のバーコードは、ターミナル ID を 61 に設定します。**Wand Emulation Plug & Play Same Code** のバーコードは、ターミナル ID を 64 に設定します。またこれらのバーコードでは、転送速度を毎秒 25 インチに、出力極性を黒の high に、またアイドル状態を high に設定します。（他のイメージャ設定をいっさい変更せずにターミナル ID だけを変更したい場合は、2-13 ページの**ワンドエミュレーション (3800g では非対応)**を参照してください。）



Wand Emulation  
Plug & Play  
(Code 39 Format)

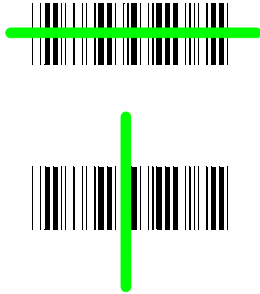


Wand Emulation  
Plug & Play  
Same Code

## 読み取り方法

イメージには、イメージの横方向の視界に相当する明るい赤または緑のエイミングビームを投射するビューファインダがあります。エイミングビームは、バーコードの中央に合わせてください。ただし、読み取りやすくするためにどの方向にしてもかまいません。

Linear bar code



2D Matrix symbol



エイミングビームは、イメージがバーコードに近づくと小さくなり、遠ざかると大きくなります。バーまたはエレメントが小さなシンボル（ミルサイズ）はイメージを近づけて読み取り、大きなシンボル（ミルサイズ）は離して読み取ってください。1個または複数のシンボル（1ページまたは1個の物体の）を読み取る時は、目標から適切な距離でイメージを保持し、トリガを引き、エイミングビームをシンボルの中心に合わせてください。読み取るバーコードの反射が大きい場合は（ラミネートされている場合など）、無用な反射を避けるため、バーコードを±5°傾けることが必要な場合があります。



# ターミナルインタフェース

## ターミナル ID

お使いのインタフェースが第 1 章の「プラグ & プレイ」バーコードで取り扱えない場合は、2-2 ページ～ 2-3 ページのサポートターミナルを参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID を確認してください。下の **Terminal ID** のバーコードを読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID に合わせてイメージを設定します。最後に **Save** を読み取り、設定を保存します。

例えば、IBM AT ターミナルのターミナル ID は 003 です。**Terminal ID** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **0**、**0**、**3** を読み取った後、**Save** を読み取ることで設定が完了します。もし、**Save** を読み取る前に、間違った数字の読み取りをした場合は、**プログラミングチャート** から **Discard** バーコードを読み取ることにより **Terminal ID** 設定が再度できます。もし、**Save** を読み取った後に、間違っていた場合は、再度最初から設定を行ってください。



Terminal ID



Save

注： 設定後は、コンピュータをかならず再起動してください。

## サポートターミナル

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「[イメージャのモデル](#)」を参照してください。

ターミナル	モデル	ターミナル ID
DDC	3496, 3497, 122 key	005
DDC	3496, 3497, 102 key	071
DEC	VT510, 520, 525 (PC style)	084
DEC	VT510, 520, 525 (DEC style LK411)	104
Esprit	200, 400	005
Heath Zenith	PC, AT	003
Heath Zenith		090
HP	Vectra	003
HP	Vectra	023
IBM	XT	001
IBM	PS/2 25, 30, 77DX2	002
IBM	AT, PS/2 30-286, 50, 55SX, 60, 70, 70-061, 70-121, 80	003 *
IBM 102 key	3151, 3161, 3162, 3163, 3191, 3192, 3194, 3196, 3197, 3471, 3472, 3476, 3477	006
IBM 122 key	3191, 3192, 3471, 3472	007
IBM 122 key	3196, 3197, 3476, 3477, 3486, 3482, 3488	008
IBM 122 key	3180	024
IBM 122 key	3180 data entry keyboard	114
IBM Japanese DOS/V 106 key	PC & Workstation	102
IBM SurePOS	USB Hand Held Imager	128
IBM SurePOS	USB Tabletop Imager	129
IBM Thinkpad	360 CSE, 340, 750	097
IBM Thinkpad		106
IBM Thinkpad	365, 755CV	003
I/O 122 key	2676D, 2677C, 2677D	008
ITT	9271	007
Lee Data	IIS	007
NEC	98XX Series	103
Olivetti	M19, M200	001
Olivetti	M240, M250, M290, M380, P500	003
RS-232 True		000**



## サポートターミナル

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

<u>ターミナル</u>	<u>モデル</u>	<u>ターミナル ID</u>
RS-232 TTL		000
Serial Wedge		050
Silicon Graphics	Indy, Indigoll	005
Telex 88 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	025
Telex 88 key	Data Entry Keyboard	112
Telex 102 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1483	045
Telex 122 key	078, 078A, 79, 80, 191, 196, 1191, 1192, 1471, 1472, 1476, 1477, 1482, 1483	046
USB COM Port Emulation		130
USB PC Keyboard		124***
USB Japanese Keyboard		134
USB Mac Keyboard		125
USB HID POS		131
Wand Emulation (Code 39 Format)		061
Wand Emulation (Same Code Format)		064

\* 4600g/4600r/4800iXX 05XX モデルの初期値

\*\* 4600g/4800iXX 03XX モデルの初期値

\*\*\* 3800g/4600g/4600r/4800iXX 05XX モデルのみ適応。これらのインタフェースを設定するときは、このテーブルにあるターミナル ID を読み取るよりも、1-8 ページからの「プラグ&プレイ」バーコードを用いるのがベストです。

---

# 国別キーボード (101 キーボード用)

該当する国コードを読み取り、自国用のキーボードを設定します。原則として以下の記号をサポートしますが、米国以外の国では特別な注意が必要です。  
@ | \$ # { } [ ] = / ' \ < > ~



\* United States



Belgium



Brazil



Canada (French)



Czech Republic



Denmark



Finland (Sweden)



France



Germany/Austria



Greece



Hungary



Israel (Hebrew)

---

## 国別キーボード（続き）



Italy



Netherlands (Dutch)



Poland



Romania



SCS



Spain



Switzerland (German)



Latin America



Norway



Portugal



Russia



Slovakia



Sweden

---

## 国別キーボード（続き）



Turkey F



Turkey Q



U.K.

国別キーボードの全サポート情報および適用されるインタフェースについては、Honeywell Imaging and Mobility のウェブサイト [www.handheld.com](http://www.handheld.com) を参照してください。上に挙げた国以外の国のキーボードを設定する必要がある場合は、**Program Keyboard Country** バーコードを読み取った後、裏表紙の内側にある該当する国の数値バーコードを読み取り、次に **Save** バーコードを読み取ります。



Program Keyboard Country

## キーボードスタイル

Caps Lock や Shift Lock などのキーボードスタイルを設定します。  
初期設定 = Regular

通常、Caps Lock キーがオフの場合は、**Regular** を使用します。



\* Regular

通常、Caps Lock キーがオンの場合は、**Caps Lock** を使用します。



Caps Lock

---

通常、Shift Lock キーがオンの場合は、**Shift Lock** を使用します。(U.S. キーボードでは通常使いません。)



Shift Lock

Caps Lock キーのオン/オフを切り換える場合は、**Automatic Caps Lock** を使用します。Caps Lock キーをオン/オフするとスキャナーが確認して自動的に対応します。(AT および PS/2 のみ。) この設定を使用できるのは、Caps Lock の状態を確認する LED があるシステムの場合だけです。



Automatic Caps Lock

Caps Lock の切り換えに Caps Lock キーを使用できない国(ドイツ、フランスなど)では、**Autocaps via NumLock** のバーコードを読み取ります。NumLock オプションは、通常の Autocaps と同じ動きをしますが、Caps Lock の現在の状態を確認するために NumLock キーを使用します。



Autocaps via NumLock

外付けキーボード (IBM AT または相当品) を使用していない場合は、**Emulate External Keyboard** を読み取ります。



Emulate External Keyboard

注： Emulate External Keyboard のバーコードを読み取った後は、コンピュータをかならず再起動してください。

---

## キーボードの設定

CTRL+ASCII コード、ターボモードなどの特殊なキーボード機能を設定します。

**Control + ASCII Mode On:** 00 ~ 1F の値については、ASCII 制御キャラクタ用にキーを組み合わせせて送信します。CTRL+ASCII の値については、10-1 ページの「[キーボードファンクションの関係](#)」を参照してください。初期設定 = Off



Control + ASCII Mode On



\* Control + ASCII Mode Off

**Turbo Mode:** ターミナルへのキャラクタ送信を高速化します。ターミナルでキャラクタの読み落としがある場合は使用しないでください。初期設定 = Off



Turbo Mode On



\* Turbo Mode Off

**Numeric Keypad Mode:** テンキーで入力したように数字を送信します。初期設定 = Off



Numeric Keypad Mode On



\* Numeric Keypad Mode Off

**Automatic Direct Connect Mode:** IBM AT 型のターミナルを使用し、システムでキャラクタの読み落としがある場合に使用できます。初期設定 = Off



Automatic Direct  
Connect Mode On



\* Automatic Direct Connect  
Mode Off

---

## RS-232 ボーレート

イメージャからターミナルに指定の速度でデータを送信します。ホストターミナルは、イメージャとかならず同じボーレートに設定してください。  
初期値 = 38,400



---

## RS-232 ワード長：データビット、ストップビット、パリティ

データビットは、ワード長をキャラクタあたり 7 または 8 データビットに設定します。アプリケーションで必要なのが ASCII キャラクタの 0 ~ 7F (文字、数値、句読点) だけの場合は、7 データビットを選択してください。フルセットの ASCII キャラクタを使用するアプリケーションでは、キャラクタあたり 8 データビットを選択します。初期値 = 8

ストップビットは、1 または 2 に設定します。初期値 = 1

パリティは、キャラクタビットパターンが適正かどうかをチェックします。初期設定 = None



7 Data, 1 Stop, Parity Even



7 Data, 1 Stop, Parity None



7 Data, 1 Stop, Parity Odd



7 Data, 2 Stop, Parity Even



7 Data, 2 Stop, Parity None



7 Data, 2 Stop, Parity Odd



8 Data, 1 Stop, Parity Even



\* 8 Data, 1 Stop, Parity None



8 Data, 1 Stop, Parity Odd



## RS-232 レシーバタイムアウト

レシーバは、RS-232 レシーバタイムアウトが切れるまではデータを受信するために待機しています。マニュアルまたはシリアルトリガーでタイムアウトをリセットします。RS-232 レシーバがスリープ中は、あるキャラクタを送信してレシーバをウェークアップし、タイムアウトをリセットすることができます。CTS ライン上のトランザクションでも、レシーバをウェークアップします。レシーバが完全に起動するには 300 ミリ秒かかります。次のバーコードを読み取って RS-232 レシーバタイムアウトを変更し、本書の裏表紙の内側から数字を読み取り、次に Save を読み取ります。設定範囲は 0 ~ 300 秒です。  
初期値 = 0 秒 (タイムアウトなし 常時オン)



RS-232 Receiver Time-Out

## RS-232 ハンドシェイク

RS-232 ハンドシェイクとは、ホストデバイスからのソフトウェアコマンドを使用して、イメージャからのデータ送信を制御できるようにするものです。この機能を **Off** にすると、データのフロー制御は使用されません。データフロー制御を **On** にすると、ホストデバイスは、XOFF キャラクタ (DC3, hex 13) をイメージャに送信することで送信を一時中断します。送信を再開するには、ホストから XON キャラクタ (DC1, hex 11) を送信します。データ送信は、XOFF 送信によって停止されたところから続行されます。  
初期設定 = RTS/CTS、XON/XOFF および ACK/NAK Off



RTS/CTS On



\* RTS/CTS Off



XON/XOFF On



\* XON/XOFF Off



ACK/NAK On



\* ACK/NAK Off

---

## ワンドエミュレーション接続 (3800g では非対応)

Wand Emulation Connection のバーコードは、他のイメージャ設定は一切変更せずにターミナル ID だけを変更したい場合に使用してください。ワンドリーダーをエミュレーションするためにイメージャを設定するときは、Wand Emulation Plug & Play のバーコードを使用することをお勧めします。このバーコードでは、ターミナル ID を変更するほかに、他のパラメータも変更します。詳細については、1-7 ページの「**イメージャを RS-232 ウェッジに接続**」を参照してください。

ワンドエミュレーション・モードでは、イメージャはバーコードをデコードしてからワンドイメージャと同じフォーマットでデータを送信します。Code 39 Format では、シンボルをすべてコード 39 に変換します。

Same Code Format では、UPC、EAN、コード 128、およびインターリーブド 2 of 5 のバーコードをそのまま送信しますが、他のシンボルはすべてコード 39 に変換します。2D シンボルは、コード 128 に変換されます。

次の **Code 39 Format** のバーコードでは、ターミナル ID を 61 に設定します。

**Same Code Format** のバーコードでは、64 に設定します。

初期設定 = Code 39 Format



Code 39 Format



Same Code Format

---

## ワンドエミュレーション (3800g では非対応)

注： お使いのイメージャで利用できるインタフェースについては、1-2 ページの「イメージャのモデル」を参照してください。

注： プライマリのワンドエミュレーション設定を変更すると、セカンダリのワンドエミュレーション設定も変化します。(6-2 ページの「セカンダリコード 39 ワンドエミュレーション」を参照してください。)

### データブロックサイズ

データを小さなブロックで送信し、バッファのオーバーフローを防ぎます。  
初期値 = 40



20



\* 40



60



80

### ブロック間ディレイ

データブロック間のディレイ時間を設定します。初期値 = 50ms



5ms



\* 50ms



150ms



500ms

---

## オーバーオールチェックサム

このオプションをオンにすると、チェックキャラクタを算出してメッセージ全体の最後に追加します。チェックキャラクタは、そのメッセージの各先行キャラクタと排他的論理和を算出すると結果が 0x00 (00H) になるキャラクタです。初期設定 = Off



On



\* Off

## ワンドエミュレーション送信速度

送信速度は、キャラクタの読み落としなくデータを受信するターミナルの能力で制限されます。初期値 = 25 inches/second



10



\* 25



40



80



120



150



200

---

## ワンドエミュレーションの出力信号パターン

出力信号パターンは、標準で黒バーを high で送信するか、逆に白バーを high で送信できます。初期設定 = Black High



\* Black High



White High

## ワンドエミュレーションアイドル

アイドルとは、データが送信されていないときのイメージャの状態をいいます。ワンドエミュレーション・モードでは、イメージャのアイドル状態はイメージャが接続されている機器のアイドル状態とかならず同じに設定してください。初期設定 = Idle High



\* Idle High



Idle Low



## グッドリードインジケータ

### ブザー — グッドリード

ブザーは、グッドリードに対応して **On** または **Off** に設定できます。このオプションをオフにすると、グッドリード表示へのブザー応答だけをオフにします。エラーおよびメニューのブザーはまだすべて鳴動します。初期設定 = On



\* On



Off

### ブザー音量 — グッドリード

グッドリードでイメージャが発生するブザーの音量を変更します。  
初期設定 = Medium (3800g/42xx/4600g/4600r の場合)、High (3800g/4800i の場合)



Low



Medium



High



Off

---

## ブザーピッチ – グッドリード

グッドリードでイメージャが発生するブザー音のピッチ（周波数）を変更します。初期設定 = Medium



Low (1600 Hz)



\* Medium (3250 Hz)



High (4200 Hz)

## ブザー長 – グッドリード

グッドリードでイメージャが発生するブザー音の長さを変更します。初期設定 = Normal



\* Normal Beep



Short Beep

## LED – グッドリード

正読 LED を、グッドリードに対応して **On** または **Off** に設定できます。初期設定 = On



\* On



Off



---

## ブザー回数 – グッドリード

グッドリードのブザー回数を 1 ～ 9 に設定できます。グッドリードに対応し、ブザーと LED に同じブザー回数が適用されます。例えば、このオプションをブザー 5 回に設定すると、グッドリードに対応してブザーが 5 回鳴り、LED が 5 回点滅します。ブザーと LED の点滅は互いに同期しています。ブザー回数を変更するときは、次のバーコードを読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から数字 (1 ～ 9) バーコードと **Save** バーコードを読み取ります。初期設定 = One



Number of Pulses

## グッドリードディレイ

別のバーコードを読み取るまでの最短時間を設定します。初期設定 = No Delay



\* No Delay



Short Delay (500 ms)



Medium Delay (1,000 ms)



Long Delay (1,500 ms)

## ユーザ指定のグッドリードディレイ

グッドリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ～ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save** を読み取ります。



User-Specified Good Read Delay

---

# トリガーモード

## マニュアル/シリアルトリガー

トリガーを引くかシリアルトリガーコマンド（12-4 ページの「トリガーコマンド」を参照）を用いて、イメージを動作させることができます。マニュアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るかトリガーを放すまで読み取り動作を継続します。

シリアルモードのときは、バーコードを読み取るか停止コマンドが送信されるまで読み取り動作を継続します。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにイメージを設定することもできます。（この後の [Read Time-Out](#) を参照。）



\* Manual/Serial Trigger

### **Read Time-Out**

イメージをシリアルコマンドでトリガーする時、またはマニュアルトリガーモードの場合は、この設定でトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。イメージがいったんタイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを使って動作させることができます。**Read Time-Out** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってタイムアウト時間（0 ~ 300,000 ミリ秒）を設定し、次に **Save** を読み取ります。初期設定 = 300,000



Read Time-Out

### **Manual Trigger, Low Power**

イメージは、トリガーを引くまでは電源が切れています。トリガーを引くと電源が入り、トリガーの無い状態が次の **Low Power Time-Out** のバーコードで設定した時間が続くまでは動作します。トリガーを最初に引いたときは動作に最大 1 秒のディレイがありますが、低出力タイムアウトモードではディレイはありません。



Manual Trigger, Low Power

注： **Manual Trigger, Low Power** は、キーボードウェッジアプリケーションでは使用できません。

---

## Low Power Time-Out Timer

タイムアウト時間 (秒単位) を変更するときは、Low Power Time-Out のバーコードを読み取ります。裏表紙の内側からタイムアウト時間 (0 ~ 300 秒) を読み取り、次に **Save** を読み取ります。初期設定 = 120 seconds

低出力タイムアウトインターバルの間イメージャがアイドルのまましていると、低出力モードになります。トリガーを引くと、低出力タイムアウトタイマーがリセットされます。



Low Power Time-Out

注： このタイムアウトタイマーは、イメージャのタイムアウト設定を過ぎるまでは始まりません。

## スキャンスタンドモード

スキャンスタンドモードのときは、スキャンスタンドシンボルがある間はアイドルのままです。(3-5 ページの「[スキャンスタンドモード](#)」を参照。) 別のコードを読み取ると、イメージャがトリガーされて新しいコードを読み取ります。

注： イメージャは、スキャンスタンドシンボルを読み取りやすくするため、照明 LED を可能な最低照明レベルに自動的に調整します。シンボルが示されると、照明レベルは保存してある設定に調整されます。(3-9 ページの「[投光 LED 出力レベル \(3800g では非対応\)](#)」を参照。) このモードが正確に動作するには、少なくとも 50 ルクス周囲の照明が必要です。



Scan Stand Mode

---

## スキャンスタンドシンボル

スキャンスタンドモードのとき、LED は、スタンドのベースにあってアイドル状態を保つよう指示するスキャンスタンドシンボルを照らします。スキャンスタンドシンボルを覆うと、イメージャは設定出力レベル（初期設定 = High）で LED を点灯し、視界にあるバーコードを探してデコードしようとします。



Scan Stand Symbol

## プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードで動作するようにイメージャを設定すると LED は、バーコードがイメージャに示されるまで、消灯されるかまたは周囲条件に対して最も暗くなります。バーコードを示されると、LED が自動的に点灯して読み取ります。プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがあります。



Presentation Mode

## デコード後のプレゼンテーション LED の動作

イメージャがプレゼンテーションモードにあるとき、バーコードをデコードした後の短い間、LED は点灯したまま読み取りを続けます。バーコードをデコードした後、直ちに LED を消灯したい場合は、次の **LEDs Off** バーコードを読み取ってください。初期設定 = LEDs On



\* LEDs On



LEDs Off

---

## プレゼンテーション感度

プレゼンテーション感度とは、バーコードのプレゼンテーションモードに対するイメージの反応時間を増減させる数値基準です。感度を設定するには、**Sensitivity** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から感度（0～20）を読み取り、次に **Save** を読み取ります。最も感度の高い設定が 0 で、最も低い設定が 20 です。初期設定 = 1



Sensitivity

## Streaming Presentation™ モード

注： この機能は、4600r にのみ適用されます。

ストリーミングプレゼンテーションモードにあるとき、イメージは常にスキャン照明を点灯したままで、バーコードのサーチを続けます。



Streaming Presentation Mode

優先シンボル（3800g では非対応）（3-16 ページ）を使用しているとき、優先順位の低いシンボルはエイミングパターンの中央に置かれ、ストリーミングプレゼンテーションモードで読み取られます。

## ハンズフリータイムアウト

スキャンスタンド、プレゼンテーションモード、およびストリーミングプレゼンテーションの各モードは、「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、イメージがマニュアルトリガーモードのままでの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると（さらにトリガーが引かれなければ）、元のハンズフリーモードに戻ります。

**Hands Free Time-Out** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間（0～300,000 ミリ秒）を読み取り、次に **Save** を読み取ります。初期設定 = 5,000 ms



Hands Free Time-Out

---

## リリードディレイ

同じバーコードを2回目に読み取るまでの間隔を秒単位で設定します。リリードディレイを設定することで、同じバーコードを誤って再読み取りするのを防ぎます。ディレイを長くすると、再読み取りエラーを最小限にするのに効果的です。バーコードの繰り返し読み取りが必要な用途に対しては、ディレイを短くします。初期設定 = Medium

リリードディレイが動作するのは、**プレゼンテーションモード**または **Streaming Presentation™ モード** (3-7 ページ) のときだけです。



Short (500 ms)



\* Medium (750 ms)



Long (1000 ms)



Extra Long (2000 ms)

## ユーザ指定のリリードディレイ

リリードディレイに独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 30,000 ミリ秒) を設定し、最後に **Save** を読み取ります。



User-Specified Reread Delay

---

## 投光 LED 出力レベル (3800g では非対応)

投光 LED とエイマーの輝度を調整できます。照明が不要のときは **Off** を使用します。少ない照明で十分な場合は **Low** にします。**High** (初期設定) は最も明るい設定です。

エイマーディレイを設定してある場合 (3-10 ページの「エイマーディレイ」を参照)、エイマーは、ディレイ中は LED 出力レベルに関係なく 100% 出力になります。

注： **Off** バーコードを読み取ると、エイマーと照明ライトが両方ともオフし、暗いところでのバーコード読み取りができなくなります。LED 出力レベルをオンに戻すときは、明るいところに移動し、次の **Low** または **High** のバーコードを読み取ってください。



Off



Low (50%)



\* High (100%)

## 照明ライト (3800g では非対応)

バーコードの読み取り中に照明ライトをオンにしたい場合は、次の **Lights On** のバーコードを読み取ります。ただし、単にライトをオフしたい場合は、**Lights Off** のバーコードを読み取ります。

注： この設定は、エイマーライトには無効です。エイミングライトは、**エイマーモード** (3-11 ページ) で設定できます。



\* Lights On



Lights Off

## イメージタイムアウト

イメージタイムアウトでは、指定時間アイドルになった後にイメージャの電源を切ります。電源が落ちないようにするには、この時間を 0 に設定します。次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字 (0 ~ 999,999 ミリ秒) を読み取ってタイムアウトを設定し、次に **Save** を読み取ります。

初期設定 = 60,000 ms

注： この初期設定は、基礎番号 31205480 のファームウェアに適用されます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページのソフトウェアの改訂情報の表示を参照してください。



Imager Time-Out

## エイマーディレイ

オペレータがイメージャの狙いを定めてピクチャを取り込むまでのディレイ時間を設定します。これらのコードで、トリガーを引いてからピクチャを取り込むまでの時間を設定します。ディレイ時間の間はエイミングライトが照射されますが、ディレイ時間を過ぎるまで LED は点灯しません。



200 milliseconds



400 milliseconds



\* Off (no delay)

## ユーザ指定のエイマーディレイ

ディレイ時間に独自の長さを設定したい場合は、次のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから数字 (0 ~ 4,000 ミリ秒) を読み取ってタイムアウトを設定し、**Save** を読み取ります。



Delay Duration



---

## エイマーモード

注： 4X00 エンジンが搭載されたユニットの初期設定は Concurrent です。5X00 エンジンが搭載されたユニットの初期設定は Interlaced です。お使いのユニットのエンジンを確認するには、11-2 ページの [エンジンの改訂情報の表示](#) を参照してください。4600r では、Concurrent のエイマーモードは使用できません。

エイマーモード機能により、エイマーと照明 LED を切り換えることで読み取り中のピーク電流を下げることができます。Interlaced のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED は同時に点灯できません。5X00 エンジンの推奨設定である Interlaced は、読み取り中のピーク消費電流を制限します。4X00 エンジンの場合、Interlaced 設定によりフレームの取り込み速度が低減します。Concurrent のバーコードを読み取ると、エイマーと照明 LED を同時に点灯できます。4X00 エンジンの場合、この設定をお勧めします。固定マウントのアプリケーションでエイマーが不要な場合は、Off を選択してください。



Off



Concurrent

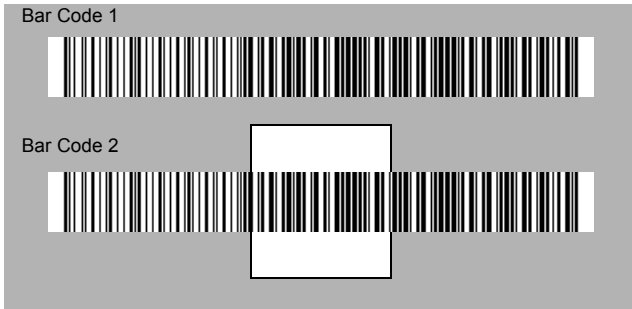


Interlaced

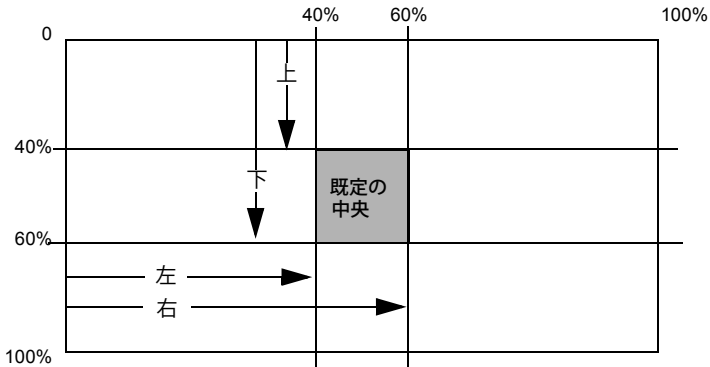
## センタリング

希望のバーコードだけを確実に読み取るようにするには、センタリングを使用してイメージャの視界を狭めます。例えば、複数のバーコードが接近している場合は、センタリングで希望のバーコードだけを確実に読み取ります。(センタリングは、複数のバーコードが接近して配置されているアプリケーションで最もエラーの少ない動作をするように、3-10 ページの [エイマーディレイ](#) といっしょに使用できます。エイマーディレイ機能とセンタリング機能を併用すると、リニアレーザーバーコードイメージャなどの旧式システムの動作をエミュレーションできます。)

次の例では、グレイの領域がイメージの全視界であり、白い領域がセンタリングウィンドウです。バーコード 1 は読み取りませんが、バーコード 2 は読み取ります。



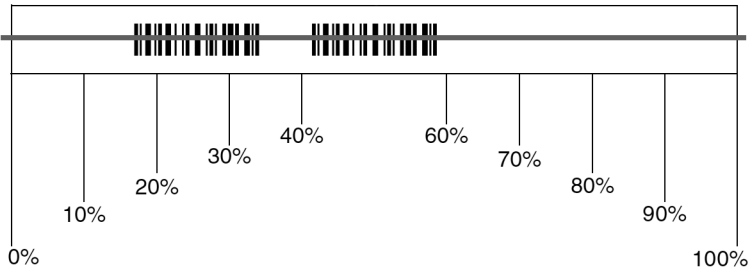
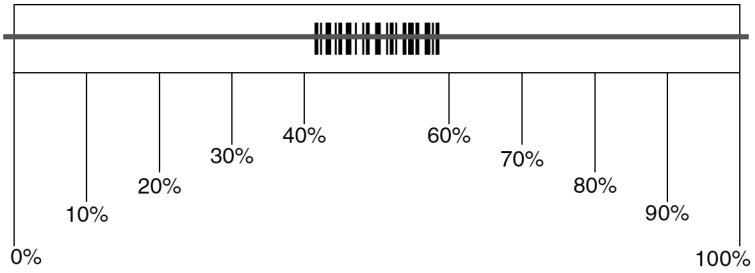
初期設定のセンタリングウィンドウは、イメージの視界の中央で面積は 128 x 96 ピクセルです。次の図は、既定の上下左右のピクセル位置を示します。640 x 480 ピクセルのイメージの視界の上と左から測った場合です。



バーコードがあらかじめ定義されたウィンドウ内になければ、イメージはデコードも出力もしません。**Centering On** を読み取ってセンタリングをオンにすると、**Top**、**Bottom**、**Left**、または **Right** のバーコードで指定したセンタリングウィンドウを横切るコードだけを読み取ります。

---

3800g シリーズ



---

**Centering On**を読み取り、次のバーコードをどれか読み取ってセンタリングウィンドウの上下左右いずれかを変更します。次に本書の裏表紙の内側にある数字を用いて、センタリングウィンドウを移動するパーセンテージを読み取ります。その後 **Save** を読み取ります。

初期設定センタリング= Top と Left が 40%、Bottom と Right が 60%



Centering On



Top of Centering Window



Left of Centering Window



\* Centering Off



Bottom of Centering Window



Right of Centering Window

---

## デコードサーチモード (3800g では非対応)

3種類のデコード（読み取り）モードを選択できます。

**Full Omnidirectional** – イメージの中央からバーコードの図柄をイメージの限界までサーチします。このモードでは、すべてのシンボル（OCRを含む）を全方向で読み取ります。全方向サーチは非常に綿密なので、実行時間が遅くなることがあります。

注： このサーチモードは初期設定です。



Full Omnidirectional

**Quick Omnidirectional** – イメージの中心領域周辺のバーコードの図柄を簡略サーチします。このモードでは、すべてのシンボルを全方向で高速で読み取ります。中心をはずれた一部のバーコードのほか、Data Matrix や QR Code のシンボルを読み落とすことがあります。



Quick Omnidirectional

**Advanced Linear Decoding** – イメージの中央バンドでクイック水平リニア読み取りを実行します。このモードは全方向ではありませんが、リニアおよびスタックバーコードを高速で読み取ります。2D、OCR、または郵便シンボルの読み取りはできません。



Advanced Linear Decoding

## 優先シンボル（3800g では非対応）

注： この設定は、OCR 文字には適用されません。

両方のバーコードシンボルが同じラベルに表示されているが、優先順位の低い方のシンボルを無効にできない場合、4600r を設定することにより、一方のシンボルが他のシンボルよりも優先順位が高いものとして指定することができます。

例えば、UPC シンボルを読み取るために小売設定でイメージャを使用している場合に、運転免許証のバーコードを読み取らなければならない場合があります。一部の免許証には Code 39 シンボルのほかに PDF417 シンボルもあります。優先シンボルを使用すると、Code 39 ではなく PDF417 を読み取るよう指定することができます。

優先シンボルは、各シンボルを**優先度高**、**優先度低**、または**指定なしタイプ**に分類します。優先度低のシンボルが現れたとき、イメージャは設定した時間（3-17 ページの「**優先シンボルのタイムアウト**」を参照）の間、このシンボルを無視し優先度高のシンボルをサーチします。この時間内に優先度高のシンボルが見つかったら、即座にデータが読み取られます。

優先度高のシンボルを読み取る前にタイムアウト期間が過ぎると、イメージャは視界内のバーコード（優先度低または指定なし）を読み取るようになります。タイムアウト期間が過ぎてもイメージャの視界内にバーコードが見つからない場合、データは報告されません。

注： 優先度低のシンボルは、読み取るエイミングパターンの中央に置く必要があります。

次のバーコードを読み取って、優先シンボルを有効または無効にします。



Preferred Symbology On



\* Preferred Symbology Off

### 優先度高シンボル

優先度高シンボルを指定するには、次の High Priority Symbology バーコードを読み取ります。A-1 ページの**シンボルチャート**で、優先度高に設定するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。Save を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None



High Priority Symbology

---

## 優先度低シンボル

優先度低シンボルを指定するには、次の Low Priority Symbology バーコードを読み取ります。A-1 ページのシンボルチャートで、優先度低に設定するシンボルを探します。そのシンボルの Hex 値を確認して、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

優先度低のシンボルをさらに設定したい場合は、**FF** を読み取った後、次のシンボルに対応する 2 桁の Hex 値をプログラミングチャートから読み取ります。最大 5 つの優先度低シンボルを設定できます。**Save** を読み取り、設定を保存します。初期設定 = None



Low Priority Symbology

## 優先シンボルのタイムアウト

優先シンボルを有効にし、優先度高および優先度低のシンボルを入力したら、タイムアウト期間を設定する必要があります。これは、優先度低のバーコードが現れた後、イメージャが優先度高のバーコードをサーチする時間です。次のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってディレイ (0 ~ 3,000 ミリ秒) を設定し、**Save** を読み取ります。初期設定 = 500 ms



Preferred Symbology Time-out

## 優先シンボルの初期設定

次のバーコードを読み取り、すべての優先シンボル入力を初期設定の値に設定します。



Preferred Symbology Default

# アウトプットシーケンスの概要

## アウトプットシーケンス条件

オフにすると、バーコードデータはイメージャがデコードしたままホストに出力されます。オンの場合、すべての出力データは設定したシーケンスどおりでなければなりません。合っていない場合は、イメージャは出力データをホスト機器に送信しません。

注： この設定は、**マルチプルシンボル** (3-22 ページ) がオンのときは使用できません。

## アウトプットシーケンスエディタ

この設定により、バーコードが読み取られる順序には関係無く、アプリケーションで必要な任意の順序でもデータを出力するように（複数のシンボルを読み取るとき）イメージャを設定できます。**Default Sequence** のシンボルを読み取ると、下記の汎用値にイメージャを設定します。これが初期設定になっています。**Default Sequence** のシンボルを読み取る前に必ずフォーマットをすべて削除するかクリアしてください。

注： アウトプットシーケンスエディタを設定するときは、アプリケーションで必要なコード ID、コード長、およびキャラクタマッチを知る必要があります。英数字シンボル（裏表紙の内側）を用いてこれらのオプションを読み取ってください。シーケンスで各バーコードを読み取る間は、トリガーを引いたままにしておく必要があります。

## アウトプットシーケンスを追加する

1. **Enter Sequence** のバーコードを読み取ります。(3-18 ページの**アウトプットシーケンスの概要**を参照。)
2. **コード I.D.**  
A-1 ページの**シンボルチャート**で、アウトプットシーケンスフォーマットを適用するシンボルを確認します。シンボルの Hex 値を確認し、プログラミングチャート（裏表紙の内側）から 2 桁の Hex 値を読み取ります。
3. **コード長**  
このシンボルで可能なデータ出力の長さ（最大 9,999 キャラクタ）を指定します。プログラミングチャートから 4 桁のデータ桁数を読み取ります。（注： 50 キャラクタは 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さを示します。）データ桁数を計算するときには、設定したプレフィックス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。（9999 を使用しない場合。）
4. **キャラクタマッチシーケンス**  
A-4 ページの**ASCII 換算チャート (コードページ 1252)**で、マッチさせたいキャラクタを表す Hex 値を確認します。プログラミングチャートを使用し、ASCII キャラクタを表す英数字の組合せを読み取ります。（99 は汎用の数字で、すべてのキャラクタを示します。）



---

## 5. アウトプットシーケンスエディタの終了

追加シンボル用にアウトプットシーケンスを入力するときは **FF** を読み取ります。または **Save** を読み取って入力を保存します。

### 他のプログラミング設定

• **Discard**

アウトプットシーケンスの変更を保存しないで終了します。

## アウトプットシーケンスの例

この例では、Code 93、Code 128、および Code 39 のバーコードを読み取りますが、下記のように Code 39、Code 128、Code 93 の順に出力できます。

注： この例を使用するときは、Code 93 をかならず有効にしてください。



A - Code 39



B - Code 128



C - Code 93

---

次のコマンド行でシーケンスエディタを設定します。

**SEQBLK62999941FF6A999942FF69999943FF**

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

62	<b>Code 39</b> のコード ID
9999	Code 39 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ
41	Code 39 に対応するスタートキャラクタ、41h="A"
FF	最初のコードの終了ストリング
6A	<b>Code 128</b> のコード ID
9999	Code 128 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ
42	Code 128 に対応するスタートキャラクタ、42h="B"
FF	2 番目のコードの終了ストリング
69	<b>Code 93</b> のコード ID
9999	Code 93 の場合に対応しなければならないコード長、9999：すべての長さ
43	Code 93 に対応するスタートキャラクタ、43h="C"
FF	3 番目のコードの終了ストリング

特定のデータ桁数を使用して先の例を設定するには、設定したプレフィックス、サフィックス、またはフォーマットしたキャラクタをデータ桁数の一部として数える必要があります。3-17 ページの例を使用するが <CR> サフィックスと特定のコード長を想定する場合は、次のコマンド行を使用します。

**SEQBLK62001241FF6A001342FF69001243FF**

コマンド行の内容は次のとおりです。

SEQBLK シーケンスエディタのスタートコマンド

62	<b>Code 39</b> のコード ID
0012	A - Code 39 のサンプル長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
41	Code 39 に対応するスタートキャラクタ、41h="A"
FF	最初のコードの終了ストリング
6A	<b>Code 128</b> のコード ID
0013	B - Code 128 のサンプル長 (12) + CR サフィックス (1) = 13
42	Code 128 に対応するスタートキャラクタ、42h="B"
FF	2 番目のコードの終了ストリング
69	<b>Code 93</b> のコード ID
0012	C - Code 93 のサンプル長 (11) + CR サフィックス (1) = 12
43	Code 93 に対応するスタートキャラクタ、43h="C"
FF	3 番目のコードの終了ストリング

---

## アウトプットシーケンスエディタ



Enter Sequence



Default Sequence

## アウトプットシーケンス条件

アウトプットシーケンスが **Required** のとき、出力データはすべて設定シーケンスどおりでなければなりません。合っていない場合は、イメージは出力データをホスト機器に送信しません。 **On/Not Required** のときは、編集されたシーケンスに合うよう出力データを取得しようとしています。取得できなければ、すべての出力データをそのままホスト機器に送信します。

オフにすると、バーコードデータはイメージがデコードしたままホストに出力されます。

注： この設定は、マルチプルシンボル選択がオンになっているときは使用できません。



Required



On/Not Required



\*Off

---

## マルチプルシンボル

注： この機能は、低出力モードには対応していません。

このプログラミング設定を **On** にすると、イメージャのトリガーを 1 回引くだけで複数のシンボルを読み取ることができます。トリガーを引いたまま複数のシンボルをエイミングすると、各シンボルを 1 回ずつ読み取り、そのつどブザーが鳴ります。(オンの場合。) イメージャは、トリガーを引いている間は新たなシンボルを探してデコードしようとします。このプログラム設定を **Off** にすると、エイミングビームに最も近いシンボルだけを読み取ります。



On



\* Off

## No Read

No Read を **On** にすると、イメージャはコードを読み取れない場合に知らせます。Quick\* View Scan Data Window を使用していると、コードを読み取れなかったときに「NR」と表示されます。No Read を **Off** にすると「NR」は表示されません。



On



\* Off

例えば「Error」や「Bad Code」など「NR」以外を表示したい場合は、[データフォーマット](#) (5-5 ページ) で出力メッセージを編集できます。No Read シンボルの Hex 値は 9C です。

---

## プリントウェイト

イメージがマトリックスシンボルを読み取る方法を調整するときに使います。一様に太く印刷されたマトリックスシンボルを読み取るときは、プリントウェイトを 6 にすると読み取り性能が向上する場合があります。印刷が一様に細い場合は、2 にすると良い場合があります。**Set Print Weight** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってプリントウェイト (1 ~ 7) を設定し、次に **Save** を読み取ります。初期設定 = 4



Set Print Weight



\* Default

## ビデオリバーズ

ビデオリバーズを使用すると、反転したバーコードを読み取ることができます。次の「Off」バーコードは、この種のバーコードの例です。別のメニュー操作が必要な場合は、ビデオリバーズを無効にしてメニューバーコードを読み取り、メニュー操作が終了してから再度有効にしてください。

注： ユニットからダウンロードされたイメージは反転されません。これは、読み取り専用の設定です。



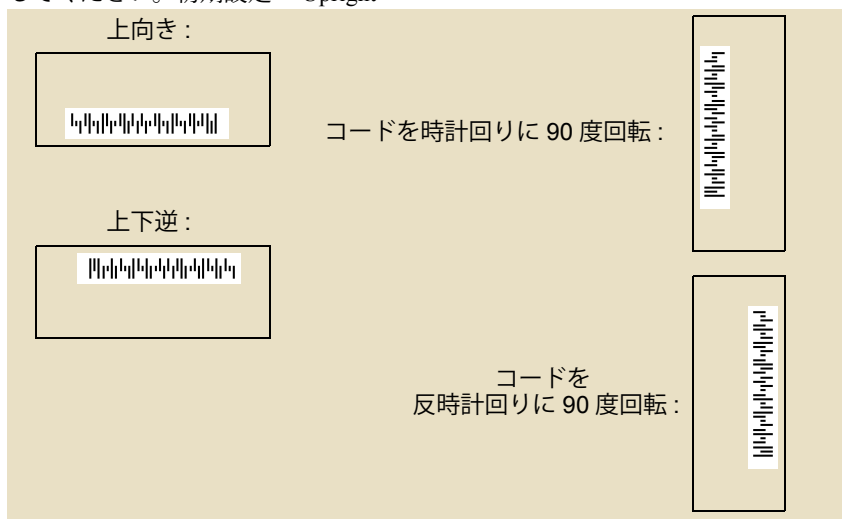
On



\* Off

## 動作方向

バーコードによっては、方向性がある場合があります。例えば、KIX コードや OCR は、横向きや上下逆だと読み落とすことがあります。方向性のあるバーコードが通常イメージに上向きに示されない場合は、動作方向の設定を使用してください。初期設定 = Upright



\* Upright



Upside Down



Rotate Code Clockwise 90°  
(イメージを反時計回りに回転)

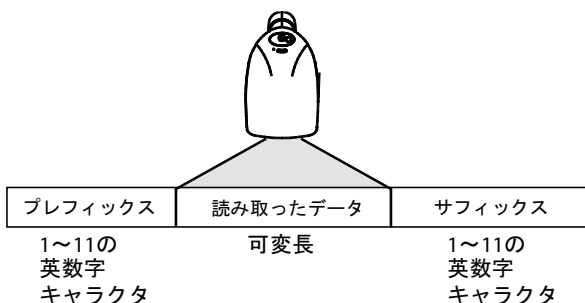


Rotate Code  
Counterclockwise 90°  
(イメージを時計回りに回転)

## プレフィックス／サフィックスについて

バーコードを読み取ると、追加情報がバーコードデータといっしょにホストコンピュータに送信されます。バーコードデータと追加のユーザ定義データを合わせて「メッセージストリング」と呼びます。この章の設定は、ユーザ定義データをメッセージストリングに組み込むときに使用します。

プレフィックスとサフィックスのキャラクターは、読み取ったデータの前後に送信できるデータキャラクターです。全シンボルと送信するか、特定シンボルとだけ送信するかを指定できます。次の図は、メッセージストリングの中身を示します。



## 補足

- つねにメッセージストリングを作る必要はありません。この章の設定を使用するのは、初期設定を変更したいときだけです。  
初期設定プレフィックス = None  
初期設定サフィックス = None
- プレフィックスやサフィックスは、1シンボルまたは全シンボルに追加／削除できます。
- A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) で、プレフィックスやサフィックスは、どれでもコードIDやAIMIDといっしょに追加できます。
- 1回の動作で複数のシンボルに対して複数の設定を結合できます。
- 出力で表示したい順にプレフィックスとサフィックスを入力してください。
- 全シンボルではなく特定のシンボルを設定するとき、シンボルID値は、追加されたプレフィックスまたはサフィックスのキャラクターと見なします。

---

## プレフィックスまたはサフィックスの追加手順

- Step 1.** **Add Prefix** または **Add Suffix** のバーコードを読み取ります。(4-4 ページ)
- Step 2.** シンボルチャート(付録 A にあります)からプレフィックスまたはサフィックスを適用したいシンボルの 2 桁の Hex 値を確認します。例えば、Code 128 の場合、コード ID は「j」、Hex ID は「6A」です。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから 2 桁の数字を読み取ります。全シンボルの場合は **9、9** と読み取ります。
- Step 4.** A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** から、入力したいプレフィックスまたはサフィックスの Hex 値を確認します。
- Step 5.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、確認した 2 桁の Hex 値を読み取ります。
- Step 6.** プレフィックスまたはサフィックスのキャラクタごとに Step 4 と Step 5 を繰り返します。
- Step 7.** コード ID を追加するときは、**5、C、8、0** を読み取ります。  
AIM ID を追加するときは、**5、C、8、1** を読み取ります。  
バックスラッシュ (\) を追加するときは、**5、C、5、C** を読み取ります。
- 注： Step 7 でバックスラッシュ (\) を追加するときは、5C を 2 回読み取ってください。1 回目で先行バックスラッシュを作成し、次にバックスラッシュ自体を作成します。
- Step 8.** **Save** を読み取って保存／終了するか、**Discard** を読み取って保存せずに終了します。

別のシンボルにプレフィックスまたはサフィックスを追加するときは、Step 1 ～ 6 を繰り返します。

### 例：サフィックスを特定のシンボルに追加する場合

CR (キャリッジリターン) サフィックスを UPC だけに送信するには：

- Step 1.** **Add Suffix** を読み取ります。
- Step 2.** シンボルチャート(付録 A にあります)から UPC の 2 桁の Hex 値を確認します。
- Step 3.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから **6、3** を読み取ります。
- Step 4.** A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** から、CR (キャリッジリターン) の Hex 値を確認します。



---

**Step 5.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから、**0、D**を読み取ります。

**Step 6.** **Save** を読み取るか、**Discard** を読み取って保存せずに終了します。

## 1 つまたはすべてのプレフィックスまたはサフィックスの削除

シンボルのプレフィックスまたはサフィックスを1つまたはすべて削除できます。プレフィックス（サフィックス）を1つ削除するときは、選択したキャラクターを希望のシンボルから削除します。全プレフィックス（サフィックス）を削除するときは、シンボルのプレフィックスまたはサフィックスをすべて削除します。

**Step 1.** **Clear One Prefix** または **Clear One Suffix** のバーコードを読み取ります。

**Step 2.** シンボルチャート（付録 A にあります）から、プレフィックスまたはサフィックスを削除したいシンボルの2桁のHex値を確認します。

**Step 3.** 本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから2桁のHex値を読み取ります。全シンボルの場合は**9、9**を読み取ります。

この変更は自動的に保存されます。

## キャリッジリターンサフィックスを全シンボルに追加する

キャリッジリターンサフィックスをすべてのシンボルに一度に追加したい場合は、次のバーコードを読み取ります。この操作では、まず現在のサフィックスをすべて削除し、次にすべてのシンボルに対してキャリッジリターンサフィックスを設定します。



Add CR Suffix  
All Symbologies

---

## プレフィックスの設定



Add Prefix



Clear One Prefix



Clear All Prefixes

## サフィックスの設定



Add Suffix



Clear One Suffix



Clear All Suffixes

## ファンクションコード送信

この設定が有効で、読み取ったデータにファンクションコードが含まれていると、イメージはそのファンクションコードをターミナルに送信します。これらのファンクションコードは、[10-3 ページ](#)からの「[サポートされているインタフェースキー](#)」に記載されています。キーボードウェッジ・モードのとき、読み取りコードはキーコードに変換されてから送信されます。初期設定 = Enable



\* Enable



Disable

## キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイ

データ送信が速すぎると、ターミナルによっては情報（キャラクタ）を取りこぼすことがあります。キャラクタ間、ファンクション間、およびメッセージ間ディレイはデータ送信を遅くしますが、データはより確実に送信されます。

各ディレイは 5 ミリ秒単位で設定します。0 ～ 495ms の範囲で最大 99 ステップ（1 ステップ：5ms）までプログラム設定できます。

### キャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの各キャラクタを送信する間に最大 495 ミリ秒（5ms 単位）のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Intercharacter Delay** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字（0 ～ 99）と **Save** のバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、**Intercharacter Delay** のバーコードを読み取り、次にステップ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **Save** のバーコードを読み取ります。

注：キャラクタ間ディレイは、USB のシリアルエミュレーションではサポートされていません。

## ユーザ指定のキャラクタ間ディレイ

読み取ったデータの特定のキャラクタを送信した後に、最大 495 ミリ秒 (5ms 単位) のキャラクタ間ディレイを設定できます。次の **Delay Length** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ります。

次に、**Character to Trigger Delay** のバーコードを読み取り、A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** で、ディレイをトリガーする ASCII キャラクタの 2 桁の Hex 値を読み取ります。



Delay Length

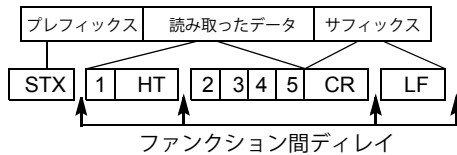


Character to Trigger Delay

このディレイを削除するには、**Delay Length** のバーコードを読み取り、次にステップ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **Save** のバーコードを読み取ります。

## ファンクション間ディレイ

メッセージストリングの各セグメントを送信する間に最大 495 ミリ秒 (5ms 単位) のファンクション間ディレイを設定できます。次の **Interfunction Delay** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ります。



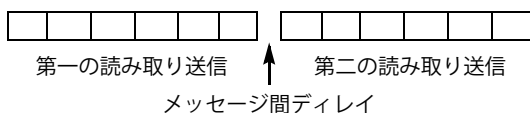
Interfunction Delay

このディレイを削除するときは、**Interfunction Delay** のバーコードを読み取り、次にステップ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **Save** のバーコードを読み取ります。

---

## メッセージ間ディレイ

読み取り送信の間に最大 495 ミリ秒 (5ms 単位) のメッセージ間ディレイを設定できます。次の **Intermessage Delay** のバーコードを読み取り、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で 5 ミリ秒単位の数字 (0 ~ 99) と **Save** のバーコードを読み取ります。



このディレイを削除するときは、**Intermessage Delay** のバーコードを読み取り、次にステップ数を 0 に設定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **Save** のバーコードを読み取ります。



# データフォーマット

## データフォーマットエディタについて

データフォーマットエディタを使ってイメージャの出力を変更できます。例えば、バーコードデータを読み取りながら特定個所にキャラクタを挿入できます。この後のページに記載された設定は、出力を変更したい場合だけに使用してください。データフォーマットの初期設定 = None

通常、バーコードを読み取ると自動的に出力されます。フォーマットをする場合は、フォーマットプログラムの中で「send」コマンド（5-3 ページの「送信コマンド」を参照）でデータを出力する必要があります。

イメージャに複数のフォーマットをプログラム設定できます。入力された順にスタックされます。ただし、次の一覧はフォーマットが適用される順序を示しています。

1. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
2. 特定のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
3. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
4. 特定のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ
5. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、実際の長さ
6. 汎用のターミナル ID、実際のコード ID、汎用の長さ
7. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、実際の長さ
8. 汎用のターミナル ID、汎用のコード ID、汎用の長さ

データフォーマットの設定を変更してあり、フォーマットをすべて削除して工場初期設定に戻したい場合は、5-5 ページの **Default Data Format** のバーコードを読み取ります。

## データフォーマットの追加

**Step 1.** Enter Data Format のバーコードを読み取ります。（5-5 ページ）

### Step 2. 基準／代用フォーマット

基準のデータフォーマットにするか、または 3 つある代用フォーマットの 1 つにするかを決定します。（代用フォーマットでは、異なるデータフォーマットを用いて 1 つのバーコードを読み取る「シングルショット」機能が利用できます。バーコードを 1 つ読み取った後、イメージャは基準データフォーマットに戻ります。5-6 ページを参照してください。）基準フォーマットを設定するときは、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** で **0** を読み取ります。代用フォーマットをプログラム設定する場合は、設定する代用フォーマットによって **1**、**2**、または **3** を読み取ります。

### Step 3. ターミナルの種類

サポートターミナル (2-2 ページ) を参照し、お使いのコンピュータのターミナル ID ナンバーを確認します。裏表紙の内側にある 3 つの数字バーコードを読み取り、そのターミナル ID でイメージャをプログラム設定します。(数字を 3 つ入力してください。) 例えば、AT ウェッジの場合は **0、0、3** を読み取ります。

注： ターミナル全種のワイルドカードは 099 です。

### Step 4. コード ID

付録 A で、データフォーマットを適用するシンボルを確認します。そのシンボルの Hex 値を確認し、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 2 桁の Hex 値を読み取ります。

### Step 5. 長さ

このシンボルで可能なデータの長さ (最大 9,999 キャラクタ) を指定します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から 4 桁のデータ桁数を読み取ります。(注: 50 キャラクタは 0050 と入力します。9999 は汎用の数字で、すべての長さを示します。)

### Step 6. エディタコマンド

**データフォーマットエディタコマンド** (5-3 ページ) を参照してください。入力したいコマンドを表すシンボルを読み取ります。各シンボルデータフォーマットには、94 の英数キャラクタを入力できます。

**Step 7.** 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **Save** を読み取ります。

## 他のプログラム設定

### • Clear One Data Format

- 1 つのシンボルに対してデータフォーマットを 1 つ削除します。基準フォーマットを削除する場合は、本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **0** を読み取ります。代用フォーマットを削除する場合は、削除する代用フォーマットによって **1、2、または 3** を読み取ります。削除したい特定のデータフォーマットのターミナルの種類、コード ID (2-2 ページの「**サポートターミナル**」を参照)、およびバーコードデータ桁数を読み取ります。他のフォーマットはすべて影響を受けません。
- 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **Save** を読み取ります。データフォーマットの変更をすべて保存して終了します。
  - 本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から **Discard** を読み取ります。データフォーマットの変更を一切保存しないで終了します。



---

## データフォーマットエディタコマンド

### 送信コマンド

- F1 現在のカーソル位置から、「xx」キーまたはファンクションコードの後に続くキャラクタをすべて送信します。**Syntax = F1xx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。)
- F2 現在のカーソル位置から、「xx」キーまたはファンクションコードの後に続く「nn」個のキャラクタを送信します。**Syntax = F2nnxx** (nn はキャラクタ数 (00-99) を、xx は ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。)
- F3 現在のカーソル位置から、「ss」キャラクタ (検索/送信) の前までを送信します。カーソルは、「xx」キーまたはファンクションコードに続く「ss」キャラクタで止まります。**Syntax = F3ssxx** (ss と xx は、どちらも ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。)
- F4 現在のカーソル位置はそのまま、「xx」キャラクタを「nn」回 (挿入) 送信します。**Syntax = F4xxnn** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。nn は、送信する回数 (00 ~ 99) を示しています。)
- E9 現在のカーソル位置から、最後の「nn」個のキャラクタを除くすべてのキャラクタを送信します。**Syntax = E9nn** (nn は、メッセージの最後に送信されないキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)

### 移動コマンド

- F5 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ前に移動します。**Syntax = F5nn** (nn は、カーソルを前に移動するキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)
- F6 カーソルを現在の位置から「nn」キャラクタ後に移動します。**Syntax = F6nn** (nn は、カーソルを後に移動するキャラクタ数 (00 ~ 99) を示しています。)
- F7 カーソルをデータストリングの先頭に移動します。**Syntax = F7**
- EA カーソルをデータストリングの末尾に移動します。**Syntax = EA**

### 検索コマンド

- F8 現在のカーソル位置より前方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。**Syntax = F8xx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。)
- F9 現在のカーソル位置より後方にある「xx」キャラクタを検索し、カーソルは「xx」キャラクタに移動します。**Syntax = F9xx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの [ASCII 換算チャート \(コードページ 1252\)](#) を参照してください。)

- 
- E6 現在のカーソル位置より前方にある「xx」以外の最初のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」以外のキャラクタに移動します。**Syntax = E6xx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** を参照してください。)
- E7 現在のカーソル位置より後方にある「xx」以外の最初のキャラクタを検索し、カーソルは「xx」以外のキャラクタに移動します。**Syntax = E7xx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** を参照してください。)

## その他のコマンド

- FB カーソルを他のコマンドで進めると、現在のカーソル位置から最大 15 の別のキャラクタをすべて無効にします。FC コマンドを実行すると、このファンクションは停止します。カーソルは、FB コマンドでは移動しません。**Syntax = FBnnxxyy..zz** の nn は、リストにある無効キャラクタの数、xxyy..zz は、無効にするキャラクタのリストです。(xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** を参照してください。)
- FC 無効化フィルタを使用不能にし、無効になったキャラクタをすべて削除します。**Syntax = FC**
- E4 データストリングにある最大 15 のキャラクタをユーザ指定のキャラクタに変更します。変更は、E5 コマンドを実行するまで続きます。**Syntax = E4nnxx<sub>1</sub>xx<sub>2</sub>yy<sub>1</sub>yy<sub>2</sub>...zz<sub>1</sub>zz<sub>2</sub>** の nn は変更前のキャラクタと変更後のキャラクタの合計です。xx<sub>1</sub> は、変更前のキャラクタを、xx<sub>2</sub> は変更後のキャラクタを定義します。zz<sub>1</sub> と zz<sub>2</sub> まで同様です。
- E5 キャラクタ変更を停止します。**Syntax = E5**
- FE 現在のカーソル位置のキャラクタをキャラクタ「xx」と比較します。キャラクタが同じ場合は、カーソルを 1 つ進めます。一致しない場合は、フォーマットが違います。**Syntax = FExx** (xx は、ASCII コードに対する Hex 値を示しています。A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** を参照してください。)
- EC 現在のカーソル位置に ASCII 数字があることを確認します。キャラクタが数字でない場合は、フォーマットを中止します。**Syntax = EC**
- ED 現在のカーソル位置に ASCII 数字以外のキャラクタがあることを確認します。キャラクタが数字の場合は、フォーマットを中止します。**Syntax = ED**

---

## データフォーマットエディタ



Enter Data Format



Clear One Data Format



Save



\* Default Data Format



Clear All Data Formats



Discard

## データフォーマッタ

データフォーマッタをオフにすると、バーコードデータは読み取ったまま（プレフィックスとサフィックスを含む）ホストに出力されます。次のオプションを1つ選択します。初期設定 = Data Formatter On, but Not Required



\* Data Formatter On,  
but Not Required



Data Formatter Off

データフォーマッタが必要なとき、入力データはすべて設定フォーマットに適合しなければなりません。適合しなければ、入力データをホスト機器に送信しません。



Data Format On, Format Required

---

## 代用データフォーマット

代用フォーマットでは、基準フォーマット以外の別のデータフォーマットを用いて 1 つのバーコードを読み取る「シングルショット」機能が利用できます。データフォーマットをプログラム設定するときは（5-1 ページを参照）、基準フォーマットを設定するのか代用フォーマット 1、2、または 3 を設定するのかを指定する必要があります。

代用フォーマットは、以下の 3 つの代用フォーマットバーコードの 1 つを最初に読み取ります。イメージは、その次のバーコードを読み取り、選択した代用フォーマットでデータをフォーマットします。その後すぐ基準フォーマットに戻ります。



Alternate Data Format 1



Alternate Data Format 2



Alternate Data Format 3

## セカンダリインタフェース

セカンダリインタフェースケーブルを切り換えることで、イメージャは、例えばホストターミナル（プライマリインタフェース）に加えて携帯データ端末（セカンダリインタフェース）と通信することができます。お使いのモデルでサポートされるインタフェースについては、次の表を参照してください。インタフェースがお使いのモデルでサポートされていない場合、利用できない機能があります。

### イメージャのモデル

モデル	プライマリ	セカンダリ
4600gXX03XX 4800iXX03XX	True RS-232	True RS-232
4600gXX05XX 4800iXX05XX	キーボードウェッジ、TTL レベル 232、TTL レベル 232 シリアルウェッジ、IBM 4683、ワンドエミュレーション、USB キーボード、USB HID、USB リテール（IBM SurePOS）、USB COM ポートエミュレーション	ワンドエミュレーション、TTL レベル 232
4600rXX05XX	キーボードウェッジ、TTL レベル 232、TTL レベル 232 シリアルウェッジ、IBM 4683、USB キーボード、USB HID、USB リテール（IBM SurePOS）、USB COM ポートエミュレーション	TTL レベル 232
3800g04E, 3800g14E	TTL レベル RS-232、USB、キーボードウェッジ	TTL レベル RS-232
3800g05E, 3800g15E	TTL レベル RS-232、IBM リテール、USB、リテール USB、キーボードウェッジ	TTL レベル RS-232

セカンダリインタフェースは、いつでも設定できます。

---

セカンダリインタフェースは一時的に無効にできますが、次の **Disable** のバーコードを読み取ることで、セカンダリインタフェースの設定をイメージのメモリーに保持できます。再び有効にするときは、Enable のバーコードを読み取ります。初期設定 = Disable



\* Disable



Enable

## セカンダリ RS-232 接続

イメージとターミナルの間のすべての通信パラメータは、RS-232 プロトコルを用いてシリアルポートでデータを正常に送信するためにすべて一致する必要があります。

RS-232 のプログラム可能な設定は、プライマリとセカンダリの両方のインタフェースで使用します。プライマリまたはセカンダリモードで RS-232 のパラメータ（ボーレート、パリティなど）を変更すると、両方のインタフェースに有効です。RS-232 の設定を変更したい場合は、2-9 ページの **RS-232 ボーレート** を参照してください。



RS-232 Interface

## セカンダリコード 39 ワンドエミュレーション

注： お使いのイメージで利用できるインタフェースについては、6-1 ページの「**イメージのモデル**」を参照してください。

ワンドエミュレーション・モードでは、バーコードをデコードしてからワンドイメージと同じフォーマットでデータを送信します。Code 39 Format では、シンボルをすべて Code 39 に変換します。Same Code Format では、UPC、EAN、Code 128、Codabar、およびインターリーブド 2 of 5 のバーコードをそのまま送信しますが、他のシンボルはすべて Code 39 に変換します。2D シンボルは Code 128 に変換します。これらのバーコードでは、転送速度を毎秒 25 インチに、出力信号パターンを黒の high に設定します。初期設定 = Code 39 Format

---

次の **Code 39 Format** のバーコードは、ターミナル ID を 61 に設定し、**Same Code Format** のバーコードは、ターミナル ID を 64 に設定します。



Wand Emulation  
Same Code Format



Wand Emulation  
Code 39 Format

## ワンドエミュレーションマルチブロック (3800g では非対応)

注： お使いのイメージャで利用できるインターフェースについては、6-1 ページの「[イメージャのモデル](#)」を参照してください。

注： セカンダリワンドエミュレーションの設定を変更すると、プライマリワンドエミュレーションの設定も変わります。(2-13 ページの「[ワンドエミュレーション \(3800g では非対応\)](#)」を参照。)

## ブロック間ディレイ

データブロック間のディレイ時間を設定します。初期値 = 50ms



5ms



\* 50ms



150ms



500ms

---

## オーバーオールチェックサム

このオプションをオンにすると、チェックキャラクタを算出してメッセージ全体の最後に追加します。チェックキャラクタは、そのメッセージの各先行キャラクタと排他的論理和を算出すると結果が 0x00 (00H) になるキャラクタです。初期設定 = Off



## ワンドエミュレーション送信速度

送信速度は、キャラクタの読み落とし無くデータを受信するターミナルの能力で制限されます。初期値 = 25 inches/second





---

## ワンドエミュレーションの出力信号パターン

出力信号パターンは、標準で黒バーを high で送信するか、逆に白バーを high で送信できます。初期設定 = Black High



\* Black High



White High

## ワンドエミュレーションアイドル

アイドルとは、データが送信されていないときのイメージャの状態をいいます。ワンドエミュレーション・モードでは、イメージャのアイドル状態はイメージャが接続されている機器のアイドル状態とかならず同じに設定してください。初期設定 = Idle High



\* Idle High



Idle Low

---

## データブロックサイズ

データを小さなブロックで送信し、バッファのオーバーフローを防ぎます。  
初期値 = 40



20



60



\* 40



80

---

## セカンダリトリガーモード

### Manual/Serial Trigger

トリガーを引くかシリアルトリガーコマンド（12-4 ページの「トリガーコマンド」を参照）を用いて、イメージャを動作させることができます。マニュアルトリガーモードでは、バーコードを読み取るかトリガーを放すまで読み取りをします。

シリアルモードのときは、バーコードを読み取るか停止コマンドが送信されるまで読み取りをします。指定時間が過ぎた後に自動的にオフになるようにイメージャを設定することもできます。（この後の「Read Time-Out」を参照。）



\* Manual/Serial Trigger

### Read Time-Out

イメージャをトリガーするためにシリアルコマンドを使用しているとき、またはマニュアルトリガーモードの場合は、この設定でトリガーのタイムアウト（ミリ秒単位）を設定します。イメージャがいったんタイムアウトになった後は、トリガーを引くかシリアルトリガーコマンドを使って動作させることができます。**Read Time-Out** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側から数字を読み取ってタイムアウト時間（0 ～ 300,000 ミリ秒）を設定し、次に **Save** を読み取ります。初期値 = 0（無限またはタイムアウト無し）



Read Time-Out

注： セカンダリインタフェースでリードタイムアウトを設定すると、プライマリインタフェースでも設定されます。

### Manual Trigger, Low Power

注： 4600r には適用されません。

イメージャは、トリガーを引くまでは電源が切れています。トリガーを引くと電源が入り、トリガーの無い状態が次の **Low Power Time-Out** のバーコードで設定した時間続くまでは動作します。トリガーを最初に引いたときは動作に最大 1 秒のディレイがありますが、低出力タイムアウトモードで動作中はディレイがありません。



Manual Trigger, Low Power

---

注： **Manual Trigger**、**Low Power** は、キーボードウェッジアプリケーションでは使用できません。

### **Low Power Time-Out Timer**

タイムアウト時間 (秒単位) を変更するときは、Low Power Time-Out のバーコードを読み取ります。裏表紙の内側からタイムアウト時間 (0 ~ 300 秒) を読み取り、次に **Save** を読み取ります。初期値 = 120 seconds

低出力タイムアウトインターバルの間イメージャがアイドルのまましていると、低出力モードになります。トリガーを引くと、低出力タイムアウトタイマーがリセットされます。



Low Power Time-Out

注： このタイムアウトは、イメージャのタイムアウト設定を過ぎるまでは始まりません。

注： 低出力タイムアウトをセカンダリインタフェースで設定すると、プライマリインタフェースでも設定されます。

## **ハンズフリータイムアウト**

自動トリガーおよびプレゼンテーションモードは、「ハンズフリー」モードと呼ばれます。ハンズフリーモードを使用中にトリガーを引くと、マニュアルトリガーモードに変わります。ハンズフリータイムアウトを設定することで、イメージャがマニュアルトリガーモードのままの時間を設定できます。タイムアウト値に達すると (さらにトリガーを引かなければ)、元のハンズフリーモードに戻ります。

注： セカンダリインタフェースのタイムアウト時間を変更すると、プライマリインタフェースのタイムアウト時間も変更されます。

**Hands Free Time Out** のバーコードを読み取り、裏表紙の内側からタイムアウト時間 (0 ~ 300,000 ミリ秒) を読み取り、次に **Save** を読み取ります。

初期値 = 5,000ms



Hands Free Time-Out

---

## スキャンスタンドモード

スキャンスタンドモードのときは、スキャンスタンドシンボルがある間はアイドルのままです。(次の「スキャンスタンドシンボル」を参照。)別のコードを読み取ると、イメージャがトリガーされて新しいコードを読み取ります。

注： イメージャは、スキャンスタンドシンボルを読み取りやすくするため、照明 LED を可能な最低照明レベルに自動的に調整します。シンボルが表示されると、照明レベルは保存してある設定に調整されます。(3-9 ページの「投光 LED 出力レベル (3800g では非対応)」を参照。)



Scan Stand Mode

## スキャンスタンドシンボル

スキャンスタンドモードのとき、LED は、スタンドのベースにあってアイドル状態を保つよう指示するスキャンスタンドシンボルを照らします。スキャンスタンドシンボルを覆うと、イメージャは設定出力レベル (初期設定 = High) で LED を点灯し、視界にあるバーコードを探してデコードしようとします。



Scan Stand Symbol

## プレゼンテーションモード

プレゼンテーションモードで動作するようにイメージャを設定します。LED は、バーコードがイメージャに示されるまで、消灯されるかまたは周囲条件に対して最も暗くなります。バーコードを示されると、LED が自動的に点灯して読み取ります。プレゼンテーションモードでは、周囲の照明を使ってバーコードを検知します。室内の照明が暗いと正常に機能しないことがあります。



Presentation Mode



この章では、以下のメニュー項目について説明します。設定と初期設定については、第 12 章を参照してください。

- All Symbolologies
- 4-CB (4-State Customer Bar Code) ※
- Australian Post ※
- Aztec Code ※
- British Post ※
- Canadian Post ※
- China Post
- Codabar
- Codablock F
- Code 11
- Code 128
- Code 16K
- Code 39
- Code 49
- Code 93
- Data Matrix (3800g では非対応) ※
- EAN/JAN-13
- EAN/JAN-8
- EAN•UCC Composite コード (3800g では非対応) ※
- インターリーブド 2 of 5
- ID-tag (UPU 4-State) ※
- Japanese Post ※
- Kix (Netherlands) Post ※
- Korea Post (3800g では非対応)
- マトリックス 2 of 5
- MaxiCode ※
- MicroPDF417 ※
- MSI
- PDF417 ※
- Planet Code ※
- Plessey コード
- PosiCode A および B
- Postnet
- QR Code (3800g では非対応) ※
- RSS Expanded
- RSS Limited ※
- RSS-14
- Straight 2 of 5 IATA
- Straight 2 of 5 Industrial
- TCIF Linked Code 39 (TLC39)
- Telepen
- UPC-A
- 拡張クーポンコード付き  
UPC-A/EAN-13

※のついているものはすべて 3800g では読み取ることができません。

---

## All Symbolologies

お使いのイメージャで可能なシンボルをすべてデコードしたい場合は、**All Symbolologies On** のバーコードを読み取ります。特定のシンボルだけを読み取りたい場合は、All Symbolologies Off を読み取り、その後その特定シンボルに対して On バーコードを読み取ります。



All Symbolologies On



All Symbolologies Off

## 読み取り桁数について

バーコードシンボルによっては、有効読み取り桁数を設定できます。読み取ったバーコードのデータ桁数が有効読み取り桁数と一致しなければ、エラーブザーが鳴ります。イメージャに強制的に一定桁数のバーコードデータを読み取らせるため、最短と最長を同じ値に設定できます。これは、読み取りエラーを減らすのに役立ちます。

例： 文字数が 9 ～ 20 のバーコードだけをデコードする。

最短：09                      最長：20

例： 文字数が 15 のバーコードだけをデコードする。

最短：15                      最長：15

初期設定の最短および最長読み取り桁数以外の値にする場合は、そのシンボルの説明に含まれているバーコードを読み取り、次に本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) の読み取り桁数の数値と **Save** のバーコードを読み取ります。最短と最長、および初期設定は、それぞれのシンボルといっしょに記載されています。



---

## Codabar

<Default All Codabar Settings>



## Codabar



\* On



Off

## コーダバースタート／ストップキャラクタ

スタート／ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信するしないが選択できます。

初期設定 = Don't Transmit



Transmit



\* Don't Transmit

## コーダバーチェックキャラクタ

コーダバーチェックキャラクタは、いろいろな「モジュラス」を用いて作成します。モジュラス 16 チェックキャラクタを用いたコーダバーのバーコードだけを読み取るようにイメージを設定できます。初期設定 = No Check Character

**No Check Character** は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタを **Validate and Transmit** に設定すると、チェックキャラクタが印刷されたコーダバーのバーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

**Validate, but Don't Transmit** に設定すると、チェックキャラクタとともに印刷されたコーダバーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは、読み取ったデータと一緒に送信されません。



\* No Check Character



Validate Modulo 16, but Don't Transmit



Validate Modulo 16 and Transmit

## コーダバー連結機能

コーダバーは、シンボルの連結をサポート機能があります。連結機能を有効にすると、イメージは「D」のスタートキャラクタがあり、「D」のストップキャラクタがあるシンボルに隣接するコーダバーのシンボルを検索します。この場合、2つのメッセージは1つに連結され、「D」キャラクタは省略されます。

初期設定 = On

キャラクタ スタート ストップ スタート ストップ

**Codabar**



A12D



D34A

連結されていない単独の「D」コーダバーシンボルをデコードしないようにするには、Require を選択します。この選択をしても、スタート/ストップ D キャラクタのないコーダバーシンボルには影響ありません。



On



\* Off



Require

---

## コーダバー読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。

最長と最短=2～60 最短の初期設定=4 最長の初期設定=60



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Code 39

< Default All Code 39 Settings >



## Code 39



\* On



Off

## Code 39 スタート／ストップキャラクタ

スタート／ストップキャラクタは、バーコードの先頭と末尾を識別します。送信するしないが選択できます。初期設定= Don't Transmit



Transmit



\* Don't Transmit

---

## Code 39 チェックキャラクタ

**No Check Character** は、チェックキャラクタの有無に関係なくバーコードを読み取って送信することを示します。

チェックキャラクタを **Validate, but Don't Transmit** に設定すると、イメージはチェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。

チェックキャラクタを **Validate and Transmit** に設定すると、チェックキャラクタが印刷された Code 39 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。初期設定 = No Check Character



\* No Check Character



Validate, but Don't Transmit



Validate and Transmit

## Code 39 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については [読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 0 ~ 48 最短の初期設定 = 0 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## Code 39 アペンド機能

この機能により、複数の Code 39 バーコードのデータをいっしょにしてからホストコンピュータに送信できます。この機能を有効にすると、イメージはスペースで始まる Code 39 バーコード（スタートおよびストップシンボルを除く）を保存し、すぐにはデータを送信しません。バーコードを読み取った順にデータを保存し、それぞれから最初のスペースを削除します。スペース以外のキャラクタで始まる Code 39 バーコードを読み取ると、保存したデータを送信します。初期設定 = Off



On



\* Off

## Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical は、イタリアの薬局で使用されている Code 39 の一種です。PARAF とも呼ばれます。

注： Code 32 Pharmaceutical のバーコードを読み取るときは、Trioptic Code（7-33 ページ）をかみならずオフにしてください。



On



\* Off

# Full ASCII

Full ASCII Code 39 デコーディングを有効にすると、バーコードシンボル内のある一定のキャラクタペアが単独のキャラクタとして解釈されます。例えば、「\$V」は ASCII キャラクタの「SYN」として、「/C」は「#」としてデコードされます。初期設定 = Off

NUL %U	DLE \$P	SP SPACE	0 0	@ %V	P P	' %W	p +P
SOH \$A	DC1 \$Q	! /A	1 1	A A	Q Q	a +A	q +Q
STX \$B	DC2 \$R	" /B	2 2	B B	R R	b +B	r +R
ETX \$C	DC3 \$S	# /C	3 3	C C	S S	c +C	s +S
EOT \$D	DC4 \$T	\$ /D	4 4	D D	T T	d +D	t +T
ENQ \$E	NAK \$U	% /E	5 5	E E	U U	e +E	u +U
ACK \$F	SYN \$V	& /F	6 6	F F	V V	f +F	v +V
BEL \$G	ETB \$W	' /G	7 7	G G	W W	g +G	w +W
BS \$H	CAN \$X	( /H	8 8	H H	X X	h +H	x +X
HT \$I	EM \$Y	) /I	9 9	I I	Y Y	i +I	y +Y
LF \$J	SUB \$Z	* /J	: /Z	J J	Z Z	j +J	z +Z
VT \$K	ESC %A	+ /K	; %F	K K	[ %K	k +K	{ %P
FF \$L	FS %B	, /L	< %G	L L	\ %L	l +L	%Q
CR \$M	GS %C	- -	= %H	M M	] %M	m +M	} %R
SO \$N	RS %D	. .	> %I	N N	^ %N	n +N	~ %S
SI \$O	US %E	/ /O	? %J	O O	_ %O	o +O	DEL %T

キャラクタペアの「/M」と「/N」は、それぞれマイナス記号とピリオドになります。「/P」から「/Y」までは、「0」～「9」になります。



Full ASCII On



\* Full ASCII Off

---

## Code 39 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのとは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（A-6 ページの「印刷バーコードのコードページマッピング」を参照）、本書の裏表紙の内側にあるプログラミングチャートから値と **Save** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。



Code 39 Code Page

## インターリーブド 2 of 5

< Default All Interleaved 2 of 5 Settings >



## インターリーブド 2 of 5



\* On



Off

---

## チェックデジット

**No Check Digit** は、イメージャがチェックデジットの有無に関係なくバーコードデータを読み取って送信することを示します。

**Validate, but Don't Transmit** に設定すると、チェックデジットが印刷されたインターリーブド 2 of 5 バーコードだけを読み取りますが、チェックデジットは読み取ったデータといっしょに送信されません。

**Validate and Transmit** に設定すると、チェックデジットが印刷されたインターリーブド 2 of 5 バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのチェックデジットを送信します。初期設定 = No Check Digit



\* No Check Digit



Validate, but Don't Transmit



Validate and Transmit

## インターリーブド 2 of 5 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 2 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Code 93

< Default All Code 93 Settings >





## Code 93



\* On



Off

## Code 93 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。

最長と最短 = 0 ~ 80 最短の初期設定 = 0 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Code 93 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し（A-6 ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」を参照）、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。



Code 93 Code Page

## Straight 2 of 5 Industrial

<Default All Straight 2 of 5 Industrial Settings>



---

## Straight 2 of 5 Industrial



On



\* Off

## Straight 2 of 5 Industrial 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Straight 2 of 5 IATA (Two-Bar Start/Stop)

<Default All Straight 2 of 5 IATA Settings>



## Straight 2 of 5 IATA



On



\* Off

---

## Straight 2 of 5 IATA 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## マトリックス 2 of 5

<Default All Matrix 2 of 5 Settings>



## マトリックス 2 of 5



On



\* Off

## マトリックス 2 of 5 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## Code 11

<Default All Code 11 Settings>



## Code 11



On



\* Off

## 必要チェックデジット数

Code 11 バーコードに必要なチェックデジットを1つまたは2つに設定します。  
初期設定 = Two Check Digits



One Check Digit



\* Two Check Digits

## Code 11 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## Code 128

<Default All Code 128 Settings>



## Code 128



\* On



Off

## ISBT 128 連結機能

1994年、国際輸血学会（ISBT）は、血液の重要情報を一定の方法でやり取りするための標準を定めました。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要です。ISBT 128 のアプリケーション仕様では、次の内容を規定しています。1) 血液製品にラベル表示をするための重要なデータ要素、2) セキュリティが高度で設計のスペース効率が良いために Code 128 を使用するという現在の推奨、3) 隣接シンボルの連結をサポートする Code 128 の変形、4) 血液製品ラベルのバーコードの標準レイアウト。

次のバーコードを用いて連結をオン／オフします。初期設定 = Off



On



\* Off

---

## Code 128 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 0 ~ 80 最短の初期設定 = 0 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Code 128 コードページ

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、次のバーコードを読み取り、バーコードが作成されたときのコードページを選択し (A-6 ページの「[印刷バーコードのコードページマッピング](#)」を参照)、本書の裏表紙の内側にある[プログラミングチャート](#)から値と **Save** のバーコードを読み取ります。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずです。



Code 128 Code Page

## Telepen

<Default All Telepen Settings>



## Telepen



On



\* Off

---

## Telepen 出力

AIM Telepen Output を使用すると、イメージはスタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、標準の Full ASCII (スタート/ストップパターン1)としてデコードします。Original Telepen Output を選択すると、スタート/ストップパターン1のシンボルを読み取り、オプションの Full ASCII (スタート/ストップパターン2)を含む圧縮された数値としてデコードします。  
初期設定 = AIM Telepen Output



\* AIM Telepen Output



Original Telepen Output

## Telepen 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 60 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 60



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## UPC-A

<Default All UPC-A Settings>



---

## UPC-A



\* On



Off

## UPC-A チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



\* On



Off

## UPC-A システム番号

読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を通常送信しますが、送信ないように設定できます。初期設定 = On



\* On



Off



---

## UPC-A 追加デジット

読み取ったすべての UPC-A データの最後に 2 桁または 5 桁のデジットを追加します。  
初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



2 Digit Addenda On



\* 2 Digit Addenda Off



5 Digit Addenda On



\* 5 Digit Addenda Off

## UPC-A 追加デジット要

**Required** バーコードを読み取ると、イメージは追加デジットのある UPC-A バーコードだけを読み取ります。[7-19 ページ](#)に記載された 2 桁または 5 桁の追加デジットをオンにする必要があります。初期設定 = Not Required



Required



\* Not Required

---

## UPC-A 追加デジットセパレーター

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。

初期設定 = On



\* On



Off

## 拡張クーポンコード付き

### UPC-A/EAN-13

次のバーコードを使用し、拡張クーポンコード付き UPC-A および EAN-13 を有効または無効にします。初期設定 = On



\* On



Off

## UPC-E0

<Default All UPC-E Settings>



---

## UPC-E0

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 の設定を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 (7-23 ページ) を使用します。  
初期設定 = On



\* UPC-E0 On



UPC-E0 Off

## UPC-E0 拡張

UPC-E バーコードを 12 桁の UPC-A フォーマットに拡張します。  
初期設定 = Off



On



\* Off

## UPC-E0 追加デジット要

追加デジット要をオンに設定すると、イメージャは追加デジットのある UPC-E バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required



Required



\* Not Required

---

## UPC-E0 追加デジットセパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。  
初期設定 = On



\* On



Off

## UPC-E0 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定します。初期設定 = On



\* On



Off

## UPC-E0 システム番号

読み取ったデータの最初に UPC シンボルのシステム番号を通常送信しますが、送信しないようにも設定できます。初期設定 = On



\* On



Off

---

## UPC-E0 追加デジット

読み取ったすべての UPC-E データの最後に 2 桁または 5 桁のデジットを追加します。  
初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



2 Digit Addenda On



\* 2 Digit Addenda Off



5 Digit Addenda On



\* 5 Digit Addenda Off

## UPC-E1

ほとんどの UPC バーコードは、「0」のシステム番号で始まります。これらのバーコードには、UPC-E0 (7-21 ページ) を使用します。「1」のシステム番号で始まるバーコードを読み取る必要がある場合は、UPC-E1 を使用します。  
初期設定 = Off



UPC-E1 On



\* UPC-E1 Off

## EAN/JAN-13

<Default All EAN/JAN Settings>



---

## EAN/JAN-13



\* On



Off

## EAN/JAN-13 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



\* On



Off

## EAN/JAN-13 追加デジット

読み取ったすべての EAN/JAN-13 データの最後に 2 桁または 5 桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



2 Digit Addenda On



\* 2 Digit Addenda Off



5 Digit Addenda On



\* 5 Digit Addenda Off

---

## EAN/JAN-13 追加デジット要

追加デジット要をオンに設定すると、イメージは追加デジットのある EAN/JAN-13 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required



Required



\* Not Required

## EAN/JAN-13 追加デジットセパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。

初期設定 = On



\* On



Off

注： 拡張クーポンコード付き EAN13 を有効または無効にしたい場合は、[拡張クーポンコード付き UPC-A/EAN-13 \(7-20 ページ\)](#) を参照してください。

## ISBN Translate

この設定では、EAN-13 Bookland シンボルが同等の ISBN 番号フォーマットに変換されます。初期設定 = Off



On



\* Off

---

## EAN/JAN-8

<Default All EAN/JAN-8 Settings>



## EAN/JAN-8



\* On



Off

## EAN/JAN-8 チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。初期設定 = On



\* On



Off



---

## EAN/JAN-8 追加デジット

読み取ったすべての EAN/JAN-8 データの最後に 2 桁または 5 桁のデジットを追加します。

初期設定 = 2 桁と 5 桁の両方のデジット追加について Off



2 Digit Addenda On



\* 2 Digit Addenda Off



5 Digit Addenda On



\* 5 Digit Addenda Off

## EAN/JAN-8 追加デジット要

追加デジット要をオンに設定すると、イメージャは追加デジットのある EAN/JAN-8 バーコードだけを読み取ります。初期設定 = Not Required



Required



\* Not Required

## EAN/JAN-8 追加デジットセパレータ

この機能をオンにすると、バーコードデータと追加デジットデータとの間にスペースができます。オフにすると、スペースはできません。

初期設定 = On



\* On



Off

---

# MSI

<Default All MSI Settings>



# MSI



On



\* Off

## MSI チェックキャラクタ

MSI バーコードにはいろいろな種類のチェックキャラクタが使用されています。タイプ 10 のチェックキャラクタのある MSI バーコードを読み取るようにイメージを設定できます。初期設定 = Validate Type 10, but Don't Transmit

チェックキャラクタを **Validate and Transmit** に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取り、読み取ったデータの最後にこのキャラクタを送信します。

チェックキャラクタを **Validate, but Don't Transmit** に設定すると、指定のタイプのチェックキャラクタが印刷された MSI バーコードだけを読み取りますが、チェックキャラクタは読み取ったデータといっしょに送信しません。



\* Validate Type 10, but Don't  
Transmit



Validate Type 10 and Transmit

---

## MSI 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。  
最長と最短 = 4 ~ 48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Plessey コード

*<Default All Plessey Code Settings>*



## Plessey コード



On



\* Off

## Plessey 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。  
最長と最短 = 4 ~ 48 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## **RSS-14**

*< Default All RSS-14 Settings >*



## **RSS-14**



\* On



Off

## **RSS Limited**

*< Default All RSS Limited Settings >*



## **RSS Limited**



\* On



Off

## **RSS Expanded**

*< Default All RSS Expanded Settings >*



---

## RSS Expanded



\* On



Off

## RSS Expanded 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。

最長と最短 = 4 ~ 74 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 74



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## PosiCode

<Default All PosiCode Settings>



## PosiCode A および B



\* On



Off

PosiCode シンボルを読み取るときは、PosiCode A および B をオンにしておく必要があります。



A and B On  
(No Limited)



A and B and Limited A On  
(Limited B Off)



\* A and B and Limited B On  
(Limited A Off)

## PosiCode 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 2 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## Trioptic Code

注： Code 32 Pharmaceutical のバーコード (7-7 ページ) を読み取るときは、Trioptic Code をかならずオフにしてください。

Trioptic Code は、磁気記録媒体のラベル表示に使用します。



On



\* Off

## Codablock F

<Default All Codablock F Settings>



## Codablock F



On



\* Off

## Codablock F 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 2048 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 2048



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## Code 16K

<Default All Code 16K Settings>



## Code 16K



On



\* Off

## Code 16K 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。

最長と最短 = 0 ~ 160 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 160



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Code 49

<Default All Code 49 Settings>





---

## Code 49



\* On



Off

## Code 49 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 81 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 81



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## PDF417 (3800g では非対応)

< Default All PDF417 Settings >



## PDF417



\* On



Off

---

## PDF417 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 2750 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 2750



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## MicroPDF417 (3800g では非対応)

< Default All MicroPDF417 Settings >



## MicroPDF417



On



\* Off

## MicroPDF417 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 366 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 366



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## EAN・UCC Composite コード (3800g では非対応)

リニアコードが固有の 2D 合成成分と複合し、EAN・UCC Composite シンボルと呼ばれる新たなクラスを形成します。EAN・UCC Composite シンボルにより、すでに使用されているシンボルとの共存が可能になります。



On



\* Off

### UPC/EAN Version

UPC または EAN リニア成分のある EAN・UCC Composite シンボルをデコードするときは、**UPC/EAN Version On** のバーコードを読み取ります。(UCC/EAN-128 または RSS リニア成分のある EAN・UCC Composite シンボルには影響しません。これらのコードのいずれかがリニア成分である場合は、Code 128 か適切な RSS コードを有効にする必要があります。)



UPC/EAN Version On



\* UPC/EAN Version Off

### EAN・UCC Composite コード読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 2435 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 2435



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## EAN・UCC エミュレーション

イメージャは、任意の EAN・UCC データキャリアからの出力を自動的にフォーマットし、同等の UCC/EAN-128、または RSS および Composite シンボルでデコードされる内容をエミュレーションすることができます。EAN・UCC データキャリアには、UPC-A と UPC-E、EAN-13 と EAN-8、ITF-14、UCC/EAN-128、EAN・UCC RSS および Composite があります。Aztec Code、Data Matrix、QR Code など、先頭の FNC1 をエンコードする 2D シンボルのデータも、EAN・UCC エミュレーションを呼び出します。UCC/EAN-128 エミュレーションを選択すると、AIM シンボルの ID は「Jc1」としてレポートされます。RSS エミュレーションでは、「Je0」とレポートされます。EAN・UCC のデータに対応するアプリケーションは、すべて単純化できます。データキャリアのタイプを 1 つ認識するだけですむからです。初期設定 = No Emulation



RSS Emulation



128 Emulation



\* EAN・UCC Emulation Off

## TCIF Linked Code 39 (TLC39)

このバーコードは、Code 39 のリニア成分と MicroPDF417 のスタックコード成分があるため、複合コードになっています。どのバーコードリーダーにも Code 39 リニア成分を読み取る能力があります。MicroPDF417 の成分をデコードできるのは、**TLC39 On** に設定したときだけです。リニア成分は、TLC39 がオフでも Code39 としてデコードできます。



On



\* Off

---

## 郵便コード（3800gでは非対応）

注：郵便シンボルを読み取る時のパフォーマンスを最高にするには、他の郵便シンボルをすべてオフにしてください。以下の郵便コードは、2Dイメージでなければ読み取りできません。

### 4-CB（4-State Customer Bar Code）

注：基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、4-CB（4-State Customer Bar Code）を有効にできます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページの [ソフトウェアの改訂情報の表示](#) を参照してください。



On



\* Off

### ID-tag（UPU 4-State）

注：基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、ID-tag（UPU 4-State）を有効にできます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページの [ソフトウェアの改訂情報の表示](#) を参照してください。



On



\* Off

### Postnet



On



\* Off

---

## Postnet チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。



Transmit Check Digit



\* Don't Transmit Check Digit

## Planet Code



On



\* Off

## Planet Code チェックデジット

読み取ったデータの最後にチェックデジットを送信するかどうかを指定できます。



Transmit Check Digit



\* Don't Transmit Check Digit

---

## **British Post**



On



\* Off

## **Canadian Post**



On



\* Off

## **Kix (Netherlands) Post**

注： Kix コードは、横向きまたは上下逆では読み落とすことがあります。Kix コードがイメージャに対して通常上向きにならない場合は、3-24 ページの動作方向を参照してください。



On



\* Off

## **Australian Post**



On



\* Off

---

## Australian Post Interpretation

このオプションは、Australian 4-State シンボルの顧客フィールドに適用される説明の内容を制御します。Bar Output は、「0123」フォーマットでバーパターンを表示します。Numeric N Table では、顧客フィールドは N Table を使用した数値データと解釈されます。Alphanumeric C Table では、顧客フィールドは、C Table を使用した英数字データと解釈されます。Australian Post の仕様表を参照してください。

注： 基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、Australian Post Interpretation を有効にできます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページのソフトウェアの改訂情報の表示を参照してください。



\* Bar Output



Numeric N Table



Alphanumeric C Table

## Japanese Post



On



\* Off

## China Post (3800g では非対応)

<Default All China Post Settings>





---

## China Post



On



\* Off

## China Post 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 2 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 80



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Korea Post (3800g では非対応)

<Default All Korea Post Settings>



## Korea Post



On



\* Off

---

## Korea Post 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#)（7-2 ページ）を参照してください。  
最長と最短 = 2 ~ 80 最短の初期設定 = 4 最長の初期設定 = 48



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## QR Code（3800g では非対応）

注： QR Code を読み取りできるのは、2D イメージャだけです。

< Default All QR Code Settings >



## QR Code

この選択は、QR Code と Micro QR Code の両方に適用されます。



\* On



Off

注： 初期設定は、基礎番号 31205480 のファームウェアに適用されます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページの[ソフトウェアの改訂情報の表示](#)を参照してください。

---

## QR Code 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 3500 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 3500



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Data Matrix (3800g では非対応)

注： Data Matrix を読み取りできるのは、2D イメージャだけです。

< Default All Data Matrix Settings >



## Data Matrix



\* On



Off

## Data Matrix 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については読み取り桁数について (7-2 ページ) を参照してください。  
最長と最短 = 1 ~ 1500 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 1500



Minimum Message Length



Maximum Message Length

---

## MaxiCode (3800g では非対応)

注： MaxiCode を読み取りできるのは、2D イメージャだけです。

< Default All MaxiCode Settings >



## MaxiCode



\* On



Off

## MaxiCode 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については [読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 150 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 150



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Aztec Code (3800g では非対応)

注： Aztec Code を読み取りできるのは、2D イメージャだけです。

< Default All Aztec Code Settings >



---

## Aztec Code



\* On



Off

## Aztec Code 読み取り桁数

読み取り桁数を変更するときは、次のバーコードを読み取ります。詳細については[読み取り桁数について](#) (7-2 ページ) を参照してください。

最長と最短 = 1 ~ 3750 最短の初期設定 = 1 最長の初期設定 = 3750



Minimum Message Length



Maximum Message Length

## Aztec Runes

Aztec ランを読み取るときは、**Enable Runes** を選択します。Aztec ランとは、ごく短いナンバープレートメッセージをデコードする能力を備えた最小タイプの Aztec Code シンボルです。



Enable Runes



\* Disable Runes



## イメージングコマンド

設定可能なイメージャは、画像の取り込み、処理、および転送を行うデジタルカメラとして使用できます。

モディファイを備えたイメージングコマンドは、次の画像取り込みに対して有効になります。この取り込みが完了すると、イメージャはイメージングの初期設定に戻ります。初期設定を変更する場合は、シリアル数の初期設定コマンド (12-25 ページの **Imaging Default Commands**) を使用する必要があります。

### Image Snap-IMGSNP

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは Image Snap (IMGSNP) コマンドを処理するときに取り込まれます。Image Snap は、画像取り込み用のコマンドプロセッサです。

Image Snap コマンドには、画像の取り込みを設定できる多種多様なモディファイがあります。モディファイは、かならず数字で始まって文字 (大文字小文字に関係無し) で終わります。IMGSNP コマンドには、任意の数のモディファイを追加できます。例えば、次のコマンドを使用して、画像を撮影したりゲインを増やしたりでき、また画像を撮影した後、ブザー音を鳴らすことができます。

**IMGSNP2G1B**

### IMGSNP モディファイ

**P - Imaging Style** : Image Snap のスタイルを設定します。

- 0P **Decoding Style**: デコーディング用の現在のフォーマットに似ていますが、撮影パラメータが合うまで数フレームを撮影できます。最後のフレームを後で利用できます。
- 1P **Photo Style** (初期設定): 簡単なデジタルカメラと同じスタイルです。視覚的に最適化された画像が得られます。
- 2P **Manual Style**: 高度なスタイルなので通常は使用しないでください。イメージャを最も自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

**B - Beeper** : 画像の撮影後、ブザー音を鳴らします。

- 0B ブザーを鳴らさない。(初期設定)
- 1B 画像が取り込まれるとブザー音が鳴り、ユーザに知らせます。

**E - Exposure**: 撮影時間を設定できます。単位は 127 マイクロ秒です。Exposure は Manual Style でのみ使用します。(初期設定 = 7874)

- nE 範囲: 1 ~ 7874

**G - Gain** : このモディファイは信号を増大しピクセル値を増やします。

- 1G ゲインなし (初期設定)
- 2G 中ゲイン
- 4G 高ゲイン
- 8G 最大ゲイン

**D - Delta for Acceptance** : ホワイト値設定用の許容範囲を設定します。  
(「W - Target White Value」を参照。) Photo Style 使用時だけ利用できます。  
(初期設定 = 25)

- nD 範囲 : 0 ~ 255

**L - LED State** : LED をオン/オフするかどうか、いつオン/オフするかを決定します。ID カードなど、カラー文書の写真を撮影する場合、特にイメージャをスタンドに置くときは、周囲照明 (0L) をお勧めします。イメージャを手を持つ場合は、LED 照明 (1L) をお勧めします。LED State は、Decoding Style 使用時には利用できません。

- 0L LED オフ (初期設定)
- 1L LED オン

**T - Wait for Trigger** : 画像撮影の前に、ハードウェアがトリガーを引くのを待ちます。

- 0T すぐに画像を撮影する (初期設定)
- 1T トリガーが引かれるのを待った後、画像を撮影する

**U - Update Tries** : Delta for Acceptance に到達するためにイメージャが取得するフレームの最大数。Photo Style 使用時だけ利用できます。(初期設定 = 6)

- nU 範囲 : 0 ~ 10

**W - Target White Value** : 取り込む画像のグレースケールの中心値をターゲットを設定します。コントラストの高い文書の接写画像を取り込むためには、75 などの低めの値を推奨します。設定を高くすると撮影時間が長くなって画像が明るくなりますが、高すぎると画像が露出オーバーになります。Target White Value は Photo Style 使用時だけ利用できます。(初期設定 = 125)

- nW 範囲 : 0 ~ 255

**% - Target Set Point Percentage** : 取り込んだ画像の明暗値のターゲットポイントを設定します。設定 75% は、ピクセルの 75% がターゲットのホワイト値以下で、ピクセルの 25% がターゲットのホワイト値を超えることを意味します。通常的环境下でこの設定を初期設定から変更することは、推奨していません。グレースケール値を変更するには、Target White Value を使用します。  
(初期設定 = 50)

- n% 範囲 : 1 ~ 99



---

## 画像送信 - IMGSHP

画像は、トリガーを引くたびに、あるいは Image Snap (IMGSNP) コマンドを送信することで取り込まれます。最後の画像がつねにメモリーに保存されます。IMGSHP コマンドでその画像を「送信」できます。

画像送信コマンドには、イメージャが出力する画像の設定を変更するのに使用できる多種多様なモディファイがあります。モディファイは、送信画像には効力がありますが、メモリーの画像には効力がありません。かならず数字で始まって文字（大文字小文字に関係無し）で終わります。IMGSHP コマンドには、任意の数のモディファイを追加できます。例えば、以下のコマンドを使用すると、ガンマ補正と文書画像フィルタリングを行ってビットマップ画像を送ることができます。

**IMGSHP8F75K26U**

### IMGSHP モディファイ

**A - Infinity Filter** : 非常に長距離 (10 フィートまたは 3m 以上) から撮影した写真の質を向上します。

- 0A 無限遠フィルタオフ (初期設定)
- 1A 無限遠フィルタオン

**C - Compensation** : 画像全体の照度の変化を考慮するために画像をフラットにします。

- 0C 圧縮無効 (初期設定)
- 1C 圧縮有効

**D - Pixel Depth** : 送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。(KIM または BMP フォーマットのみ)

- 8D ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像 (初期設定)
- 1D ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

**E - Edge Sharpen** : 送信画像をエッジシャープニングフィルタで処理します。23E を入力するとエッジが最もシャープになりますが、画像内のノイズも増えます。

- 0E 画像をシャープにしない (初期設定)
- 14E 標準画像用にエッジをシャープにする
- ne  $n$  の値でエッジをシャープにする ( $n = 1 \sim 24$ )

---

**F - File Format** : 希望する画像のフォーマットを示します。

- 0F KIM フォーマット
- 1F TIFF バイナリ
- 2F TIFF バイナリグループ 4、圧縮
- 3F TIFF グレースケール
- 4F 非圧縮バイナリ (左上から右下、1 ピクセル/ビット、行の最後を 0 で埋める)
- 5F 非圧縮グレースケール (左上から右下、ビットマップフォーマット)
- 6F JPEG 画像 (初期設定)
- 8F BMP フォーマット (右下から左上、非圧縮)

**H - Histogram Stretch** : 送信画像のコントラストを高くします。画像フォーマットによっては利用できません。

- 0H ストレッチなし (初期設定)
- 1H ヒストグラムストレッチ

**I - Invert Image** : 画像が上下逆にマウントされる固定マウントアプリケーションで、画像を X 軸または Y 軸の周りで回転するのに使用します。

- 11X X 軸で画像を回転 (ピクチャの上下が反転)
- 11Y Y 軸で画像を回転 (ピクチャの左右が反転)

**IF- Noise Reduction**: 白黒ノイズを低減します。

- 0IF 白黒ノイズの低減なし (初期設定)
- 1IF 白黒ノイズの低減

注 : 基礎番号が 31205122-064 以上のファームウェアの場合、白黒ノイズの低減オプションを有効にできません。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページのソフトウェアの改訂情報の表示を参照してください。

**IR - Image Rotate** :

- 0IR 撮影したとおり (正しい向き) の画像 (初期設定)
- 1IR 画像を右に 90 度回転する
- 2IR 画像を 180 度回転する (上下逆)
- 3IR 画像を左に 90 度回転する

**J - JPEG Image Quality:** JPEG 画像フォーマットを選択したときに希望の画質を設定します。数字を大きくすると画質が高くなりますが、ファイルは大きくなります。小さくすると、圧縮量が大きくなって転送速度が速くなり、画質は落ちますが、ファイルは小さくなります。(初期設定 = 50)

- nJ 画質係数  $n$  ( $n: 1 \sim 100$ ) の値で可能な限り画像を圧縮します。
- 0J 最低画質 (最小ファイル)
- 100J 最高画質 (最大ファイル)

**K - Gamma Correction:** ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。設定値 100 では、画像は調整されません。テキスト画像に最も適した設定は 50K です。

- 0K ガンマ補正オフ (初期設定)
- 50K 標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用する
- nK ガンマ補正の係数  $n$  ( $n = 1 \sim 255$ ) を適用する

**L, R, T, B, M - Image Cropping:** 上下左右のピクセル座標を指定して画像のウィンドウを送ります。機器の列には 0 ~ 640 の番号が、行には 0 ~ 480 の番号が付けられています。

- nL 送信画像の左端は、メモリー内の画像の  $n$  列に対応します。範囲：000 ~ 640 (初期設定：0)
- nR 送信画像の右端は、メモリー内の画像の  $n-1$  列に対応します。範囲：000 ~ 640 (初期設定：全列、または VGA イメージャの場合は 639)
- nT 送信画像の上端は、メモリー内の画像の  $n$  行に対応します。範囲：000 ~ 480 (初期設定：0)
- nB 送信画像の下エッジは、メモリー内の画像の  $n-1$  行に対応します。範囲：000 ~ 480 (初期設定：全行、または VGA イメージャの場合は 479)

代わりに、画像の外側マージンから切り取るピクセルの数を指定します。中央のピクセルだけが送信されます。

- nM マージン：画像の左から  $n$  列、右から  $n+1$  列、上から  $n$  行、下から  $n+1$  行を切り取ります。残った中央のピクセルを送ります。範囲：1 ~ 238 (初期設定：0、または全画像)

**P - Protocol:** 画像の送信に使用します。プロトコルは、データの送信に使用するプロトコル (Hmodem：追加のヘッダ情報を持つ Xmodem 1K の変形) と、送信される画像のフォーマットに対応します。

- 0P 無し (生データ)
- 2P 無し (USB の初期設定)
- 3P 圧縮 Hmodem (RS-232 の初期設定)
- 4P Hmodem

---

**S - Pixel Ship** : スペースで規則的に区切られた一定のピクセルだけを送ることで画像を間引くのに使用できます。例えば、**4S** では 4 行おきに 4 ピクセルごとに送信します。送るピクセルを減らすと、画像が小さくなります。

- 1S 各ピクセルを送る (初期設定)
- 2S 縦横両方で、2 ピクセルごとに送る (初期設定)
- 3S 縦横両方で、3 ピクセルごとに送る

**U - Document Image Filter** : 送信されたテキスト画像のエッジをシャープにし、それ以外の部分を滑らかにします。Document Image Filter は、ID カードや処方箋などの文書画像を向上します。このフィルタは、ガンマ補正 (8-3 ページを参照) と共に使用します。このとき、イメージャはスタンドに置いた状態で、次のコマンドを使用して画像を取り込みます。

**IMGSP1POL168W90%32D**

このフィルタは通常、標準の E - Edge Sharpen コマンド (8-3 ページを参照) よりも良好な JPEG 圧縮が可能です。このフィルタは、白黒のみの画像 (ピクセルあたり 1 ビット) を送信するときにも有効です。最適設定は 26U です。

- 0U 文書画像フィルタオフ (初期設定)
- 26U 文書画像フィルタを標準的な文書画像に適用する
- nU グレースケールのしきい値 n を使用して、文書画像フィルタを使用しても画像コントラストが低いときに数値を下げます。1U には、22e と同等の効果があります。範囲 : 0 ~ 255

**V - Blur Image** : 境界線のハードエッジに隣接するピクセルと画像内の陰影領域を平均化して、変わり目を滑らかにします。

- 0V ぼかさない (初期設定)
- 1V ぼかす

**W - Histogram Ship** : ヒストグラムによって、画像の色調範囲 (すなわちキーのタイプ) をすばやく識別することができます。色調範囲のローレベルなシャドウに、ハイレベルな画像はハイライトに、標準的な (アベラジレベルの) 画像は中間調にディテールが集中します。このモディファイは画像用のヒストグラムを送信します。

- 0W ヒストグラムを送信しない (初期設定)
- 1W ヒストグラムを送信する

---

## 画像サイズの互換性

画像送信で、センサー固有の解像度（5X00 エンジンでは 752x480 ピクセル、4X00 エンジンでは 640x480 ピクセル）にて画像を返送したい場合は、Native Resolution コードを読み取ります。4X00 の画像エンジンがあり、画像送信が正確に 640x480 ピクセルを返せるようにアプリケーションを設計している場合、Force VGA Resolution バーコードを読み取ります。お使いのユニットのエンジンを確認するには、11-2 ページの「[エンジンの改訂情報の表示](#)」を参照してください。初期設定 = Force VGA Resolution



\* Force VGA Resolution



Native Resolution

# インテリジェント署名取り込み - IMGBOX

注： IMGBOX コマンドは、PDF417、Code 39、Code 128、Aztec、Codabar、および Interleaved 2 of 5 のシンボルでのみ使用できます。

インテリジェント署名取り込みでは、画像部分だけをホストアプリケーションに送ります。送信時間を短縮してファイルサイズを縮小しながら、署名の取り込みを単純化します。

次に、インテリジェント署名取り込みアプリケーションの例を示します。この例では、オペレータが読み取ったバーコードデータは、その後ホストアプリケーションに送信されます。バーコードデータを受け取ると、ホストアプリケーションは IMGBOX コマンドを送信します。これは、署名取り込みボックスに対応する画像の領域だけを出力するようにイメージャに指示します。またイメージャは、縦横比と歪み、バーコードに対するイメージャのスキューによって生じる問題点について自動的に調整します。

エイマーを署名領域（バーコードではない）に合わせ、トリガーを引きます。トリガーを引いた後に IMGBOX コマンドストリングを送信します。



インテリジェント署名取り込みで重要なのは、アプリケーションで使用される寸法が、バーコードの最小エレメントサイズの倍数としてすべて測定されることです。この方法により、インテリジェント署名取り込みは、イメージャからバーコードの距離には関係なく、正しい画像サイズと解像度をつねに出力します。署名取り込み領域全体がイメージャの視界内にあると想定します。

このアプリケーションのインテリジェント署名取り込みコマンドストリング：

**IMGBOX40S0X70Y190W100H1R0F**

---

## IMGBOX モディファイ

**A - Output Image Width** : このオプションは、特定の幅の画像を出力するのに使用します。このオプションを使用した場合、解像度は 0 に設定されます。

**B - Output Image Height** : このオプションは、特定の高さの画像を出力するのに使用します。このオプションを使用した場合、解像度は 0 に設定されます。

**D - Pixel Depth** : 送信画像のピクセルあたりのビット数を示します。

8D     ピクセルあたり 8 ビット、グレースケール画像

1D     ピクセルあたり 1 ビット、白黒画像

**F-File Format** : 画像を保存するファイルフォーマットの種類を示します。

0F     KIM フォーマット (初期設定)

1F     TIFF バイナリ

2F     TIFF バイナリグループ 4、圧縮

3F     TIFF グレースケール

4F     非圧縮バイナリ

5F     非圧縮グレースケール

6F     JPEG 画像

7F     輪郭画像

8F     BMP フォーマット

**H - Height of Signature Capture Area** : 例では、取り込む領域の高さは 1 インチです。H の値 =  $1/0.01 = 100$  となります。H の値は、わずかに大きくなります。署名取り込みボックスの外の若干の追加画像取り込み領域に対応するためです。

**K - Gamma Correction** : ガンマは、画像が生成する中間トーン値の明るさを決定します。ガンマ補正を使用すると、画像を明るくしたり暗くしたりできます。ガンマ補正を大きくすると、全体的に明るい画像が得られます。設定を低くすると、それだけ画像が暗くなります。設定値 100 では、画像は調整されません。(初期設定 = 50K)

0K     ガンマ補正オフ

50K    標準の文書画像を明るくするためにガンマ補正を適用する

nK     ガンマ補正の係数  $n(n = 1 \sim 255)$  を適用する

**R - Resolution of Signature Capture Area** : 最小単位ごとにイメージャが出力するピクセル数。R の値を大きくすると画質が良くなりますが、ファイルサイズも大きくなります。解像度に整数ではない値を指定するには、1000 以上の数を使用します。例えば、2,500 の解像度を指定するには 2500 を使用します。イメージャは自動的に、最初の桁と次の桁の間に小数点を挿入します。A および B のモディファイを使用するときは、0 に設定します。

---

**S - Bar Code Aspect Ratio** : バーコードの高さとナローエレメントの幅との比です。例では、ナローエレメントの幅は 0.010 インチ、バーコードの高さは 0.400 インチなので、S の値 =  $0.4/0.01 = 40$  となります。

**W - Width of Signature Capture Area** : 例では、取り込まれる領域の幅は 1.90 インチなので、W の値 =  $1.9/0.01 = 190$  となります。W の値は、わずかに大きくなります。署名取り込みボックスの外の若干の追加画像取り込み領域に対応するためです。

**X - Horizontal Bar Code Offset** : 署名取り込み領域の中心の水平オフセットで、バーの最小幅の倍数です。例では、水平オフセットは 0 です。

**Y - Vertical Bar Code Offset** : 署名取り込み領域の中心の縦オフセットで、最小単位の倍数です。マイナス値は、署名取り込みがバーコードの上であることを示し、プラスの場合はバーコードの下であることを示します。例では、水平オフセットが 0.70 インチなので、Y の値 =  $0.7/0.01 = 70$  となります。



## OCR プログラミング (3800g では非対応)

この章では、OCR（光学文字読取装置）用にイメージャを設定します。2D イメージャは、6～60 ポイントの OCR フォントを読み取ります。

注： OCR は、バーコードほど確実ではありません。OCR アプリケーションでの確実性を高めるには、データを照合するための OCR テンプレートを作成し、OCR チェックキャラクタを印刷してください。

2D イメージャは、OCR-A、OCR-B、U.S. Currency Serial Number (Money)、MICR E-13B、および SEMI Font を読み取ります。

OCR 初期設定を選択するか、読み取りたい種類の OCR フォーマットに対して独自のテンプレートを作成できます。お使いのイメージャで OCR-A、OCR-B、U.S. Currency、MICR E 13 B、または SEMI フォントを読み取り可能にするプログラミングコードについては、9-2 ページの「OCR」を参照してください。独自の「テンプレート」、つまりお使いのイメージャで読み取る OCR スtring の長さとお使いのイメージャで読み取る OCR スtring を作成する場合は、9-4 ページの「OCR テンプレート」を参照してください。

注： OCR の読み取りには、テンプレートとチェックキャラクタのオプションの設定が必須です。

### OCR フォント

**Default All OCR Settings** では、イメージャの OCR 機能をすべて無効にします。リニア、スタック、マトリックスおよびコンポジットのバーコードが読み取り可能になりますが、OCR フォントは読み取りできません。さらに、作成した OCR テンプレートはすべて消去されます。以下の **OCR On** のバーコードを後で使用するため、8 桁のデフォルトテンプレートが復活します。

< **Default All OCR Settings** >



---

## OCR

注： OCR シンボルは、横方向または上下逆では読み落とすことがあります。お使いの OCR シンボルがイメージャに対して通常上向きにならない場合は、3-24 ページの[動作方向](#)を参照してください。

一度に読み取りできる OCR シンボルは 1 つだけです。

**OCR-A On** では、OCR-A フォントのキャラクターを読み取ることができます。初期設定では、任意の 8 桁の組み合わせを読み取りできます。OCR テンプレートを作成してある場合は、テンプレートに一致する組み合わせのキャラクターを読み取ることができます。(9-4 ページの[OCR テンプレート](#)を参照。)



OCR-A On

**OCR-B On** では、OCR-B フォントのキャラクターを読み取ることができます。初期設定では、任意の 8 桁の組み合わせを読み取りできます。OCR テンプレートを作成してある場合は、テンプレートに一致する組み合わせのキャラクターを読み取ることができます。(9-4 ページの[OCR テンプレート](#)を参照。)



OCR-B On

## U.S. Currency フォント

**U.S. Currency On** では、米国通貨で使用されているフォントのキャラクターを読み取ることができます。初期設定では、任意の 8 桁の組み合わせを読み取りできます。OCR テンプレートを作成してある場合は、テンプレートに一致する組み合わせのキャラクターを読み取ることができます。(9-4 ページの[OCR テンプレート](#)を参照。)



U.S. Currency On

---





## MICR E13 B フォント

**MICR E13 B On** では、銀行小切手の MICR キャラクタを読み取ることができます。初期設定では、任意の 8 桁の組み合わせを読み取りできます。OCR テンプレートを作成してある場合は、テンプレートに一致する組み合わせのキャラクタを読み取ることができます。(9-4 ページの [OCR テンプレート](#) を参照。)



MICR E 13 B On

注： TOAD のキャラクタ (Transit、On Us、Amount、および Dash) は、次のように出力されます。

-  Transit キャラクタは **T** と出力されます
-  Amount キャラクタは **A** と出力されます
-  On Us キャラクタは **O** と出力されます
-  Dash キャラクタは **D** と出力されます

## SEMI フォント

**SEMI Font On** では、半導体産業で使用される SEMI フォントを読み取ることができます。



SEMI Font On

**All OCR Off** では、イメージャの OCR 機能をすべて無効にします。リニア、スタック、マトリックスおよびコンポジットのバーコードが読み取り可能になりますが、OCR フォントは読み取りできません。ただし、作成した OCR テンプレートは、すべてメモリーに保存されます。



\* All OCR Off

## OCR テンプレート

独自の「テンプレート」、つまりお使いのイメージで読み取る OCR スtringの長さと内容を定義するキャラクタStringを作成できます。アプリケーション用に独自のテンプレートを作成するときは、いくつかの選択肢があります。1 つのフォーマットでテンプレートを作成したり、複数のフォーマットをつなぎ合わせたり、ユーザ定義の変数でテンプレートを作成できます。これらの選択肢については、この後くわしく説明します。

### OCR テンプレートを 1 つ作成する

1 つのテンプレートで、任意の組み合わせのキャラクタを指定した順に読み取るようにイメージを設定できます。テンプレートキャラクタの表の後の例を参照してください。

### テンプレートキャラクタ

a	任意の英数キャラクタ（数字／文字）を示します
c	チェックキャラクタが照合され、ただし送信されないことを示します
d	任意の数字を示します
e	使用可能な任意の OCR キャラクタを示します
g	ユーザ定義の変数「g」からのキャラクタを示します
h	ユーザ定義の変数「h」からのキャラクタを示します
i	ユーザ定義の変数「g」または「h」からのキャラクタを示します
k	チェックキャラクタが照合され、ただし送信されることを示します
l	任意の大文字を示します
t	新規テンプレートの開始を示します
r	複数行を示します

その他のキャラクタは表示どおりです。スペースを使用できます。  
注：MICR E13 B のテンプレートで、TOAD のキャラクタ（大文字の T、O、A、および D）は、Transit、On Us、Amount、および Dash を示します。

注： 初期設定された OCR テンプレートは 8 桁に初期設定されており、チェックキャラクタはありません。

## OCR テンプレートを追加する

1. 読み取りたい OCR フォントをオンにします。(9-2 ページ)
2. テンプレートの作成を開始します。  
**Enter OCR Template** のシンボルを読み取ります。(9-15 ページ)
3. スtring用のキャラクタを読み取ります。  
前記のテンプレートキャラクタチャートを用いて、フォーマットの作成に必要なキャラクタを決定します。**OCR プログラミングチャート** (本書の裏表紙にあるサンプルコードの後にあります)を使ってテンプレート用のキャラクタを読み取ります。

例： 任意の 8 桁の組み合わせを読み取ります。テンプレートは次のようになります。

dddddddd

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Enter OCR Template** シンボル (9-15 ページ) を読み取り、次に本書の裏表紙にある **OCR プログラミングチャート** から「**d**」を 8 回読み取ります。**Save OCR Template** (9-15 ページ) を読み取ります。これで、任意の 8 桁の String を読み取ることができます。

例：


37680981

### キャラクタマッチシーケンス

A-4 ページの **ASCII 換算チャート** (コードページ 1252) で、照合したいキャラクタを示す Hex 値を確認します。**プログラミングチャート** (裏表紙の内側にあります) を使ってこれらのキャラクタを示す数字を読み取ります。

例： 3 桁、3 つの特定キャラクタ (ABC)、および 3 桁を読み取ります。テンプレートは次のようになります。

ddd414243ddd

  
文字 A、B、および  
C の Hex コード

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Enter OCR Template** のシンボルを読み取ります。(9-15 ページ) 本書の裏表紙にある **OCR プログラミングチャート** から「**d**」を 3 回読み取ります。次に裏表紙の内側から「**414243**」(「A」、「B」、および「C」の Hex 値) を読み取り、さらに「**d**」を 3 回読み取ります。**Save OCR Template 9-15 ページ** を読み取ります。これで、任意の 3 桁の String、「ABC」、任意の 3 桁の String を読み取ることができます。

例：

551ABC983

## スペースの追加

テンプレートにスペースを入れることが必要な場合もあります。

- 例：            3桁、スペース、3つの特定キャラクタ(ABC)、スペース、および  
                 3桁を読み取ります。テンプレートは次のようになります。

ddd2041424320ddd  
      ↓          ↓  
      スペースのHexコード

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Enter OCR Template** のシンボルを読み取ります。(9-15 ページ。) 本書の裏表紙の **OCR プログラミングチャート** から「**d**」を3回読み取り、次に裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** から「**2041424320**」(「スペース」、「A」、「B」、「C」、「スペース」のHex値)を読み取ります。さらに「**d**」を3回読み取り、**Save OCR Template** (9-15 ページ)を読み取ります。これで、任意の3桁のストリング、スペース、「ABC」、スペース、任意の3桁のストリングを読み取ることができます。

例：

551 ABC 983

- 注： Quick\*View でプログラム設定する場合は、スペースバーでスペースを示し、20のHex値は使用しません。

4. OCR テンプレートエディタの終了  
**Save OCR Template** を読み取って入力を保存します。**Discard OCR Template** では、OCR テンプレートの変更を一切保存しないで終了します。

---

## 複数のフォーマットの統合 〔Or〕ステートメントの作成

多数の OCR フォーマットに対応するようにイメージャを設定できます。それには、各フォーマットを「t」でつなぎます。これで、テンプレートのフォーマットのどれかに一致するキャラクタを読み取るようにイメージャに指示します。

例： 任意の 8 桁の組み合わせ、または 4 桁の組み合わせ、2 つの大文字、および 2 桁を読み取ります。テンプレートは次のようになります。

dddddddtdddlldd

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Enter OCR Template** のシンボルを読み取ります。(9-15 ページ。) 本書の裏表紙にある **OCR プログラミングチャート** から「d」を 8 回読み取り、次に「or」ステートメントを作成するために「t」を読み取ります。次に、2 番目のテンプレートのキャラクタを読み取ります。「d」を 4 回、「l」を 2 回、さらに「d」を 2 回読み取ります。**Save OCR Template** (9-15 ページ) を読み取ります。これで、どちらの形式のフォーマットも読み取ることができます。

例：

99028650

or

9902XZ50

必要なだけテンプレートを統合できます。

## OCR ユーザ定義の変数

OCR テンプレート用に、独自のユーザ定義の変数を 2 つまで作成できます。これらの変数は、OCR で読み取り可能な任意のキャラクタを表します。ユーザ定義の変数は、文字「g」と「h」の下で保存されます。ユーザ定義の変数を作成する手順はテンプレートを作成する手順と同じですが、**Enter OCR Template** のシンボルを読み取る代わりに **Enter User-Defined Variable** のシンボル (9-15 ページ) を読み取ります。文字「g」と「h」を OCR テンプレートで使って指定の変数を定義できます。

例： 文字「A」、「B」、または「C」を表す変数が必要です。この変数のテンプレートは次のようになります。

414243

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Enter User-Defined Variable g** のシンボル (9-15 ページ) を読み取ります。**プログラミングチャート** から「414243」（「A」、「B」、および「C」の Hex 値）を読み取ります。**Save OCR Template** (9-15 ページ) を読み取ります。これで、「g」を指定したどの場所でも A、B、または C を読み取ることができます。例えば、次のようなテンプレートを作成できます。

ddddddggg

---

このテンプレートで、6桁で始まり、末尾に A、B、または C があるデータを読み取ることができます。以下のように読み取ることができます。

654321ABC

*or*  
654321BAC

*or*  
654321CCC

## 複数行 OCR の読み取り

イメージには、複数行の OCR テキストをデコードする機能があります。

注： 1 行につき 16 文字を超える読み取りはお勧めしません。

次の例を参考にしてください。この例は、Quick\*View で入力したのと同じシリアルコマンドを示しています。

例： 次のような複数行の OCR-A データを読み取ります。

12345678

ABCDEFGH

最初に、OCR-A フォントを有効にします。OCR データの 1 行目を読み取るため、次のようなテンプレートを設定します。

OCRTMP"ddddddd".

このテンプレートは、初期設定の OCR テンプレートです。2 行目のデータを読み取る場合は、次のようなテンプレートを使用します。

OCRTMP"IIIIII".

両方の行の OCR を一度に読み取るには、変数 *r* を使って新しい行の先頭を示します。各行のテンプレートの変数は、すべて前の説明と同じ働きをします。例えば、上記の例では、以下のテンプレートを使って両方の行を読み取ります。

OCRTMP"dddddddrrIIIIII".

次の 3 行を読み取るには、「OCRTMP"dddddddrrIIIIIIrIIIIddd"」というテンプレートコマンドを使用します。

12345678

ABCDEFGH

ABCD1234.



---

## OCR チェックキャラクタ

OCR アプリケーションの確実性を高めるため、チェックキャラクタを印刷して使用することができます。イメージは、ほとんどあらゆる種類のチェックキャラクタ用に設定できます。一般的なチェックキャラクタ使用のために多数のプリセットが用意されています。(モジュール 10、モジュール 36 など。)

**OCR Modulo 10** または **OCR Modulo 36 Check Character** のバーコードを読み取り、読み取る OCR スtring で使用するチェックキャラクタの種類を指定します。その後イメージは、有効なチェックキャラクタのある OCR キャラクタ String だけを読み取ります。イメージは、チェックキャラクタデータを付けずに OCR データを送信します。テンプレート上のチェックキャラクタの位置を「c」で指定する必要があります。

**例：** 任意の 7 桁の組み合わせを読み取る場合で、モジュール 10 のチェックキャラクタが 8 番目の位置にある場合、テンプレートは次のようになります。

ddddddc

このテンプレートを作成するには、OCR-A フォントを有効にします。**Modulo 10 Check Character** のシンボルを読み取ります。次に、**Enter OCR Template** のシンボルを読み取り、次に **OCR プログラミングチャート** から「d」を 7 回、「c」を 1 回読み取ります。**Save OCR Template (9-15 ページ)** を読み取ります。このテンプレートによって、その後正しいチェックキャラクタのある任意の 6 桁の組み合わせを読み取ることができます。(チェックキャラクタが無効の場合、データは破棄されます。) 例えば、次の String を読み取ります。

01234569

出力は次のようになります：0123456

## OCR モジュール 10 チェックキャラクタ

0 ~ 9 の数字の簡単なモジュール 10 チェックサム of OCR テンプレートを設定するには、このシンボルを読み取ります。



OCR Modulo 10 Check Character

---

## OCR モジュラス 36 チェックキャラクタ

0～9の数字とA～Zの文字の簡単なモジュラス 36 チェックサム of OCR テンプレートを設定するには、このシンボルを読み取ります。



OCR Modulo 36 Check Character

## OCR ユーザ定義のチェックキャラクタ

お使いのアプリケーションに合わせてチェックキャラクタの計算をカスタマイズできます。チェックキャラクタのアルファベットの各キャラクタを適正な順序でプログラム設定できます。入力するキャラクタの数によって、計算のモジュラス値が決定します。初期設定では、チェックキャラクタの計算は重み付けされませんが、イメージは、ウェイトを付加された2つのモジュラス 10 照合方式もサポートしています。

例：モジュラス 11 チェックキャラクタをプログラム設定するには、次の 11 のキャラクタを順番に入力します。

**0123456789X**

次の OCR テンプレートも入力します。

**dddddddc**

OCR-A フォントを有効にしてから、次のストリングを読み取ります。

**6512351X**

イメージは、次のチェックキャラクタの計算を実行します。

$$(6 + 5 + 1 + 2 + 3 + 5 + 1 + X) \text{ modulo } 11 = 0$$

結果が 0 になるので、メッセージは有効であると見なされ、リーダーは次のメッセージを出力します：6512351

---

## ユーザ定義のチェックキャラクタのプログラム設定

1. 次の **Enter OCR Check Character** のバーコードを読み取ります。



Enter OCR Check Character

2. キャラクタを順番に入力します。キャラクタごとに、A-4 ページの **ASCII 換算チャート (コードページ 1252)** から該当する Hex 値を検索します。本書の裏表紙の内側にある **プログラミングチャート** を使って各 Hex 値の 2 つのシンボルを読み取ります。
3. 裏表紙の内側にある **Save** のバーコードを読み取ります。

例： 9-9 ページの例 #8 からモジュラス 11 チェックキャラクタをプログラム設定するには、OCR-A フォントを有効にします。9-11 ページの **Enter OCR Check Character** のバーコードを読み取り、次に以下の Hex 値を順番に読み取ります。

**3031323334353637383958**

希望の Hex 値をすべて入力した後、本書の裏表紙の内側にある **Save** のバーコードを読み取ります。

## ウェイト付加のオプション

初期設定では、チェックキャラクタの計算はウェイトを付加されません。ウェイトを付加された 2 つのモジュラス 10 方式のうちの 1 つを使用できます。重み付けは、2 つの隣接したキャラクタが入れ換わっていないかどうかを検知するのによく使用されます。キャラクタの入れ換わりは、オペレータがデータを入力するときによくあるエラーです。

### 3-1-3-1 とウエイトを付加されたモジュラス 10 チェックキャラクタ

イメージャは、チェックキャラクタから始めて、メッセージに対して逆方向に、1、3、1、3 と順に乗数を適用します。これは、U.P.C. およびインターリーブド 2 of 5 など、多くの EAN・UCC シンボルで使用される照合方式です。（チェックデジットを求めるとき。）この重み付け方式を適用するには、OCR チェックキャラクタを「0123456789x3x1」に設定するか、または次のシンボルを読み取ります。



3-1-3-1 Weighted Modulo 10  
Check Character

例：3-1-3-1 Weighted Modulo 10 Check Character のシンボルを読み取ります。次の OCR テンプレートも入力します。

dddddddc

次に、以下のストリングを読み取ります。

01234565

リーダーはチェックキャラクタの計算を次のように実行します。

$$(0 \times 3 + 1 \times 1 + 2 \times 3 + 3 \times 1 + 4 \times 3 + 5 \times 1 + 6 \times 3 + 5 \times 1) \text{ modulo } 10 = 0$$

結果が 0 になるので、メッセージは有効であると見なされ、リーダーは次のメッセージを出力します：0123456

### 2-1-2-1 とウエイトを付加されたモジュラス 10 チェックキャラクタ

イメージャは、チェックキャラクタから始めて、メッセージに対して逆方向に、1、2、1、2 と順に乗数を適用します。この乗算の結果が 9 を超えると、両方の数字を実行中の合計に加算します。これは、LUHN 式と呼ばれます。LUHN 式の一般的な用途は、クレジットカード番号の確認です。これは、MSI Code および Code 32 Pharmaceutical (PARAF) で使用されるモジュラス 10 の照合方式です。この重み付け方式を適用するには、OCR チェックキャラクタを「0123456789x2x1」に設定するか、または次のシンボルを読み取ります。



2-1-2-1 Weighted Modulo 10  
Check Character

---

例： 2-1-2-1 Weighted Modulo 10 Check Character のシンボルを読み取ります。次の OCR テンプレートも入力します。

dddddc

次に、以下のストリングを読み取ります。

0128454

リーダーはチェックキャラクタの計算を次のように実行します。

$$\begin{aligned} & (0 \times 1 + 1 \times 2 + 2 \times 1 + 8 \times 2 + 4 \times 1 + 5 \times 2 + 4 \times 1) \text{ modulo } 10 \\ & = (0 + 2 + 2 + (1 + 6) + 4 + (1 + 0) + 4) \text{ modulo } 10 \\ & = 0 \end{aligned}$$

結果が 0 になるので、メッセージは有効であると見なされ、リーダーは次のメッセージを出力します：012845

## OCR ISBN の用例

OCR の用途の 1 つとして、通常、OCR-A または OCR-B のフォントを使用してエンコードされている ISBN キャラクタの読み取りがあります。これは、ISBN 番号が EAN-13 のバーコードでエンコードされていないときに特に便利です。次の例は、日本の書籍の ISBN ストリングを読み取るようイメージャを設定する方法を示しています。以下の手順に従った後、イメージャが対象とするテキストの行に応じて、次の ISBN 番号またはその下の追加データを読み取ることができるようになります。

I ISBN4-594-03019-X

C0097 ¥838E

1. 9-2 ページの OCR-B On のバーコードを読み取ります。
2. ユーザ定義の変数「g」をプログラム設定します。次のように 10 桁と追加のダッシュで構成されます。

0123456789-

3. 日本では通常、2 つのフィールドが ISBN 番号に続きます。3 桁の価格フィールドと 4 桁の価格フィールドです。通常、最初のフィールドは「C」（大文字の C）で始まり、4 桁が続きます。通常、2 番目のフィールドは「P」または円記号で始まり、3 桁または 4 桁が続き、その後「E」が続きます。ユーザ定義の変数「h」をプログラム設定します。次のように、「P」と円記号（バックスラッシュで表わす）で構成されます。

---

P\

4. 次のシンボルを読み取り、ISBN 番号、3 桁の価格フィールド、および 4 桁の価格フィールドに対応する 3 つのテンプレートを設定します。



5. 最後に、特別な位置にウエイトを付加されたモジュラス 11 のチェックサムである ISBN チェックデジットを設定します。イメージは、以下のテンプレート行について ISBN チェックサムを自動的に呼び出します。
  - 1.) 14 以上のキャラクタ長
  - 2.) 最初の 4 つのキャラクタが「ISBN」の文字
  - 3.) 最後のキャラクタがチェックキャラクタ
  - 4.) モジュラス 11 チェックキャラクタ「0123456789X」がプログラム設定されている

これらのコマンドはすべて 1 つのシリアルプログラミングコマンドに結合されていることにご注意ください。

```
OCRENA2,TMP"ISBNgggggggggggctCdddd hdddEtCddd  
hdddE",GPG"0123456789-",GPH"P",CHK"0123456789X".
```

これらのコマンドは、次の Aztec Code のシンボルにエンコードできます。



---

## OCR テンプレートコード

注： 3 行を超える OCR の読み取りはお勧めしません。アプリケーションで 4 行以上の OCR の読み取りが必要な場合は、当社にお問い合わせください。



Enter OCR Template †



Enter User-Defined  
Variable "g"†



Enter User-Defined  
Variable "h"†

† このプログラミングシンボルを読み取った後に、1 つまたは複数の 2 桁の数字と **Save** が必要です。本書の裏表紙の内側にある [プログラミングチャート](#) を参照してください。

## 設定の終了



Save OCR Template



Discard OCR Template





## キーボードファンクションの関係

以下のキーボードファンクションコード、Hex/ASCII 値、および Full ASCII 「CTRL」+ の関係は、イメージャとともに使用可能なすべてのターミナルに適用します。(参照：2-8 ページ、enable Control + ASCII mode)

ファンクションコード	HEX/ASCII 値	Full ASCII 「CTRL」+
NUL	00	2
SOH	01	A
STX	02	B
ETX	03	C
EOT	04	D
ENQ	05	E
ACK	06	F
BEL	07	G
BS	08	H
HT	09	I
LF	0A	J
VT	0B	K
FF	0C	L
CR	0D	M
SO	0E	N
SI	0F	O
DLE	10	P
DC1	11	Q
DC2	12	R
DC3	13	S
DC4	14	T
NAK	15	U
SYN	16	V
ETB	17	W
CAN	18	X
EM	19	Y
SUB	1A	Z
ESC	1B	[
FS	1C	\
GS	1D	]
RS	1E	6
US	1F	-

Full ASCII 「CTRL」+ のカラムの最後の 5 つのキャラクタ ([\]6-) は、米国のみ対応します。次の表は、これらの 5 つのキャラクタの国別の同等キャラクタを示します。

国	コード				
米国	[	\	]	6	-
ベルギー	[	<	]	6	-
スカンジナビア	8	<	9	6	-
フランス	^	8	\$	6	=
ドイツ		Ã	+	6	-
イタリア		\	+	6	-
スイス		<	..	6	-
英国	[	ø	]	6	-
デンマーク	8	\	9	6	-
ノルウェー	8	\	9	6	-
スペイン	[	\	]	6	-

## サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	IBM AT/XT・ PS/2 と互換機、 WYSE PC/AT のサポートキー	IBM XT と 互換機 のサポートキー	IBM、DDC、 Memorex Telex、 Harris* のサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter (KP)	CR/Enter	Enter
STX	02	Cap Lock	Caps Lock	F11
ETX	03	ALT make	Reserved	F12
EOT	04	ALT break	Reserved	F13
ENQ	05	CTRL make	Reserved	F14
ACK	06	CTRL break	Reserved	F15
BEL	07	CR/Enter	CR/Enter	New Line
BS	08	Reserved	Reserved	F16
HT	09	Tab	Tab	F17
LF	0A	Reserved	Reserved	F18
VT	0B	Tab	Tab	Tab/Field Forward
FF	0C	Delete	Delete	Delete
CR	0D	CR/Enter	CR/Enter	Field Exit/New Line
SO	0E	Insert	Insert	Insert
SI	0F	Escape	Escape	F19
DLE	10	F11	Reserved	Error Reset
DC1	11	Home	Home	Home
DC2	12	Print	Print	F20
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Backfield/Back Tab
NAK	15	F12	Reserved	F21
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

\* IBM 3191/92、3471/72、3196/97、3476/77、Telex (全モデル)

## サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	IBM、Memorex Telex (102)* のサポートキー	Memorex Telex (88)** のサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved
SOH	01	Enter	Enter
STX	02	F11	PF10
ETX	03	F12	PF11
EOT	04	F13	PF12
ENQ	05	F14	Reserved
ACK	06	F15	Reserved
BEL	07	New Line	New Line
BS	08	F16	Field Forward
HT	09	F17	Field Forward
LF	0A	F18	Reserved
VT	0B	Tab/Field Forward	Field Forward
FF	0C	Delete	Delete
CR	0D	Field Exit	New Line
SO	0E	Insert	Insert
SI	0F	Clear	Erase
DLE	10	Error Reset	Error Reset
DC1	11	Home	Reserved
DC2	12	Print	Print
DC3	13	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Field
NAK	15	F19	Reserved
SYN	16	F1	PF1
ETB	17	F2	PF2
CAN	18	F3	PF3
EM	19	F4	PF4
SUB	1A	F5	PF5
ESC	1B	F6	PF6
FS	1C	F7	PF7
GS	1D	F8	PF8
RS	1E	F9	PF9
US	1F	F10	Home

\* IBM 3196/97、3476/77、3191/92、3471/72、102 キーボード付き Memorex Telex(全モデル)

\*\* 88 キーボード付き Memorex Telex

## サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	Esprit 200, 400 ANSI のサポートキー	Esprit 200, 400 ASCII のサポートキー	Esprit 200, 400 PC のサポートキー
NUL	00	Reserved	Reserved	Reserved
SOH	01	New Line	New Line	New Line
STX	02	N/A	N/A	N/A
ETX	03	N/A	N/A	N/A
EOT	04	N/A	N/A	N/A
ENQ	05	N/A	N/A	N/A
ACK	06	N/A	N/A	N/A
BEL	07	New Line	New Line	New Line
BS	08	N/A	N/A	N/A
HT	09	Tab	Tab	Tab
LF	0A	N/A	N/A	N/A
VT	0B	Tab	Tab	Tab
FF	0C	N/A	N/A	Delete
CR	0D	New Line	New Line	New Line
SO	0E	N/A	N/A	Insert
SI	0F	Escape	Escape	Escape
DLE	10	F11	F11	F11
DC1	11	Insert	Insert	Home
DC2	12	F13	F13	Print
DC3	13	Back Space	Back Space	Back Space
DC4	14	Back Tab	Back Tab	Back Tab
NAK	15	F12	F12	F12
SYN	16	F1	F1	F1
ETB	17	F2	F2	F2
CAN	18	F3	F3	F3
EM	19	F4	F4	F4
SUB	1A	F5	F5	F5
ESC	1B	F6	F6	F6
FS	1C	F7	F7	F7
GS	1D	F8	F8	F8
RS	1E	F9	F9	F9
US	1F	F10	F10	F10

## サポートされているインタフェースキー

ASCII	HEX	Apple Mac/iMac のサポートキー
NUL	00	Reserved
SOH	01	Enter/Numpad Enter
STX	02	CAPS
ETX	03	ALT make
EOT	04	ALT break
ENQ	05	CNTRL make
ACK	06	CNTRL break
BEL	07	RETURN
BS	08	APPLE make
HT	09	TAB
LF	0A	APPLE break
VT	0B	TAB
FF	0C	Del
CR	0D	RETURN
SO	0E	Ins Help
SI	0F	ESC
DLE	10	F11
DC1	11	Home
DC2	12	Prnt Scrn
DC3	13	BACKSPACE
DC4	14	LSHIFT TAB
NAK	15	F12
SYN	16	F1
ETB	17	F2
CAN	18	F3
EM	19	F4
SUB	1A	F5
ESC	1B	F6
FS	1C	F7
GS	1D	F8
RS	1E	F9
US	1F	F10
DEL	7F	BACKSPACE

## すべてのシンボルにテストコード ID プレフィックスを追加

これを選択すると、デコードされたシンボルの前にコード ID を送信することができます。(各シンボルを識別する単独のシンボルキャラクタコードについては、A-1 ページの付録 A に記載されたシンボルチャートを参照してください。)ここでは、まず現在のプレフィックスをすべて消去し、その後すべてのシンボルについてコード ID プレフィックスを設定します。これは、電源を入れなおすと削除される一時設定です。



Add Code I.D. Prefix  
All Symbologies (Temporary)

## デコーダの改訂情報の表示

次のバーコードを読み取り、デコーダの改訂情報を出力します。

注： 基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、Show Decoder Revision オプションを使用できます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、11-2 ページのエンジンの改訂情報の表示を参照してください。



Show Decoder Revision

---

## エンジンの改訂情報の表示

注： 基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、Show Engine Revision オプションを使用できます。

次のバーコードを読み取り、エンジンの改訂情報を出力します。イメージャに 4X00 エンジンが搭載されている場合、ストリングにデータのない [ACK] が返されます。イメージャに 5X00 エンジンが搭載されている場合、エンジンタイプ、の改訂情報番号、およびステータスキャラクタの [ACK] が返されます。例えば、5100 が搭載されているイメージャでは、次のようにバージョン 26 が返されます。

```
ENGREVType:1 Revision:26 [ACK]
```



Show Engine Revision

## ドライバの改訂情報の読み取りの表示

次のバーコードを読み取り、ドライバの改訂情報を出力します。読み取りドライバは画像の取り込みを制御します。

基礎番号が 31205480 のファームウェアの場合、Show Scan Driver Revision オプションを使用できます。お使いのユニットのファームウェアの改訂情報を確認するには、次のソフトウェアの改訂情報の表示を参照してください。



Show Scan Driver Revision

## ソフトウェアの改訂情報の表示

次のバーコードを読み取り、現在のソフトウェアの改訂情報、シリアルナンバー、およびその他の製品情報を出力します。



Show Software Revision



---

## データフォーマットの表示

次のバーコードを読み取り、現在のデータフォーマット設定を表示します。



Data Format Settings

## 標準の製品初期設定のリセット

お使いのイメージャのプログラミングオプションがわからない場合や、変更したオプションを標準の製品初期設定に戻したい場合は、次の **Standard Product Default Settings** のバーコードを読み取ります。



Standard Product Default Settings

12-5 ページからのメニューコマンドは、各コマンド（プログラミングページでアスタリスク（\*）で表示）の標準の製品初期設定を示しています。

## テストメニュー

テストメニューの **On** バーコードを読み取り、次に本書のプログラミングコードを読み取ると、イメージャはプログラミングコードの内容を表示します。プログラミングファンクションはまだ存在しますが、さらにそのプログラミングコードの内容もターミナルに出力されます。

注：この機能は、通常のイメージャ操作では使用しないでください。



On



\* Off

---

## 2D PQA（印刷品質アセスメント）

2次元の印刷品質アセスメント（2D PQA）は、Honeywell Imaging and Mobilityのイメージリーダーの機能の1つです。この機能は、2Dバーコードシンボルの読み取りに成功したデータに、シンボルを識別するテキスト行と、さらにこのシンボルから取得した等級別の測定パラメータを報告するテキスト行を追加して出力します。

### 2D PQA の報告

Honeywell Imaging and Mobilityの2D PQAの報告は、Full ReportまたはScreeningの異なる2つのモードで有効にすることができます。（表示される結果を見るには、編集プログラムであるMicrosoft® Notepad、またはQuick\*View（11-6ページ）をお勧めします。）

Quick\*Viewを使用している場合、以下のメニューコマンドを入力することで、Full Reportを有効にすることができます。Full Reportとは、シンボルの識別情報、測定値、および対応する等級のすべてを記載したリストです。

2D\_PQA1

あるいは、次のバーコードを読み取ることで Full Report を有効にすることができます。



Full Report

注： PQA レポートは、バーコードデータの後の2番目のデータ/ブザーシーケンスとして送信されます。このレポートには、専用の (0X3E) の Honeywell Imaging and Mobility コード ID> を備えているため、簡単に識別することができます。

Full Report モードを終了するには、メニューコマンド 2D\_PQA0 を入力するか、Quick\*Viewを使用している場合は、次のバーコードを読み取ります。



Exit

注： 読み取り結果の解釈に関する詳細については、『Honeywell Imaging and Mobility' Quick Check 2D Print Assessment User's Guide』を参照してください。

---

## Visual Xpress について

Visual Xpress は、PC の COM ポートにイメージャを接続することにより、多様な PC ベースのプログラミング機能を提供することができます。Visual Xpress により、イメージャのアップグレードをする為にファームウェアをダウンロードしたり、設定済みのパラメータを変更したり、プログラミングバーコードを作成して印刷することができます。Visual Xpress を使用すると、イメージャのプログラミングパラメータを保存したり開いたりすることもできます。この保存ファイルは電子メールで送信でき、必要であれば、カスタマイズされたプログラミングパラメータをすべて含む単一のバーコードを作成し、どこへでもメールやファックスで送信することもできます。他の場所にいるユーザは、そのバーコードを読み取り、カスタマイズされたプログラミングに組み込むことができます。

イメージャとの通信のため、Visual Xpress ではコンピュータに少なくとも 1 つの空きシリアル通信ポートか、または物理的な USB ポートを使用するシリアルポートのエミュレーションが必要です。シリアルポートと RS-232 ケーブルを使用している場合は、外部電源が必要です。USB シリアルポートのエミュレーションを使用しているときには、USB ケーブルのみ必要です。

## Visual Xpress の操作

Visual Xpress のソフトウェアでは、以下の操作を実行します。

### データの読み取り

データの読み取りにより、バーコードを読み取って、ウィンドウにバーコードデータを表示することができます。また、シリアルコマンドをイメージャに送信したり、イメージャからの応答を受信したりでき、Scan Data ウィンドウでこれらを確認することができます。Scan Data ウィンドウに表示されるデータは、ファイルに保存したり、印刷することもできます。

### 環境設定

環境設定は、イメージャのプログラミングと環境設定データを表示します。イメージャのプログラミングと環境設定データは、異なるカテゴリに分類されます。各カテゴリは、アプリケーションエクスプローラの「Configure」ツリーノードの下にツリーアイテムとして表示されます。これらのツリーノードの 1 つをクリックすると、その特定のカテゴリに所属するパラメータのフォームが右側に表示されます。「Configure」ツリーオプションには、イメージャ用に指定したプログラミングと環境設定パラメータのすべてが含まれています。これらのパラメータは、必要に応じて設定または変更できます。後で、変更した設定値をイメージャに書き込んだり、dcf ファイルに保存したりできます。

---

## イメージング

イメージングは、2D イメージャが実行できる画像関連のすべての機能を提供します。現在の設定を利用して画像を取り込むことができます。画像はイメージウィンドウに表示されます。イメージャから取り込んだ画像は、いろいろな画像フォーマットでファイルに保存できます。画像設定を変更して INI ファイルに保存することができます。また、後でこの設定を読み込んで新しい画像を取り込むことができます。イメージングにより、イメージャが取り込んだ画像を連続的にプレビューできます。

## Web からの Visual Xpress のインストール

注： Visual Xpress には .NET ソフトウェアが必要です。PC に .NET がインストールされていない場合、Visual Xpress のインストール時に .NET のインストールを促すメッセージが表示されます。

1. [www.handheld.com](http://www.handheld.com) の Honeywell Imaging and Mobility のウェブサイトアクセスします。
2. **Quick Search** テキストボックスをクリックし、**Visual Xpress** と入力します。
3. **Search Now** をクリックします。
4. **Visual Xpress** の入力項目をクリックします。
5. 要求されたら **Save File** を選択し、ファイルを **c:\windows\temp** ディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを閉じます。
7. エクスプローラを使用し、**c:\windows\temp** のファイルに進み、保存したファイルを解凍します。
8. **Setup.exe** をダブルクリックします。画面の指示に従って Visual Xpress のプログラムをインストールします。
9. インストール時に初期設定を選択した場合、**Start Menu** から **Programs**、**Honeywell Imaging and Mobility**、**Visual Xpress** とクリックします。

## Quick\*View

Quick\*View は、読み取ったシンボルを表示し、イメージャから画像（ID 写真など）を取り込む Microsoft Windows® 対応のプログラムです。バーコード情報や画像は、Quick\*View のウィンドウに表示されます。

---

## Quick\*View を Web からインストールする

1. [www.handheld.com](http://www.handheld.com) の Honeywell Imaging and Mobility ウェブサイトにアクセスします。
2. **Search** をクリックし、**Quick\*View** と入力します。
3. **Search** をクリックします。
4. **Software** の入力項目をクリックします。**Quick\*View Software Utility** を選択します。
5. 要求されたら **Save** を選択し、ファイルを **c:\windows\temp** ディレクトリに保存します。
6. ファイルのダウンロードが終了したらウェブサイトを閉じます。
7. エクスプローラを使用し、**c:\windows\temp** のファイルに進みます。
8. **Quickview.exe** ファイルをダブルクリックします。画面の指示に従って Quick\*View のプログラムをインストールします。
9. Start メニューから Quick\*View を起動するには、**Programs**、**Quick\*View**、**Quick\*View** とクリックします。

注： デスクトップ上に Quick\*View のショートカットを作成する事ができません。

## Quick\*View の一時的環境設定

通信設定をすばやくダウンロードするため、Quick\*View のバーコードを読み取ります。イメージャは、Quick\*View の設定用に一時的に環境設定されます。

注： キーボードウェッジモードが可能なユニットがある場合は、次のバーコードを読み取ります。ユニットは RS-232 モードで通信し、Quick\*View で動作可能になります。イメージャをキーボードウェッジ通信に戻すときは、電源を入れなおします。



Quick\*View



シリアルプログラミングコマンドをプログラミングバーコードの代わりに使用できます。シリアルコマンドとプログラミングバーコードは、どちらもイメージャをプログラム設定します。各シリアルプログラミングコマンドの解説と例については、本書の対応するプログラミングバーコードを参照してください。

機器は、RS-232 インタフェース用に設定する必要があります。(1-12 ページを参照。)以下のコマンドは、ターミナルエミュレーションソフトウェアを用いて PC COM 経由で送信できます。

## 規約

メニューと質問コマンドの記述には、以下の規約が用いられています。

*parameter* コマンドの一部として送信する実際の値

[*option*] コマンドのオプション部分

{*Data*} コマンド内の選択肢

**bold** 画面に表示されるメニュー名、メニューコマンド、ボタン、ダイアログボックス、およびウィンドウ

## メニューコマンドシンタックス

メニューコマンドのシンタックスは以下のとおりです。(スペースを用いているのは、単にわかりやすくするためです。)

*Prefix Tag SubTag {Data} [, SubTag {Data}] [, Tag SubTag {Data}] [...]* *Storage*

**Prefix** 3つのASCIIキャラクタ：**SYN M CR** (ASCII 22、77、13)

**Tag** メニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い3キャラクタのフィールド。例えば、RS-232の環境設定は、すべて**232**というTagで識別されます。

**SubTag** タググループの中のメニューコマンドグループを識別する大文字小文字の区別が無い3キャラクタのフィールド。例えば、RS-232のボーレートのSubTagは**BAD**です。

**Data** メニュー設定の確認値。TagとSubTagで識別されます。

**Storage** コマンドを適用するストレージテーブルを指定する1つのキャラクタ。感嘆符(!)は、機器の一時的なメモリー上でのコマンド操作を実行します。ピリオド(.)は、機器の不揮発性メモリー上でコマンド操作を実行します。不揮発性メモリー上には、始動時に保存したい半恒久的な変更だけに使用します。

---

## 質問コマンド

設定について機器に質問するため、いくつかの特殊キャラクタを使用できます。

- ^ 設定の初期値
- ? 機器の現在の設定値
- \* 設定で可能な範囲（機器のレスポンスでは、ダッシュ (-) で値の連続範囲を示し、パイプ (|) で不連続値の一覧で項目を区切ります)

### Tag フィールドの使い方

Tag フィールドに代わって質問を使用すると、コマンドの Storage フィールドで示された特定のストレージテーブルで使用可能なコマンドのセット全体に質問します。この場合、機器には無視されるので SubTag および Data フィールドは使用しないでください。

### SubTag フィールドの使い方

SubTag フィールドに代わって質問を使用すると、Tag フィールドに一致する使用可能なコマンドのサブセットだけに質問します。この場合、機器には無視されるので Data フィールドは使用しないでください。

### Data フィールドの使い方

Data フィールドに代わって質問を使用すると、Tag および SubTag フィールドで識別される特定コマンドだけに質問します。

## 複数コマンドの連結機能

複数のコマンドを 1 つの Prefix/Storage シーケンス内で使用できます。シーケンスのコマンドごとに繰り返す必要があるのは、Tag、SubTag、および Data フィールドだけです。同じ Tag でコマンドを追加する場合は、新しいコマンドシーケンスをコンマ (,) で区切り、追加コマンドの SubTag および Data フィールドだけを記述します。追加コマンドで異なる Tag フィールドが必要な場合は、そのコマンドをセミコロン (;) で前のコマンドと区切ります。

## レスポンス

機器は、次の 3 つのレスポンスの 1 つでシリアルコマンドに応答します。

**ACK** 正しいコマンドを実行した

**ENQ** Tag または SubTag コマンドが無効

**NAK** コマンドは正しいが、Data フィールドの入力がこの組み合わせの Tag および SubTag の許容範囲外。例えば、フィールドが 2 キャラクタしか受け付けられないときに最小読み取り桁数の入力が 100 になっている。



---

応答するとき、機器はコマンドの各句読点（ピリオド、感嘆符、コンマ、またはセミコロン）の直前にステータスキャラクタを挿入したコマンドシーケンスを返します。

## 質問コマンドの例

以下の例では、角カッコ [ ] は非表示レスポンスを示します。

例 1 : Codabar Coding Enable で可能な値の範囲は？

入力：       **cbrena\***.

レスポンス： **CBRENA0-1[ACK]**

Codabar Coding Enable (CBRENA) の値の範囲が 0 ~ 1 (オフとオン) であることを示します。

例 2 : Codabar Coding Enable の初期設定値は？

入力：       **cbrena^**.

レスポンス： **CBRENA1[ACK]**

Codabar Coding Enable (CBRENA) の初期設定が 1、またはオンであることを示します。

例 3 : Codabar Coding Enable に対する機器の現在の設定は？

入力：       **cbrena?**.

レスポンス： **CBRENA1[ACK]**

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定されていることを示します。

例 4 : すべてのコーダバー選択項目に対する機器の設定は？

入力：       **cbr?**.

レスポンス： **CBRENA1[ACK],**  
**SSX0[ACK],**  
**CK20[ACK],**  
**CCT1[ACK],**  
**MIN2[ACK],**  
**MAX60[ACK],**  
**DFT[ACK].**

機器の Codabar Coding Enable (CBRENA) が 1、またはオンに設定され、スタート/ストップキャラクタ (SSX) は 0、または Don't Transmit に、チェックキャラクタ (CK2) は 0、または Not Required に、連結機能 (CCT) は 1、または Enabled に、最小読み取り桁数 (MIN) は 2 キャラクタに、最大読み取り桁数 (MAX) は 60 キャラクタに、また初期設定 (DFT) には値が無いことを示しています。

---

## トリガーコマンド

シリアルトリガーコマンドでイメージャをアクティブまたは非アクティブにできます。まず、Manual/Serial Trigger Mode のバーコード (3-4 ページ) を読み取るか、マニュアル/シリアルメニューコマンド (12-5 ページ) を送り、イメージャをマニュアル/シリアルトリガーモードにします。イメージャがいったんシリアルトリガーモードになると、以下のコマンドを送ってトリガーをアクティブ/非アクティブにできます。

アクティブに :SYN T CR

非アクティブに :SYN U CR

イメージャは、バーコードを読み取るか、非アクティブ化コマンドが送信されるか、シリアルタイムアウトになるまで読み取りを実行します。(説明については3-4ページの「Read Time-Out」を、また12-5ページのシリアルコマンドを参照。)

## 標準の製品初期設定のリセット

お使いのイメージャのプログラミングオプションがわからない場合や、変更したオプションを標準の製品初期設定に戻したい場合は、次の **Standard Product Default Settings** のバーコードを読み取ります。



Standard Product Default Settings

以下のページのチャートは、各メニューコマンド (プログラミングページでアスタリスク (\*) で表示) の標準の出荷時初期設定を示しています。

---

## メニューコマンド

注： すべてのメニューコマンドがすべてのイメージモデルに適用されるわけではありません。

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Factory Default Settings	Default	DEFAULT	12-4
<b><i>Terminal Interfaces</i></b>			
Terminal ID	003 (4600g/4600r/4800i 050 models) 000 (4600g/4800i 030 models)	TERMID###	2-1

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Program Keyboard Country	*U.S.A.	KBDCTY0	2-4
	Belgium	KBDCTY1	2-4
	Brazil	KBDCTY16	2-4
	Canada (French)	KBDCTY18	2-4
	Czech Republic	KBDCTY15	2-4
	Denmark	KBDCTY8	2-4
	Finland (Sweden)	KBDCTY2	2-4
	France	KBDCTY3	2-4
	Germany/Austria	KBDCTY4	2-4
	Greece	KBDCTY17	2-4
	Hungary	KBDCTY19	2-4
	Israel (Hebrew)	KBDCTY12	2-4
	Italy	KBDCTY5	2-5
	Latin America	KBDCTY14	2-5
	Netherlands (Dutch)	KBDCTY11	2-5
	Norway	KBDCTY9	2-5
	Poland	KBDCTY20	2-5
	Portugal	KBDCTY13	2-5
	Romania	KBDCTY25	2-5
	Russia	KBDCTY26	2-5
	SCS	KBDCTY21	2-5
	Slovakia	KBDCTY22	2-5
	Spain	KBDCTY10	2-5
	Sweden	KBDCTY23	2-5
	Switzerland (German)	KBDCTY6	2-5
	Turkey F	KBDCTY27	2-6
Turkey Q	KBDCTY24	2-6	
U.K.	KBDCTY7	2-6	

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Keyboard Style	*Regular	KBDSTY0	2-6
	Caps Lock	KBDSTY1	2-6
	Shift Lock	KBDSTY2	2-7
	Automatic Caps Lock	KBDSTY6	2-7
	Emulate External Keyboard	KBDSTY5	2-7
Keyboard Modifiers	*Control + ASCII Off	KBDCAS0	2-8
	Control + ASCII On	KBDCAS1	2-8
	*Turbo Mode Off	KBDTMD0	2-8
	Turbo Mode On	KBDTMD1	2-8
	*Numeric Keypad Off	KBDNPS0	2-8
	Numeric Keypad On	KBDNPS1	2-8
	*Auto Direct Conn. Off	KBDADC0	2-8
Auto Direct Conn. On	KBDADC1	2-8	
Baud Rate	300 BPS	232BAD0	2-9
	600 BPS	232BAD1	2-9
	1200 BPS	232BAD2	2-9
	2400 BPS	232BAD3	2-9
	4800 BPS	232BAD4	2-9
	9600 BPS	232BAD5	2-9
	19200 BPS	232BAD6	2-9
	*38400 BPS	232BAD7	2-9
	57600 BPS	232BAD8	2-9
	115200 BPS	232BAD9	2-9

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Word Length: Data Bits, Stop Bits, and Parity	7 Data, 1 Stop, Parity Even	232WRD3	2-10
	7 Data, 1 Stop, Parity None	232WRD0	2-10
	7 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD6	2-10
	7 Data, 2 Stop, Parity Even	232WRD4	2-10
	7 Data, 2 Stop, Parity None	232WRD1	2-10
	7 Data, 2 Stop, Parity Odd	232WRD7	2-10
	8 Data, 1 Stop, Parity Even	232WRD5	2-10
	*8 Data, 1 Stop, Parity None	232WRD2	2-10
8 Data, 1 Stop, Parity Odd	232WRD8	2-10	
RS-232 Receiver Time-out	Range 0 - 300 seconds	232LPT###	2-11
RS-232 Handshaking	*RTS/CTS Off	232CTS0	2-11
	RTS/CTS On	232CTS1	2-11
	*XON/XOFF Off	232XON0	2-11
	XON/XOFF On	232XON1	2-11
	*ACK/NAK Off	232ACK0	2-11
	ACK/NAK On	232ACK1	2-11
Wand Emulation Connection	Same Code Format	TERMID64	2-12
	Code 39 Format	TERMID61	2-12
Data Block Size	20	WNDBLK0	2-13
	*40	WNDBLK1	2-13
	60	WNDBLK2	2-13
	80	WNDBLK3	2-13
Delay Between Blocks	5ms	WNDDL1Y0	2-13
	*50ms	WNDDL1Y1	2-13
	150ms	WNDDL1Y2	2-13
	500ms	WNDDL1Y3	2-13
Overall Checksum	On	WNDCHK1	2-14
	*Off	WNDCHK0	2-14

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
Wand Emulation Transmission Rate	10	WNDSPD0	2-14
	*25	WNDSPD1	2-14
	40	WNDSPD2	2-14
	80	WNDSPD3	2-14
	120	WNDSPD4	2-14
	150	WNDSPD5	2-14
	200	WNDSPD6	2-14
Wand Emulation Polarity	*Black High	WNDPOL0	2-15
	White High	WNDPOL1	2-15
Wand Emulation Idle	Idle Low	WNDIDL0	2-15
	*Idle High	WNDIDL1	2-15
<b>Output Selections</b>			
Beeper - Good Read	Off	BEPBEP0	3-1
	*On	BEPBEP1	3-1
Beeper Volume - Good Read	Off	BEPLVL0	3-1
	Low	BEPLVL1	3-1
	*Medium (default for 4600g/4600r)	BEPLVL2	3-1
	*High (default for 4800i)	BEPLVL3	3-1
Beeper Pitch - Good Read (Frequency)	Low (1600) (min 400Hz)	BEPFQ11600	3-2
	*Medium (3250)	BEPFQ13250	3-2
	High (4200) (max 9000Hz)	BEPFQ14200	3-2
Beeper Duration - Good Read	*Normal Beep	BEPBIP0	3-2
	Short Beep	BEPBIP1	3-2
LED - Good Read	Off	BEPLD0	3-2
	*On	BEPLD1	3-2
Number of Beeps - Good Read	*1	BEPRPT1	3-3
	Range 1 - 9	BEPRPT#	3-3

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Good Read Delay	*No Delay	DLYGRD0	3-3
	Short Delay (500 ms)	DLYGRD500	3-3
	Medium Delay (1000 ms)	DLYGRD1000	3-3
	Long Delay (1500 ms)	DLYGRD1500	3-3
User-Specified Good Read Delay	Range 0 - 30,000 ms	DLYGRD#####	3-3
Manual/Serial Trigger	*Manual/Serial Trigger Mode	TRGMOD0	3-4
	Read Time-Out (0 - 300,000 ms) *300,000	TRGSTO#####	3-4
Manual Trigger, Low Power	Manual Trigger, Low Power Mode	TRGMOD2	3-4
	Low Power Time-Out Timer (0 - 300 seconds) *120	TRGLPT###	3-5
Scan Stand	Scan Stand Mode	TRGMOD4	3-5
	Scan Stand Symbol	FNC3	3-6
Presentation	Presentation Mode	TRGMOD3	3-6
Presentation LED Timer	LEDs Off	TRGPCK0	3-6
	*LEDs On	TRGPCK1	3-6
Presentation Sensitivity	Range 0-20 (*1)	TRGPMS##	3-7
Streaming Presentation	Streaming Presentation Mode	TRGMOD8	3-7
Hands Free Time-Out	Range 0 - 300,000 ms	TRGPTO#####	3-7
Reread Delay	Short (500 ms)	DLYRRD500	3-8
	*Medium (750 ms)	DLYRR750	3-8
	Long (1000 ms)	DLYRRD1000	3-8
	Extra Long (2000 ms)	DLYRRD2000	3-8
User-Specified Reread Delay	Range 0 - 30,000 ms	DLYRRD#####	3-8
LED Power Level	Off	PWRLDC0	3-9
	Low (50%)	PWRLDC50	3-9
	*High (100%)	PWRLDC100	3-9



選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Illumination Lights	*Lights On	SCNLED1	3-9
	Lights Off	SCNLED0	3-9
Imager Time-Out	Range 0 - 999,999 ms (*60,000 ms)	SDRTIM#####	3-10
Aimer Delay	200 milliseconds	SCNDLY200	3-10
	400 milliseconds	SCNDLY400	3-10
	*Off (no delay)	SCNDLY0	3-10
User-Specified Aimer Delay	Range 0 - 4,000 ms	SCNDLY####	3-10
Aimer Mode	Off	SCNAIM0	3-11
	Concurrent (4X00 default)	SCNAIM1	3-11
	Interlaced (5X00 default)	SCNAIM2	3-11
Centering Window	Centering On	DECWIN1	3-14
	*Centering Off	DECWIN0	3-14
	Left of Centering Window (*40%)	DECLFT	3-14
	Right of Centering Window (*60%)	DECRGT	3-14
	Top of Centering Window (*40%)	DECTOP	3-14
	Bottom of Centering Window (*60%)	DECBOT	3-14
Decode Search Mode	Full Omnidirectional (Default for 2D imagers)	DECMOD0	3-15
	Quick Omnidirectional	DECMOD1	3-15
	Advanced Linear Decoding (Default for PDF imagers)	DECMOD2	3-15

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
Preferred Symbology	On	PREFENA1	3-16
	*Off	PREFENA0	3-16
	High Priority Symbology	PRFCOD##	3-16
	Low Priority Symbology	PRFBLK##	3-17
	Preferred Symbology Timeout	PRFPTO####	3-17
	Preferred Symbology Default	PRFDFT	3-17
Output Sequence Editor	Enter Sequence	SEQBLK	3-21
	Default Sequence	SEQDFT	3-21
Require Output Sequence	Required	SEQ_EN2	3-21
	On/Not Required	SEQ_EN1	3-21
	*Off	SEQ_EN0	3-21
Multiple Symbols	On	SHOTGN1	3-22
	*Off	SHOTGN0	3-22
No Read	On	SHWNRD1	3-22
	*Off	SHWNRD0	3-22
Print Weight	Set Print Weight (1-7)	PRTWGT	3-23
	*Default (4)	PRTWGT4	3-23
Video Reverse	On	VIDREV1	3-23
	*Off	VIDREV0	3-23
Working Orientation	*Upright	ROTATN0	3-24
	Rotate Code Clockwise 90°	ROTATN1	3-24
	Upside Down	ROTATN2	3-24
	Rotate Code Counterclockwise 90°	ROTATN3	3-24
<b><i>Prefix/Suffix Selections</i></b>			
Add CR Suffix to All Symbologies		VSUFCR	4-3
Prefix	Add Prefix	PREBK2##	4-4
	Clear One Prefix	PRECL2	4-4
	Clear All Prefixes	PRECA2	4-4

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
Suffix	Add Suffix	SUFBK2##	4-4
	Clear One Suffix	SUFCL2	4-4
	Clear All Suffixes	SUFCA2	4-4
Function Code Transmit	*Enable	RMVFNC0	4-4
	Disable	RMVFNC1	4-4
Intercharacter Delay	Range 0 - 495 ms	DLYCHR##	4-5
User Specified Intercharacter Delay	Delay Length (0 - 495 ms)	DLYCRX##	4-6
	Character to Trigger Delay	DLY_XX###	4-6
Interfunction Delay	Range 0 - 495 ms	DLYFNC##	4-6
Intermessage Delay	Range 0 - 495 ms	DLYMSG##	4-7
<b><i>Data Formatter Selections</i></b>			
Data Format Editor	*Default Data Format (None)	DFMDF3	5-5
	Enter Data Format	DFMBK3##	5-5
	Clear One Data Format	DFMCL3	5-5
	Clear All Data Formats	DFMCA3	5-5
Data Formatter	Off	DFM_EN0	5-5
	*On, but Not Required	DFM_EN1	5-5
	On, Required	DFM_EN2	5-5
Alternate Data Formats	1	VSAF_1	5-6
	2	VSAF_2	5-6
	3	VSAF_3	5-6
<b><i>Secondary Interface Selections</i></b>			
Secondary Interface	*Disable	2IF_EN0	6-2
	Enable	2IF_EN1	6-2
Secondary RS-232 Connection	RS-232 Interface	2IFTYP0	6-2
Secondary Code 39 Wand Emulation	Wand Emulation Same Code Format	2IFTYP64	6-3
	Wand Emulation Code 39 Format	2IFTYP61	6-3

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Wand Emulation Multi Block Delay Between Blocks	5 ms	WNDDLY0	6-3
	*50 ms	WNDDLY1	6-3
	150 ms	WNDDLY2	6-3
	500 ms	WNDDLY3	6-3
Overall Checksum	On	WNDCHK1	6-4
	*Off	WNDCHK0	6-4
Wand Emulation Transmission Rate	10	WNDSPD0	6-4
	*25	WNDSPD1	6-4
	40	WNDSPD2	6-4
	80	WNDSPD3	6-4
	120	WNDSPD4	6-4
	150	WNDSPD5	6-4
	200	WNDSPD6	6-4
Wand Emulation Polarity	*Black High	WNDPOL0	6-5
	White High	WNDPOL1	6-5
Wand Emulation Idle	*Idle High	WNDIDL1	6-5
	Idle Low	WNDIDL0	6-5
Data Block Size	20	WNDBLK0	6-6
	*40	WNDBLK1	6-6
	60	WNDBLK2	6-6
	80	WNDBLK3	6-6
Secondary Trigger Model	*Manual/Serial Trigger	2IFTRG0	6-7
	Read Time-Out (0 - 300,000 ms) *0	TRGSTO#####	6-7
	Manual Trigger, Low Power	2IFTRG2	6-7
	Low Power Time-Out (0 - 120 seconds) *120	2IFLPT###	6-8
Hands Free Time-Out	Range 0 - 300,000 ms	TRGPTO#####	6-8
Scan Stand	Scan Stand Mode	2IFTRG4	6-9
	Scan Stand Symbol	FNC3	6-9

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Presentation	Presentation Mode	2IFTRG3	6-9
<b>Symbologies</b>			
All Symbologies	All Symbologies Off	ALLENA0	7-2
	All Symbologies On	ALLENA1	7-2
Codabar	Default All Codabar Settings	CBRDFT	7-3
Codabar	Off	CBRENA0	7-3
	*On	CBRENA1	7-3
Codabar Start/Stop Char.	*Don't Transmit	CBRSSX0	7-3
	Transmit	CBRSSX1	7-3
Codabar Check Char.	*No Check Char.	CBRCK20	7-4
	Validate, But Don't Transmit	CBRCK21	7-4
	Validate, and Transmit	CBRCK22	7-4
Codabar Concatenation	*Off	CBRCCT0	7-4
	On	CBRCCT1	7-4
	Require	CBRCCT2	7-4
Codabar Message Length	Minimum (2 - 60) *4	CBRMIN##	7-5
	Maximum (2 - 60) *60	CBRMAX##	7-5
Code 39	Default All Code 39 Settings	C39DFT	7-5
Code 39	Off	C39ENA0	7-5
	*On	C39ENA1	7-5
Code 39 Start/Stop Char.	*Don't Transmit	C39SSX0	7-5
	Transmit	C39SSX1	7-5
Code 39 Check Char.	*No Check Char.	C39CK20	7-6
	Validate, But Don't Transmit	C39CK21	7-6
	Validate, and Transmit	C39CK22	7-6
Code 39 Message Length	Minimum (0 - 48) *0	C39MIN##	7-6
	Maximum (0 - 48) *48	C39MAX##	7-6
Code 39 Append	*Off	C39APP0	7-7
	On	C39APP1	7-7

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	*Off	C39B320	7-7
	On	C39B321	7-7
Code 39 Full ASCII	*Off	C39ASC0	7-8
	On	C39ASC1	7-8
	Code 39 Code Page	C39DCP	7-9
Interleaved 2 of 5	Default All Interleaved 2 of 5 Settings	I25DFT	7-9
Interleaved 2 of 5	Off	I25ENA0	7-9
	*On	I25ENA1	7-9
Interleaved 2 of 5 Check Digit	*No Check Char.	I25CK20	7-10
	Validate, But Don't Transmit	I25CK21	7-10
	Validate, and Transmit	I25CK22	7-10
Interleaved 2 of 5 Message Length	Minimum (2 - 80) *4	I25MIN##	7-10
	Maximum (2 - 80) *80	I25MAX##	7-10
Code 93	Default All Code 93 Settings	C93DFT	7-10
Code 93	Off	C93ENA0	7-11
	*On	C93ENA1	7-11
Code 93 Message Length	Minimum (0 - 80) *0	C93MIN##	7-11
	Maximum (0 - 80) *80	C93MAX##	7-11
	Code 93 Code Page	C93DCP	7-11
Straight 2 of 5 Industrial	Default All Straight 2 of 5 Industrial Settings	R25DFT	7-11
Straight 2 of 5 Industrial	*Off	R25ENA0	7-12
	On	R25ENA1	7-12
Straight 2 of 5 Industrial Message Length	Minimum (1 - 48) *4	R25MIN##	7-12
	Maximum (1 - 48) *48	R25MAX##	7-12
Straight 2 of 5 IATA	Default All Straight 2 of 5 IATA Settings	A25DFT	7-12
Straight 2 of 5 IATA	*Off	A25ENA0	7-12
	On	A25ENA1	7-12

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Straight 2 of 5 IATA Message Length	Minimum (1 - 48) *4	A25MIN##	7-13
	Maximum (1 - 48) *48	A25MAX##	7-13
Matrix 2 of 5	Default All Matrix 2 of 5 Settings	X25DFT	7-13
Matrix 2 of 5	*Off	X25ENA0	7-13
	On	X25ENA1	7-13
Matrix 2 of 5 Message Length	Minimum (1 - 80) *4	X25MIN##	7-13
	Maximum (1 - 80) *80	X25MAX##	7-13
Code 11	Default All Code 11 Settings	C11DFT	7-14
Code 11	*Off	C11ENA0	7-14
	On	C11ENA1	7-14
Code 11 Check Digits Required	1 Check Digit	C11CK20	7-14
	*2 Check Digits	C11CK21	7-14
Code 11 Message Length	Minimum (1 - 80) *4	C11MIN##	7-14
	Maximum (1 - 80) *80	C11MAX##	7-14
Code 128	Default All Code 128 Settings	128DFT	7-15
Code 128	Off	128ENA0	7-15
	*On	128ENA1	7-15
ISBT Concatenation	*Off	ISBENA0	7-15
	On	ISBENA1	7-15
Code 128 Message Length	Minimum (0 - 80) *0	128MIN##	7-16
	Maximum (0 - 80) *80	128MAX##	7-16
Code 128 Code Page	Code 128 Code Page (*2)	128DCP##	7-16
Telex	Default All Telex Settings	TELDFT	7-16
Telex	*Off	TELENA0	7-16
	On	TELENA1	7-16
Telex Output	*AIM Telex Output	TELOLD0	7-17
	Original Telex Output	TELOLD1	7-17
Telex Message Length	Minimum (1 - 60) *1	TELMIN##	7-17
	Maximum (1 - 60) *60	TELMAX##	7-17

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-A	Default All UPC-A Settings	UPADFT	7-17
UPC-A	Off	UPAENA0	7-18
	*On	UPAENA1	7-18
UPC-A Check Digit	Off	UPACKX0	7-18
	*On	UPACKX1	7-18
UPC-A Number System	Off	UPANSX0	7-18
	*On	UPANSX1	7-18
UPC-A 2 Digit Addenda	*Off	UPAAD20	7-19
	On	UPAAD21	7-19
UPC-A 5 Digit Addenda	*Off	UPAAD50	7-19
	On	UPAAD51	7-19
UPC-A Addenda Required	*Not Required	UPAARQ0	7-19
	Required	UPAARQ1	7-19
UPC-A Addenda Separator	Off	UPAADS0	7-20
	*On	UPAADS1	7-20
UPC-A/EAN-13 with Extended Coupon Code	*On	CPNENA1	7-20
	Off	CPNENA0	7-20
UPC-E0	Default All UPC-E Settings	UPEDFT	7-20
UPC-E0	Off	UPEEN00	7-21
	*On	UPEEN01	7-21
UPC-E0 Expand	*Off	UPEEXP0	7-21
	On	UPEEXP1	7-21
UPC-E0 Addenda Required	Required	UPEARQ1	7-21
	*Not Required	UPEARQ0	7-21
UPC-E0 Addenda Separator	*On	UPEADS1	7-22
	Off	UPEADS0	7-22
UPC-E0 Check Digit	Off	UPECKX0	7-22
	*On	UPECKX1	7-22
UPC-E0 Number System	Off	UPENSX0	7-22
	*On	UPENSX1	7-22



選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
UPC-E0 Addenda	2 Digit Addenda On	UPEAD21	7-23
	*2 Digit Addenda Off	UPEAD20	7-23
	5 Digit Addenda On	UPEAD51	7-23
	*5 Digit Addenda Off	UPEAD50	7-23
UPC-E1	*Off	UPEEN10	7-23
	On	UPEEN11	7-23
EAN/JAN-13	Default All EAN/JAN Settings	E13DFT	7-23
EAN/JAN-13	Off	E13ENA0	7-24
	*On	E13ENA1	7-24
EAN/JAN-13 Check Digit	Off	E13CKX0	7-24
	*On	E13CKX1	7-24
EAN/JAN-13 2 Digit Addenda	2 Digit Addenda On	E13AD21	7-24
	*2 Digit Addenda Off	E13AD20	7-24
	5 Digit Addenda On	E13AD51	7-24
	*5 Digit Addenda Off	E13AD50	7-24
EAN/JAN-13 Addenda Required	*Not Required	E13ARQ0	7-25
	Required	E13ARQ1	7-25
EAN/JAN-13 Addenda Separator	Off	E13ADS0	7-25
	*On	E13ADS1	7-25
ISBN Translate	*Off	E13ISB0	7-25
	On	E13ISB1	7-25
EAN/JAN-8	Default All EAN/JAN 8 Settings	EA8DFT	7-26
EAN/JAN-8	Off	EA8ENA0	7-26
	*On	EA8ENA1	7-26
EAN/JAN-8 Check Digit	Off	EA8CKX0	7-26
	*On	EA8CKX1	7-26

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
EAN/JAN-8 Addenda	*2 Digit Addenda Off	EA8AD20	7-27
	2 Digit Addenda On	EA8AD21	7-27
	*5 Digit Addenda Off	EA8AD50	7-27
	5 Digit Addenda On	EA8AD51	7-27
EAN/JAN-8 Addenda Required	*Not Required	EA8ARQ0	7-27
	Required	EA8ARQ1	7-27
EAN/JAN-8 Addenda Separator	Off	EA8ADS0	7-27
	*On	EA8ADS1	7-27
MSI	Default All MSI Settings	MSIDFT	7-28
MSI	*Off	MSIENA0	7-28
	On	MSIENA1	7-28
MSI Check Character	*Validate Type 10, but Don't Transmit	MSICHK0	7-28
	Validate Type 10 and Transmit	MSICHK1	7-28
MSI Message Length	Minimum (4 - 48) *4	MSIMIN##	7-29
	Maximum (4 - 48) *48	MSIMAX##	7-29
Plessey Code	Default All Plessey Settings	PLSDFT	7-29
Plessey Code	*Off	PLSENA0	7-29
	On	PLSENA1	7-29
Plessey Message Length	Minimum (4 - 48) *4	PLSMIN##	7-29
	Maximum (4 - 48) *48	PLSMAX##	7-29
RSS-14	Default All RSS-14 Settings	RSSDFT	7-30
RSS-14	Off	RSENA0	7-30
	*On	RSENA1	7-30
RSS Limited	Default All RSS-14 Limited Settings	RSLDFT	7-30
RSS Limited	Off	RSENA0	7-30
	*On	RSENA1	7-30
RSS Expanded	Default All RSS-14 Expanded Settings	RSEDFT	7-30

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
RSS Expanded	Off	RSEENA0	7-31
	*On	RSEENA1	7-31
RSS Expanded Msg.Length	Minimum (4 - 74) *4	RSEMIN##	7-31
	Maximum (4 - 74) *74	RSEMAX##	7-31
PosiCode	Default All PosiCode Settings	POSDFT	7-31
PosiCode	Off	POSENA0	7-32
	*On	POSENA1	7-32
	A and B On	POSLIM0	7-32
	A and B and Limited A On	POSLIM1	7-32
	*A and B and Limited B On	POSLIM2	7-32
PosiCode Msg.Length	Minimum (2 - 80) *4	POSMIN##	7-32
	Maximum (2 - 80) *48	POSMAX##	7-32
Trioptic Code	*Off	TRIENA0	7-33
	On	TRIENA1	7-33
Codablock F	Default All Codablock F Settings	CBFDFT	7-33
Codablock F	*Off	CBFENA0	7-33
	On	CBFENA1	7-33
Codablock F Msg.Length	Minimum (1 - 2048) *1	CBFMIN####	7-33
	Maximum (1 - 2048) *2048	CBFMAX####	7-33
Code 16K	Default All Code 16K Settings	16KDFT	7-34
Code 16K	*Off	16KENA0	7-34
	On	16KENA1	7-34
Code 16K Msg.Length	Minimum (0 - 160) *1	16KMIN###	7-34
	Maximum (0 - 160) *160	16KMAX###	7-34
Code 49	Default All Code 49 Settings	C49DFT	7-34
Code 49	Off	C49ENA0	7-35
	*On	C49ENA1	7-35
Code 49 Msg.Length	Minimum (1 - 81) *1	C49MIN##	7-35
	Maximum (1 - 81) *81	C49MAX##	7-35

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
PDF417	Default All PDF417 Settings	PDFDFT	7-35
PDF417	*On	PDFENA1	7-35
	Off	PDFENA0	7-35
PDF417 Msg.Length	Minimum (1-2750) *1	PDFMIN	7-36
	Maximum (1-2750) *2750	PDFMAX	7-36
MicroPDF417	Default All Micro PDF417 Settings	MPDDFT	7-36
MicroPDF417	On	MPDENA1	7-36
	*Off	MPDENA0	7-36
MicroPDF417 Msg.Length	Minimum (1-366) *1	MPDMIN	7-36
	Maximum (1-366) *366	MPDMAX	7-36
EAN•UCC Composite Codes	On	COMENA1	7-37
	*Off	COMENA0	7-37
UPC/EAN Version	On	COMUPC1	7-37
	*Off	COMUPC0	7-37
EAN•UCC Composite Codes Msg.Length	Minimum (1-2435) *1	COMMINS	7-37
	Maximum (1-2435) *2435	COMMINS	7-37
EAN•UCC Emulation	RSS Emulation	EANEMU2	7-38
	EAN•UCC-128 Emulation	EANEMU1	7-38
	*EAN•UCC Emulation Off	EANEMU0	7-38
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	On	T39ENA1	7-38
	*Off	T39ENA0	7-38
4-CB (4-State Customer Bar Code)	On	4CBENA1	7-39
	*Off	4CBENA0	7-39
ID-tag (UPU 4-State)	On	TAGENA1	7-39
	*Off	TAGENA0	7-39
Postnet	On	NETENA1	7-39
	*Off	NETENA0	7-39
Postnet Check Digit	Transmit	NETCKX1	7-40
	*Don't Transmit	NETCKX0	7-40

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
Planet Code	On	PLNENA1	7-40
	*Off	PLNENA0	7-40
Planet Code Check Digit	Transmit	PLNCKX1	7-40
	*Don't Transmit	PLNCKX0	7-40
British Post	On	BPOENA1	7-41
	*Off	BPOENA0	7-41
Canadian Post	On	CANENA1	7-41
	*Off	CANENA0	7-41
Kix (Netherlands) Post	On	KIXENA1	7-41
	*Off	KIXENA0	7-41
Australian Post	On	AUSENA1	7-41
	*Off	AUSENA0	7-41
Australian Post Interpretation	*Bar Output	AUSINT0	7-42
	Numeric N Table	AUSINT1	7-42
	Alphanumeric C Table	AUSINT2	7-42
Japanese Post	On	JAPENA1	7-42
	*Off	JAPENA0	7-42
China Post	Default All China Post Settings	CPCDFT	7-42
China Post	*Off	CPCENA0	7-43
	On	CPCENA1	7-43
China Post Msg.Length	Minimum (2 - 80) *4	CPCMIN##	7-43
	Maximum (2 - 80) *80	CPCMAX##	7-43
Korea Post	Default All Korea Post Settings	KPCDFT	7-43
Korea Post	*Off	KPCENA0	7-43
	On	KPCENA1	7-43
Korea Post Msg.Length	Minimum (2 - 80) *4	KPCMIN##	7-44
	Maximum (2 - 80) *48	KPCMAX##	7-44
QR Code	Default All QR Code Settings	QRCDFT	7-44

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
QR Code	*On	QRCENA1	7-44
	Off	QRCENA0	7-44
QR Code Msg.Length	Minimum (1-3500) *1	QRCMIN	7-45
	Maximum (1-3500) *3500	QRCMAX	7-45
Data Matrix	Default All Data Matrix Settings	IDMDFT	7-45
Data Matrix	*On	IDMENA1	7-45
	Off	IDMENA0	7-45
Data Matrix Msg.Length	Minimum (1-1500) *1	IDMMIN	7-45
	Maximum (1-1500) *1500	IDMMAX	7-45
MaxiCode	Default All MaxiCode Settings	MAXDFT	7-46
MaxiCode	*On	MAXENA1	7-46
	Off	MAXENA0	7-46
MaxiCode Msg.Length	Minimum (1-150) *1	MAXMIN	7-46
	Maximum (1-150) *150	MAXMAX	7-46
Aztec Code	Default All Aztec Code Settings	AZTDFT	7-46
Aztec Code	*On	AZTENA1	7-47
	Off	AZTENA0	7-47
Aztec Code Msg.Length	Minimum (1-3750) *1	AZTMIN	7-47
	Maximum (1-3750) *3750	AZTMAX	7-47
Aztec Runes	Enable Runes	AZTRUN1	7-47
	*Disable Runes	AZTRUN0	7-47

選択項目	設定 *初期設定を示す	シリアルコマンド #数値入力を示す	ページ
<b>Imaging Default Commands</b>			
	Default all Imaging Commands	IMGDFT	8-1
Image Snap	Imaging Style - Decoding	SNPSTY0	8-1
	*Imaging Style - Photo	SNPSTY1	8-1
	Imaging Style - Manual	SNPSTY2	8-1
	Beeper On	SNPBEP1	8-1
	*Beeper Off	SNPBEP0	8-1
	Exposure (1-7874 microseconds)	SNPEXP	8-1
	*Gain - None	SNPGAN1	8-2
	Gain - Medium	SNPGAN2	8-2
	Gain - Heavy	SNPGAN4	8-2
	Gain - Maximum	SNPGAN8	8-2
	Delta for Acceptance (0-255) *25	SNPDEL###	8-2
	*LED State - Off	SNPLED0	8-2
	LED State - On	SNPLED1	8-2
	*Wait for Trigger Off	SNPTRG0	8-2
	Wait for Trigger On	SNPTRG1	8-2
	Update Tries (0-10) *6	SNPTRY##	8-2
	Target White Value (0-255) *125	SNPWHT###	8-2
Target Set Point Percentage (1-99) *50	SNPPCT##	8-2	

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Image Ship	*Infinity Filter - Off	IMGINF0	8-3
	Infinity Filter - On	IMGINF1	8-3
	*Compensation Off	IMGCOR0	8-3
	Compensation On	IMGCOR1	8-3
	*Pixel Depth - 8 bits/pixel (grayscale)	IMGBPP8	8-3
	Pixel Depth - 1 bit/pixel (B&W)	IMGBPP1	8-3
	*Don't Sharpen Edges	IMGEDG0	8-3
	Sharpen Edges (0-23)	IMGEDG##	8-3
	*File Format - JPEG	IMGFMT6	8-4
	File Format - KIM	IMGFMT0	8-4
	File Format - TIFF binary	IMGFMT1	8-4
	File Format - TIFF binary group 4, compressed	IMGFMT2	8-4
	File Format - TIFF grayscale	IMGFMT3	8-4
	File Format - Uncompressed binary	IMGFMT4	8-4
	File Format - Uncompressed grayscale	IMGFMT5	8-4
	File Format - BMP	IMGFMT8	8-4
	*Histogram Stretch Off	IMGHIS0	8-4
	Histogram Stretch On	IMGHIS1	8-4
	Invert Image around X axis	IMGNVX1	8-4
	Invert Image around Y axis	IMGNVY1	8-4
	*Noise Reduction Off	IMGFSP0	8-4
	Noise Reduction On	IMGFSP1	8-4
	Rotate Image 90° left	IMGROT3	8-4
JPEG Image Quality (0-100) *50	IMGJQF###	8-5	
*Gamma Correction Off	IMGGAM0	8-5	



選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
Image Ship (continued)	Gamma Correction On (1-255)	IMGGAM###	8-5
	Image Crop - Left (0-640) *0	IMGWNL###	8-5
	Image Crop - Right (0-640) *639	IMGWNR###	8-5
	Image Crop - Top (0-480) *0	IMGWNT###	8-5
	Image Crop - Bottom (0-480) *479	IMGWNB###	8-5
	Image Crop - Margin (1-238) *0	IMGMAR###	8-5
	Protocol - None (raw)	IMGXFR0	8-5
	Protocol - None (default USB)	IMGXFR2	8-5
	Protocol - Hmodem	IMGXFR3	8-5
	Protocol - Hmodem Compressed	IMGXFR4	8-5
	Ship Every Pixel	IMGSUB1	8-6
	Ship Every 2nd Pixel	IMGSUB2	8-6
	Ship Every 3rd Pixel	IMGSUB3	8-6
	*Document Image Filter Off	IMGUSH0	8-6
	Document Image Filter On (0-255)	IMGUSH###	8-6
	*Don't Ship Histogram	IMGHST0	8-6
	Ship Histogram	IMGHST1	8-6
	*Force VGA Resolution	IMGVGA1	8-7
	Native Resolution	IMGVGA0	8-7
	<b>OCR Selections</b>		
OCR	Default All OCR Settings	OCRDFT	9-1
	OCR-A On	OCRENA1	9-2
	OCR-B On	OCRENA2	9-2
	U.S. Currency On	OCRENA3	9-2
	MICR E 13 B On	OCRENA4	9-3
	SEMI Font	OCRENA5	9-3
	* All OCR Off	OCRENA0	9-3

選択項目	設定 * 初期設定を示す	シリアルコマンド # 数値入力を示す	ページ
OCR Check Character	OCR Mod.10 Check Char.	"OCRCHK0123456789"	9-9
	OCR Mod.36 Check Char.	"OCRCHK0123456789 ABCDEFGHIJKLM NOPQRSTUVWXYZ"	9-10
	OCR User-Defined Check Char.	OCRCHK	9-11
	3-1-3-1 Weighted Mod.10 Check Char.	OCRCHK3-1-3-1	9-12
	2-1-2-1 Weighted Mod.10 Check Char.	OCRCHK2-1-2-1	9-12
OCR Templates	Enter OCR Template	OCRTMP	9-15
	Enter User-Defined Variable g	OCRGPG	9-15
	Enter User-Defined Variable h	OCRGPH	9-15

## 3800g

パラメータ	仕様															
外形寸法 (代表値) :																
高さ	15.7cm (6.2 インチ)															
長さ	13.5cm (5.3 インチ)															
幅	8.1cm (3.2 インチ)															
重量	184.3g (6.5 オンス)															
照明 :																
スキャン LED	626nm±30nm															
エイミング LED	526nm±30nm															
画像	VGA、640 x 480 (4X00) または 752 x 480 (5X00)、 バイナリ、TIFF、または JPEG 出力															
スキュー角	±40 度															
ピッチ角	±40 度															
モーションの許容範囲	10cm(4 インチ) / 秒															
シンボルコントラスト	グレード 1.0 (20% 以上)															
電圧条件	イメージャで 4 ~ 14VDC															
消費電流 (代表値) :	<table border="1"> <thead> <tr> <th>入力</th> <th>動作時</th> <th>待機時</th> <th>負荷時</th> <th>低出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5V</td> <td>334mA</td> <td>80mA</td> <td>500mA</td> <td>100µA</td> </tr> <tr> <td>12V</td> <td>170mA</td> <td>55mA</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	入力	動作時	待機時	負荷時	低出力	5V	334mA	80mA	500mA	100µA	12V	170mA	55mA		
入力	動作時	待機時	負荷時	低出力												
5V	334mA	80mA	500mA	100µA												
12V	170mA	55mA														
電源ノイズ防止	ピークで 100mV 以下、10 ~ 100kHz															
温度範囲 :																
動作時	0°C ~ +50°C (+32°F ~ +122°F)															
保管時	-40°C ~ +60°C (-40°F ~ +140°F)															
湿度	0 ~ 95%、結露無し															
落下	1.8m (6 フィート) からコンクリート面に 50 回落下して動作すること															
振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること															
ESD 耐性	任意の外部表面で 15kV															
規格適合	FCC クラス B、CE EMC クラス B、CE Low Voltage Directive、IEC60825-1 LED Safety : クラス 1、UL、cUL 承認、TÜV Certified to EN60950、C-Tick、NOM															

## 4600g (LED エイマー搭載)

パラメータ	仕様
外形寸法 (代表値): 高さ 長さ 幅 重量	15.7cm (6.2 インチ) 13.5cm (5.3 インチ) 8.1cm (3.2 インチ) 184.3g (6.5 オンス)
照明: スキャン LED エイミング LED	626nm±30nm 526nm±30nm
画像	VGA、640 x 480 (4X00) または 752 x 480 (5X00)、 バイナリ、TIFF、または JPEG 出力
スキュー角	±40 度
ピッチ角	±40 度
モーションの許容範囲	10cm(4 インチ) / 秒
シンボルコントラスト	グレード 1.0 (20% 以上)
電圧条件	イメージャで 4 ~ 14VDC
消費電流 (代表値):	入力 動作時 待機時 負荷時 低出力 5V 334mA 80mA 500mA 100µA 12V 170mA 55mA
電源ノイズ防止	ピークで 100mV 以下、10 ~ 100kHz
温度範囲: 動作時 保管時	0°C ~ +50°C (+32°F ~ +122°F) -40°C ~ +60°C (-40°F ~ +140°F)
湿度	0 ~ 95%、結露無し
落下	1.8m (6 フィート) からコンクリート面に 50 回落下 して動作すること
振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること
ESD 耐性	任意の外部表面で 15kV
規格適合	FCC クラス B、CE EMC クラス B、CE Low Voltage Directive、IEC60825-1 LED Safety : クラス 1、UL、cUL 承認、TÜV Certified to EN60950、C-Tick、NOM

## 4600r

パラメータ	仕様															
外形寸法 (代表値) :																
高さ	15.7cm (6.2 インチ)															
長さ	13.5 cm (5.3 インチ)															
幅	8.1cm (3.2 インチ)															
重量	184.3g (6.5 オンス)															
照明 :																
スキャン LED	617nm±30nm															
エイミング LED	526nm±30nm															
画像	VGA、640 x 480 (4X00) または 752 x 480 (5X00)、 バイナリ、TIFF、または JPEG 出力															
スキュー角	±40 度															
ピッチ角	±40 度															
モーションの許容範囲 :																
ストリーミングプレゼンテーショントリガー	50cm(20 インチ) / 秒															
他のトリガー選択	10cm(4 インチ) / 秒															
シンボルコントラスト	グレード 1.0 (20% 以上)															
電圧条件	イメージャで 4 ~ 14VDC															
消費電流 (代表値) :	<table border="1"> <thead> <tr> <th>入力</th> <th>動作時</th> <th>待機時</th> <th>負荷時</th> <th>低出力</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5V</td> <td>354mA</td> <td>80mA</td> <td>500mA</td> <td>100µA</td> </tr> <tr> <td>12V</td> <td>180mA</td> <td>55mA</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	入力	動作時	待機時	負荷時	低出力	5V	354mA	80mA	500mA	100µA	12V	180mA	55mA		
入力	動作時	待機時	負荷時	低出力												
5V	354mA	80mA	500mA	100µA												
12V	180mA	55mA														
電源ノイズ防止	ピークで 100mV 以下、10 ~ 100kHz															
温度範囲 :																
動作時	0°C ~ +50°C (+32°F ~ +122°F)															
保管時	-40°C ~ +60°C (-40°F ~ +140°F)															
湿度	0 ~ 95%、結露無し															
落下	1.8m (6 フィート) からコンクリート面に 50 回落下して動作すること															
振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること															
ESD 耐性	任意の外部表面で 15kV															
規格適合	FCC クラス A、CE EMC クラス A、CE Low Voltage Directive、IEC60825-1 LED Safety : クラス 1、UL、cUL 承認、TÜV Certified to EN60950、C-Tick、NOM															

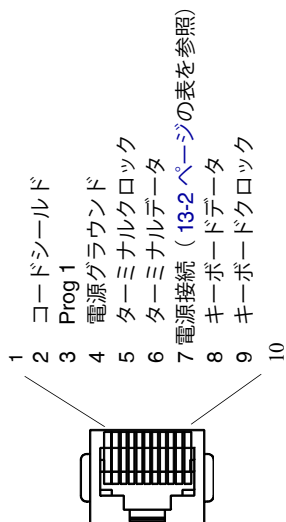
## 4800i

パラメータ	仕様
外形寸法（代表値）： 高さ 長さ 幅 重量	15.7cm（6.2 インチ） 13.5cm（5.3 インチ） 8.1cm（3.2 インチ） 184.3g（6.5 オンス）
照明： スキャン LED エイミング LED	626nm±30nm 526nm±30nm
画像	VGA、640 x 480（4X00）または 752 x 480（5X00）、 バイナリ、TIFF、または JPEG 出力
スキュー角	±40 度
ピッチ角	±40 度
モーションの許容範囲	10cm(4 インチ) / 秒
シンボルコントラスト	グレード 1.0（20% 以上）
電圧条件	イメージャで 4 ~ 14VDC
消費電流（代表値）：	入力 動作時 待機時 負荷時 低出力 5V 334mA 80mA 500mA 100µA 12V 170mA 55mA
電源ノイズ防止	ピークで 100mV 以下、10 ~ 100kHz
温度範囲： 動作時 保管時	-10°C ~ +50°C（+14°F ~ +122°F） -40°C ~ +70°C（-40°F ~ +158°F）
湿度	0 ~ 95%、結露無し
落下	10 °C で 2m（6.5 フィート）からコンクリート面に 50 回 落下して動作すること
振動	22 ~ 300Hz で最大 5G に耐えること
ESD 耐性	任意の外部表面で 15kV
規格適合	FCC クラス B、CE EMC クラス B、CE Low Voltage Directive、IEC60825-1 LED Safety： クラス 1、UL、cUL 承認、TÜV Certified to EN60950、 C-Tick、NOM

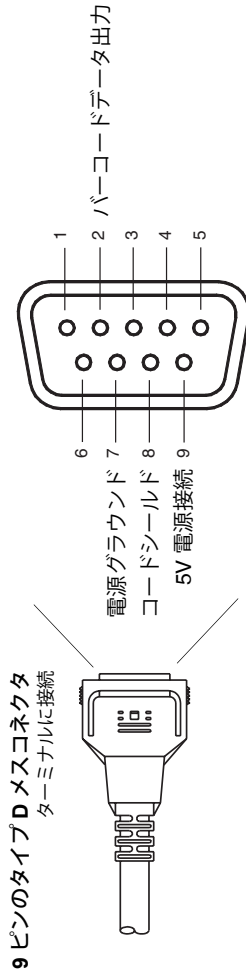
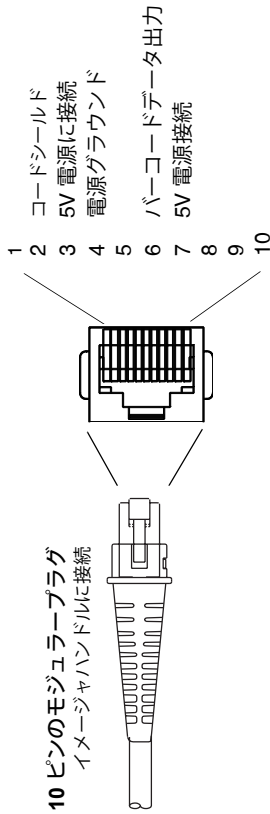
## 標準ケーブルピン配列

### キーボードウェッジ

10 ピンの RJ41 モジュラープラグ  
イメージハンドルの接続



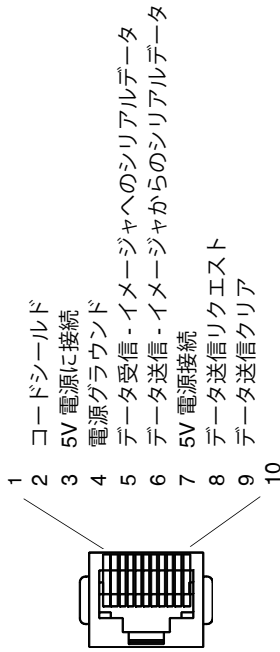
# ワンドエミュレーション



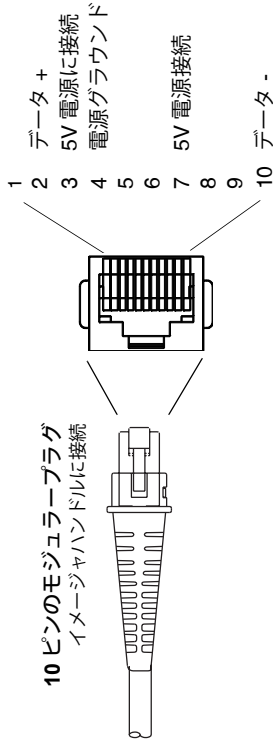


## シリアル出力

10 ピンの RJ41 モジュラープラグ  
イメーჯヤハンドルに接続



# USB



## 修理

修理、保守等のサービスは、かならず正規のサービスセンターで受けてください。詳細については、15-1 ページの「テクニカルサポート」を参照してください。

## 保守

イメージャは、確実に効率的な動作を提供します。特別な保守は不要ですが、以下の定期点検によって信頼性の高いイメージャの動作を確保できます。

### イメージャの窓の清掃

イメージャの窓が汚れていると、読み取り性能が低下することがあります。汚れが目立ったり、十分に動作しない場合は、柔らかい布やレンズ用ティッシュを水（または水で薄めた中性洗剤）で軽く濡らして窓を拭いてください。洗剤を使用する場合は、水だけで濡らしたきれいなレンズ用ティッシュで拭き取ってください。

イメージャのハウジングも同様に清掃できます。



#### 警告：

イメージャを水に浸けないでください。研磨剤入りの布やティッシュを使用しないでください。窓を傷つけることがあります。

ハウジングや窓には溶剤（アルコールやアセトン）を絶対に使用しないでください。表面や窓を傷めることがあります。

### ケーブルとコネクタの点検

傷みやその他損傷の痕跡が無いかイメージャのインタフェースケーブルとコネクタを点検してください。ケーブルがひどく傷んでいたりコネクタが損傷していると、イメージャの動作を妨げることがあります。ケーブル交換については、お買い求めいただいた Honeywell Imaging and Mobility 販売店にお問い合わせください。ケーブルの交換手順は 14-2 ページに記載されています。

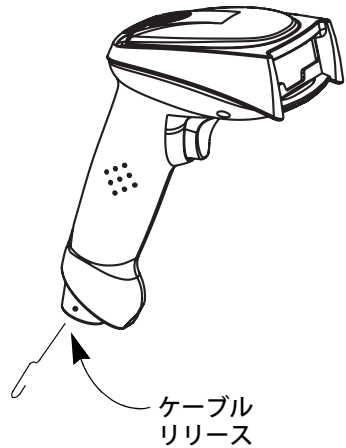
## インタフェースケーブルの交換

標準のインタフェースケーブルは、10 ピンのモジュラーコネクタでイメージャに接続されています。インタフェースケーブルは、現場で交換できるように設計されています。

- 交換用ケーブルは、Honeywell Imaging and Mobility または正規販売店に注文してください。
- 交換用ケーブルを注文するときは、元のインタフェースケーブルのケーブル部品番号を指定してください。

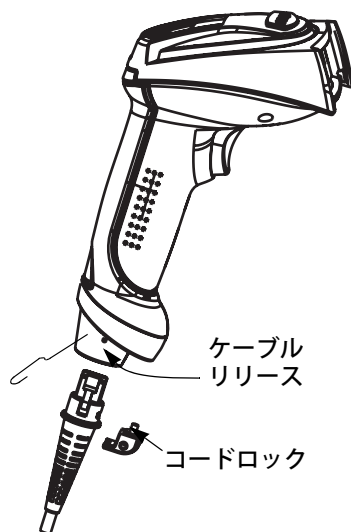
## 4600g/4600r インタフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源をオフにします。
2. イメージャのケーブルをホストまたはコンピュータからはずします。
3. イメージャのハンドルの横にある小さな穴を確認します。これがケーブルリリースです。
4. ペーパークリップの片方の先端をまっすぐにします。
5. まっすぐにしたペーパークリップの先端を小さな穴に差し込んで押しします。これでリテンションタブを押し、コネクタのロックが解除されます。ペーパークリップを押したままコネクタを引き抜きます。
6. 新しいケーブルと交換します。コネクタを穴に差し込んで確実に押しします。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。



## 4800i インタフェースケーブルの交換

1. ホストシステムの電源をオフにします。
2. イメージャのケーブルをホストまたはコンピュータからはずします。
3. ドライバを使ってコードロックをイメージャのベースからはずします。
4. イメージャのグリップエンドの横にある小さな穴を確認します。これがケーブルリリースです。
5. ペーパークリップの片方の先端をまっすぐにします。
6. まっすぐにしたペーパークリップの先端を小さな穴に差し込んで押します。これでリテンションタブを押し、コネクタのロックが解除されます。ペーパークリップを押ししたままコネクタを引き抜きます。
7. 新しいケーブルと交換します。  
コネクタを穴に差し込んで確実に押します。コネクタには、一方向だけに入るようにキーが付いています。所定の位置でカチッと音がします。
8. コードロックを元の位置にネジ止めします。



## トラブルシューティング

電源を入れると、イメージャはそのつどセルフテストを自動的に実行します。お使いのイメージャが正常に機能しない場合は、以下のトラブルシューティングガイドに従って問題点を明らかにしてください。

電源が入っていますか？赤のエイミング照明ラインが点灯していますか？

赤のエイミング照明ラインが点灯していない場合は、以下の項目を確認してください。

- ケーブルが正しく接続されている。
- ホストシステムの電源がオンになっている。(外部電源を使用しない場合。)
- トリガーが動作する。

シンボルの読み取りでイメージャに問題がありますか？

シンボルを正しく読み取らない場合は、以下の項目を確認してください。

- シンボルに汚れ、荒れ、傷、あるいは欠けがないか。
- シンボルの表面に霜や水滴が付いていないか。

- シンボルがイメージャ、またはイメージャが接続されているデコーダで有効になっているか。

バーコードが表示されても入力されませんか？

バーコードはホスト機器で正常に表示されていますが、入力するためにはまだキーを押す必要があります。(Enter/Return キーや Tab キーなど。)

サフィックスを設定する必要があります。サフィックスを設定すると、イメージャはバーコードデータと必要なキー（「CR」など）を出力し、アプリケーションにデータを入力することができます。詳細については、4-1 ページの「[プレフィックス/サフィックスについて](#)」を参照してください。

イメージャがバーコードを間違って読み取っていませんか？

イメージャがバーコードを読み取っても、データがホスト画面に正しく表示されない場合は：

- イメージャが適切なターミナルインタフェース用に設定されていない可能性があります。  
例えば、「12345」を読み取っても、ホストは「A12345B」と表示します。

正しいプラグ & プレイバーコードまたはターミナル選択バーコードでイメージャを設定してください。第 1 章と第 2 章を参照してください。

- イメージャは、バーコードデータを正しく出力するように設定されていない可能性があります。  
例えば、「12345」を読み取ってもホストは「A12345B」と表示します。

正しいシンボルを選択してイメージャを設定してください。第 7 章を参照してください。

イメージャがバーコードをまったく読み取らない。

1. 本書の後ろにあるサンプルバーコードを読み取ります。イメージャがサンプルバーコードを読み取る場合は、お使いのバーコードが読み取り可能か確認してください。  
お使いのバーコードシンボルが有効になっているか確認してください。  
(第 7 章を参照。)
2. それでもサンプルバーコードを読み取れない場合は、7-2 ページの「[All Symbolologies](#)」を読み取ってください。

イメージャで設定されているプログラミングオプションが不明の場合、または出荷時初期設定を復元したい場合は、12-4 ページの「[標準の製品初期設定のリセット](#)」のバーコードを読み取ります。

## テクニカルサポート

インストールやトラブルシューティングに関するサポートが必要な場合は、次の販売店または最寄りの Honeywell Imaging and Mobility テクニカルサポートオフィスにご連絡ください。

### 北アメリカ／カナダ

Telephone: (800) 782-4263, option 4 (8 a.m. to 6 p.m. EST)

Fax: (315) 685-4960

E-mail: [natechsupport@handheld.com](mailto:natechsupport@handheld.com)

### ラテンアメリカ

Telephone: (704) 998-3998, option 8, option 3

Telephone: (800) 782-4263, option 8, option 3

E-mail: [latechsupport@handheld.com](mailto:latechsupport@handheld.com)

### ブラジル

Telephone: +55 (21) 2178-0500

Fax: +55 (21) 2178-0505

E-mail: [brsuporte@handheld.com](mailto:brsuporte@handheld.com)

### メキシコ

Telephone: (704) 998-3998, option 8, option 3

E-mail: [latechsupport@handheld.com](mailto:latechsupport@handheld.com)

### ヨーロッパ、中東、アフリカ

Telephone: +31 (0) 40 7999 393

Fax: +31 (0) 40 2425 672

E-mail: [eurosupport@handheld.com](mailto:eurosupport@handheld.com)

### アジア太平洋

Telephone - Hong Kong: +852-3188-3485 or 2511-3050

Telephone - China: +86 21 6361 3818

E-mail: [aptechsupport@handheld.com](mailto:aptechsupport@handheld.com)

### 日本

Telephone: +813 5770-6312

E-mail: [aptechsupport@handheld.com](mailto:aptechsupport@handheld.com)

### マレーシア

Telephone: +603-6201-7020

E-mail: [aptechsupport@handheld.com](mailto:aptechsupport@handheld.com)

## オンラインによるテクニカルサポート

[www.handheld.com](http://www.handheld.com) で、オンラインによるテクニカルサポートにもアクセスできます。

---

## 詳細情報

本製品の全ユーザーズガイドをダウンロードするには、当社の Web サイト [www.handheld.com](http://www.handheld.com) にアクセスしてください。

## 製品のサービスと修理

Honeywell Imaging and Mobility は、世界中のサービスセンターを通して全製品に対するサービスを提供しています。保証または保証外のサービスを受けられる場合は、製品に日付つきの購入記録のコピーを添付して Honeywell Imaging and Mobility に返却してください。(送料はご負担願います。) 返却される前に、以下の該当ロケーションに連絡し、RMA (Return Material Authorization) 番号を取得してください。

### 北アメリカ

Telephone: (800) 782-4263, option 3

Fax: (704) 566-6015

E-mail: [naservice@handheld.com](mailto:naservice@handheld.com)

### ラテンアメリカ

Telephone: (704) 998-3998, option 8, option 4

Telephone: (800) 782-4263, option 8, option 3

Fax: (239) 263-9689

E-mail: [laservice@handheld.com](mailto:laservice@handheld.com)

### ブラジル

Telephone: +55 (21) 2178-0500

Fax: +55 (21) 2178-0505

E-mail: [brservice@handheld.com](mailto:brservice@handheld.com)

### メキシコ

Telephone: +52 (55) 5203-2100

Fax: +52 (55) 5531-3672

E-mail: [mxservice@handheld.com](mailto:mxservice@handheld.com)

### ヨーロッパ、中東、アフリカ

Telephone: +31 (0) 40 2901 633

Fax: +31 (0) 40 2901 631

E-mail: [euservice@handheld.com](mailto:euservice@handheld.com)

### アジア太平洋

Telephone: +852-2511-3050

Fax: +852-2511-3557

E-mail: [apservice@handheld.com](mailto:apservice@handheld.com)

### 日本

Telephone: +813-5770-6312

Fax: +813-5770-6313

E-mail: [apservice@handheld.com](mailto:apservice@handheld.com)



---

## オンラインによる製品のサービスと修理

[www.handheld.com](http://www.handheld.com)で製品のサービスと修理に関するオンラインサポートにもアクセスできます。

### 条件付保証

Honeywell Imaging and Mobility は、出荷時にはその製品の材料および製造品質に欠陥がなく、お買い上げいただいた製品に適用される Honeywell Imaging and Mobility の公式な仕様に適合することを保証いたします。この保証は、以下の場合には Honeywell Imaging and Mobility の製品であっても対象外となります。(i) 設置または使用方法が不適切。(ii) 正しい保守、サービス、および清掃手順に従わなかった場合を含めて事故や不注意で損傷。または (iii) 以下の結果損傷した場合：(A) お客様または第三者が変更や改造を行った。(B) インタフェース接続に過大な電圧や電流がかかったり流れたりした。(C) 静電気または静電気放電。(D) 指定の動作パラメータを超える条件で使用した。(E) Honeywell Imaging and Mobility または正規代理店以外が製品の修理や整備を行った。

この保証期間は、出荷時点から、ご購入時に製品に対して Honeywell Imaging and Mobility が公式に示した期間（「保証期間」）とします。欠陥品は、点検のために保証期間内に Honeywell Imaging and Mobility の工場または正規サービスセンターにかならず返却してください。RMA (Return Material Authorization) が無ければ、Honeywell Imaging and Mobility はどんな製品も受け付けません。RMA は、Honeywell Imaging and Mobility に連絡すれば取得できます。保証期間内に Honeywell Imaging and Mobility または正規サービスセンターに製品が返却され、材料または製造品質の欠陥によって製品が故障したことを確認した場合、Honeywell Imaging and Mobility はその選択によって製品を無償で修理または交換いたします。ただし、Honeywell Imaging and Mobility への返却送料はご負担ください。

該当する法律によって規定されている場合を除き、上記の保証は、明示的であっても暗黙のものであっても、また口頭であっても書面であっても限定されることなく、特定の目的に対する商品性や適合のあらゆる暗黙の保証を含む他のあらゆる契約に代わるものです。

この保証による Honeywell Imaging and Mobility の賠償責任とお客様が受けられる唯一の補償は、欠陥品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、Honeywell Imaging and Mobility は、直接的、間接的、あるいは結果的な損害には一切責任を負いません。また、ここでお買い上げいただいた製品に関して生じた Honeywell Imaging and Mobility の賠償額は（そうした賠償責任が契約、保証、不法行為などに基づく請求によるものであっても関係なく）、その製品のために Honeywell Imaging and Mobility にお支払いいただいた実際の金額を限度とします。これらの賠償責任の限度は、そのような、けが、損失、損害などの可能性について Honeywell Imaging and Mobility が知らされていた場合であっても有効です。一部の州、地区、あるいは国などでは、偶発的または結果的な損害の除外または制限を認めていません。その場合、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合があります。

---

この条件付保証項目はすべて区分されており、分離が可能です。つまり、いずれかの条項が無効のまま実施できない場合でも、その決定は他の項目を実施する有効性には関係ありません。Honeywell Imaging and Mobility が製造または販売していない周辺装置を使用した場合には、この保証は無効になります。この周辺装置には、ケーブル、電源、クレイドル、およびドッキングステーションが含まれます。Honeywell Imaging and Mobility は、これらの保証を製品の最初のエンドユーザーにのみ適用します。これらの保証は譲渡できません。

3800g、4600g、4600r、または 4800i の保証期間は 5 年とします。

## シンボルチャート

シンボル	AIM ID	AIM ID モディファイ (m)	コード ID (Hex)
<i>All Symbolologies</i>			(0x99)
4-CB (4-State Customer Bar Code)	lX0		M (0x4D)
Australian Post	lX0		A (0x41)
Aztec Code	lzm	0-9, A-C	z (0x7A)
British Post	lX0		B (0x42)
Canadian Post	lX0		C (0x43)
China Post	lX0		Q (0x51)
Codabar	lFm	0-1	a (0x61)
Codablock F	lOm	0, 1, 4, 5, 6	q (0x71)
Code 11	lH3		h (0x68)
Code 128	lCm	0, 1, 2, 4	j (0x6A)
Code 16K	lKm	0, 1, 2, 4	o (0x6F)
Code 32 Pharmaceutical (PARAF)	lX0		< (0x3C)
Code 39	lAm	0, 1, 3, 4, 5, 7	b (0x62)
Code 49	lTm	0, 1, 2, 4	l (0x6C)
Code 93 and 93i	lGm	0-9, A-Z, a-m	i (0x69)
Data Matrix	ldm	0-6	w (0x77)
EAN-13	lE0		d (0x64)
EAN-8	lE4		D (0x44)
EAN•UCC Composite	lem	0-3	y (0x79)
EAN-13 with Extended Coupon Code	lE3		d (0x64)
ID-tag (UPU 4-State)	lX0		N (0x4E)
Interleaved 2 of 5	lIm	0, 1, 3	e (0x65)
Japanese Post	lX0		J (0x4A)
KIX (Netherlands) Post	lX0		K (0x4B)
Korea Post	lX0		? (0x3F)
Matrix 2 of 5	lX0		m (0x6D)
MaxiCode	lUm	0-3	x (0x78)

シンボル	AIM ID	AIM ID モディファイ (m)	コード ID (Hex)
MicroPDF417	]Lm	3-5	R (0x52)
MSI	]Mm	0	g (0x67)
No Read			(0x9C)
OCR-A	]o1		O (0x4F)
OCR-B	]o2		O (0x4F)
MICR E-13B	]ZE		O (0x4F)
U.S. Currency フォント	]o3		O (0x4F)
SEMI フォント	]o3		O (0x4F)
PDF417	]Lm	0-2	r (0x72)
Planet Code	]X0		L (0x4C)
Plessey コード	]P0		n (0x6E)
PosiCode	]pm	0, 1, 2	W (0x57)
Postnet	]X0		P (0x50)
QR/Micro QR Code	]Qm	0-6	s (0x73)
Reduced Space Symbology (RSS-14, RSS Limited, RSS Expanded)	]em	0	y (0x79)
Straight 2 of 5 IATA (two-bar start/stop)	]Rm	0, 1, 3	f (0x66)
TCIF Linked Code 39 (TLC39)	]L2		T (0x54)
Telepen	]Bm	0, 1, 2, 4	t (0x74)
Trioptic Code	]X0		= (0x3D)
UCC/EAN-128	]C1		l (0x49)
UPC-A	]E0		c (0x63)
UPC-A with Extended Coupon Code	]E3		c (0x63)
UPC-E	]E0		E (0x45)
VeriCode*	]X0		v (0x76)

\* 特別注文でのみ利用可能

---

注： 「m」は、AIM モディファイのキャラクタを示します。AIM モディファイキャラクタの詳細については、International Technical Specification の *Symbology Identifiers* を参照してください。

注： 特定のシンボルに対するプレフィックス／サフィックスの入力は、汎用 (All Symbologies, 99) 入力に優先します。

コード ID と AIM ID の使用方法については、4-1 ページのデータ編集と 5-1 ページのデータフォーマットを参照してください。

## ASCII 換算チャート (コードページ 1252)

注： この表は、U.S. 方式のキーボードに適用されます。特定のキャラクタは、国コード / PC の地域設定に応じて異なる場合があります。

Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char
0	00	NUL	32	20		64	40	@	96	60	'
1	01	SOH	33	21	!	65	41	A	97	61	a
2	02	STX	34	22	"	66	42	B	98	62	b
3	03	ETX	35	23	#	67	43	C	99	63	c
4	04	EOT	36	24	\$	68	44	D	100	64	d
5	05	ENQ	37	25	%	69	45	E	101	65	e
6	06	ACK	38	26	&	70	46	F	102	66	f
7	07	BEL	39	27	'	71	47	G	103	67	g
8	08	BS	40	28	(	72	48	H	104	68	h
9	09	HT	41	29	)	73	49	I	105	69	i
10	0A	LF	42	2A	*	74	4A	J	106	6A	j
11	0B	VT	43	2B	+	75	4B	K	107	6B	k
12	0C	FF	44	2C	,	76	4C	L	108	6C	l
13	0D	CR	45	2D	-	77	4D	M	109	6D	m
14	0E	SO	46	2E	.	78	4E	N	110	6E	n
15	0F	SI	47	2F	/	79	4F	O	111	6F	o
16	10	DLE	48	30	0	80	50	P	112	70	p
17	11	DC1	49	31	1	81	51	Q	113	71	q
18	12	DC2	50	32	2	82	52	R	114	72	r
19	13	DC3	51	33	3	83	53	S	115	73	s
20	14	DC4	52	34	4	84	54	T	116	74	t
21	15	NAK	53	35	5	85	55	U	117	75	u
22	16	SYN	54	36	6	86	56	V	118	76	v
23	17	ETB	55	37	7	87	57	W	119	77	w
24	18	CAN	56	38	8	88	58	X	120	78	x
25	19	EM	57	39	9	89	59	Y	121	79	y
26	1A	SUB	58	3A	:	90	5A	Z	122	7A	z
27	1B	ESC	59	3B	;	91	5B	[	123	7B	{
28	1C	FS	60	3C	<	92	5C	\	124	7C	
29	1D	GS	61	3D	=	93	5D	]	125	7D	}
30	1E	RS	62	3E	>	94	5E	^	126	7E	~
31	1F	US	63	3F	?	95	5F	_	127	7F	

Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char	Dec	Hex	Char
128	80	€	160	A0		192	C0	À	224	E0	à
129	81	□	161	A1	ı	193	C1	Á	225	E1	á
130	82	,	162	A2	ç	194	C2	Â	226	E2	â
131	83	f	163	A3	£	195	C3	Ã	227	E3	ã
132	84	„	164	A4	¤	196	C4	Ä	228	E4	ä
133	85	□	165	A5	¥	197	C5	Å	229	E5	å
134	86	†	166	A6	ı	198	C6	Æ	230	E6	æ
135	87	‡	167	A7	§	199	C7	Ç	231	E7	ç
136	88	^	168	A8	¨	200	C8	È	232	E8	è
137	89	‰	169	A9	©	201	C9	É	233	E9	é
138	8A	Š	170	AA		202	CA	Ê	234	EA	ê
139	8B	‹	171	AB	«	203	CB	Ë	235	EB	ë
140	8C	Œ	172	AC	¬	204	CC	Ì	236	EC	ì
141	8D	□	173	AD	-	205	CD	Í	237	ED	í
142	8E	Ž	174	AE	®	206	CE	Î	238	EE	î
143	8F	□	175	AF	¯	207	CF	Ï	239	EF	ï
144	90	□	176	B0	°	208	D0	Ð	240	F0	ð
145	91	‘	177	B1	±	209	D1	Ñ	241	F1	ñ
146	92	’	178	B2	²	210	D2	Ò	242	F2	ò
147	93	“	179	B3	³	211	D3	Ó	243	F3	ó
148	94	”	180	B4	´	212	D4	Ô	244	F4	ô
149	95	•	181	B5	µ	213	D5	Õ	245	F5	õ
150	96	—	182	B6	¶	214	D6	Ö	246	F6	ö
151	97	—	183	B7	·	215	D7	×	247	F7	÷
152	98	˜	184	B8	¸	216	D8	Ø	248	F8	ø
153	99	™	185	B9	¹	217	D9	Ù	249	F9	ù
154	9A	š	186	BA	º	218	DA	Ú	250	FA	ú
155	9B	›	187	BB	»	219	DB	Û	251	FB	û
156	9C	œ	188	BC	¼	220	DC	Ü	252	FC	ü
157	9D	□	189	BD	½	221	DD	Ý	253	FD	ý
158	9E	ž	190	BE	¾	222	DE	Þ	254	FE	þ
159	9F	ÿ	191	BF	¿	223	DF	ß	255	FF	ÿ

## 印刷バーコードのコードページマッピング

コードページでは、キャラクタコードのキャラクタへの割当てを定義します。受信したデータが正しいキャラクタを表示しない場合は、読み取ったバーコードが、ホストプログラムが期待するのは別のコードページで作られている可能性があります。その場合は、バーコードが作成されたときのコードページを選択してください。これでデータキャラクタが正しく表示されるはずですが。

注： コードページオプションは、Code 39、Code 93、および Code 128 で利用できます。

コードページ	標準	内容
1	CP ISO646	
2 (デフォルト)	ISO 2022	自動置換キャラクタ
3	CP Binary	
82	ISO 2022 11 Swe	スウェーデン置換キャラクタ
83	ISO 2022 69 Fra	フランス/ベルギー置換キャラクタ
81	ISO 2022 25 Fra	フランス/ベルギー置換キャラクタ
84	ISO 2022 11 Ger	ドイツ置換キャラクタ
85	ISO 2022 11 Ita	イタリア置換キャラクタ
86	ISO 2022 11 Swi	スイス置換キャラクタ
87	ISO 2022 11 UK	イギリス置換キャラクタ
88	ISO 2022 11 Dan	デンマーク置換キャラクタ
89	ISO 2022 11 Nor	ノルウェー置換キャラクタ
90	ISO 2022 11 Spa	スペイン置換キャラクタ







---

# サンプルシンボル

UPC-A



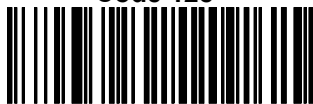
0 123456 7890

Interleaved 2 of 5



1234567890

Code 128



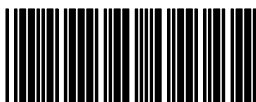
Code 128

EAN-13



9 780330 290951

Code 39



BC321

Codabar



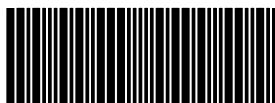
A13579B

Code 93



123456-9\$

Straight 2 of 5 Industrial



123456

---

# サンプルシンボル

**Matrix 2 of 5**



6543210

**RSS-14**



(01)00123456789012

**PDF417**



Car Registration

**Postnet**



Zip Code

**Code 49**



1234567890

**Data Matrix**



Test Symbol

**QR Code**



Numbers

**4-CB (4-State Customer Bar Code)**



01,234,567094,987654321,01234567891

**ID-tag (UPU 4-State)**



J18CUSA8E6N062315014880T

---

# サンプルシンボル

**Aztec**



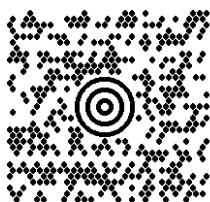
Package Label

**Micro PDF417**



Test Message

**MaxiCode**



Test Message

**OCR-B with Modulo 10  
check character**

5324277

**OCR-A with Modulo 36  
check character**

532427D

---

# OCR プログラミングチャート



a



c



d



e



g



h



l



r



t

---

# OCR プログラミングチャート



T



O



A



D



Discard



Save

---

# プログラミングチャート



A



B



C



D



E



F



0



1



2



3



---

# プログラミングチャート



4



6



8



Save



5



7



9



Discard

注： 文字または数字（Save を読み取る前に）をスキャンしエラーした場合は、Discardを読み取り、正確に文字または数字をもう一度スキャンして、**Save**を読み取ってください。

Honeywell Imaging and Mobility  
700 Visions Drive  
P.O. Box 208  
Skaneateles Falls, NY 13153-0208